

和木町第6次総合計画
将来のまちづくりアンケート(一般町民・中学生)
報 告 書



令和7年3月
和木町

も く じ

I 調査の概要

1	調査の目的	5
2	調査の方法	5
3	回答状況	5
4	報告書を見る際の注意点	5

II 一般町民対象調査の結果 (※緑色で着色のある設問は中学生と同じ内容のもの)

Q 1	あなたの性別をお答えください。	7
Q 2	あなたの年齢をお答えください。	7
Q 3	あなたの家族構成をお答えください。	8
Q 4	あなたが住んでいる地区をお答えください。	8
Q 5	あなたは和木町に通算で何年住んでいますか。	9
Q 6	あなたが生まれてから現在までの状況をお答えください。	9
Q 7	あなたの職業をお答えください。	10
Q 8	あなたは、和木町が住みやすいまちだと思いますか。	10
Q 9-1	あなたが思う和木町の「住みやすいところ」を教えてください。	11
Q 9-2	あなたが思う和木町の「住みにくいところ」を教えてください。	12
Q 10	10年前（和木町に住み始めて10年未満の方は、住み始めた時期）と 比較して、あなたは和木町が住みやすくなったと思いますか。	13
Q 11	あなたは今後も和木町に住み続けたいと思いますか。	14
Q 12	あなたが、和木町を知り合いに紹介するときにPRしたいことは何 ですか。	15
Q 13	あなたは、地域の活動や行事に参加していますか。またはしたい ですか。	17
Q 14	これまでの各種取組について、「現在の満足度」と、「今後の重要度」 について、どのように感じていますか。	20
Q 15	前回策定した第5次和木町総合計画（平成28年3月策定）では 「緑の風薫る文化のまち和木町 ～あいさつと笑顔あふれるまち～」 を目標とし、その実現に向けて取組を推進してきました。目標を達成 できていると思いますか。	35
Q 16	あなたは、現在の町政に町民の意向がどの程度反映されていると 考えていますか。	35
Q 17	今後の10年間のまちづくりで、あなたが重要だと思うものを教えて ください。	36
Q 18	あなたは、高齢者福祉・障害者福祉を充実させるためには、今後	

	どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。……………	3 8
Q 1 9	あなたは、子ども・子育て支援を充実させるためには、今後どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。……………	3 9
Q 2 0	あなたは、保健・医療、社会保障を充実させるためには、今後どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。……………	4 0
Q 2 1	あなたは、防災に対する取組として、今後どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。……………	4 1
Q 2 2	あなたは、防犯に対する取組として、今後どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。……………	4 2
Q 2 3	あなたは、学校教育を充実させるためには、今後どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。……………	4 3
Q 2 4	あなたは「SDGs」について知っていますか。……………	4 4
Q 2 5	SDGsについて、どの程度関心がありますか。……………	4 4
Q 2 6	SDGsの17の開発目標のうち、これから、和木町はどの目標に力を入れていくべきだと思いますか。……………	4 5
Q 2 7	和木町は“町ぐるみ「和木学園」”に取り組んでいます。あなたは“町ぐるみ「和木学園」”について知っていますか。……………	4 7
Q 2 8	“町ぐるみ「和木学園」”の取組として、参加してみたい、自分が先生になって教えてみたいことなどがあれば自由に記入してください。……………	4 8
Q 2 9	あなたが考える、和木町のキャッチフレーズや将来像としてふさわしいキーワードなどを自由に記入してください。……………	4 9
Q 3 0	まちの発展やみなさんの暮らしを豊かにするために取り組むべきこと、暮らしの中で困っていること、町政に望むことなど、ご意見・ご提案をお聞かせください。……………	5 3

Ⅲ 中学生対象調査の結果 （※緑色で着色のある設問は一般と同じ内容のもの）

Q 1	あなたの性別をお答えください。……………	6 0
Q 2	あなたの学年をお答えください。……………	6 0
Q 3	あなたは和木町に通算で何年住んでいますか。……………	6 1
Q 4	あなたが住んでいる地区をお答えください。……………	6 1
Q 5	あなたは、和木町が住みやすいまちだと思いますか。……………	6 2
Q 6	あなたが思う和木町の「住みやすいところ」を教えてください。……………	6 3
Q 7	あなたが思う和木町の「住みにくいところ」を教えてください。……………	6 4
Q 8	あなたは今後も和木町に住み続けたいと思いますか。……………	6 5
Q 9	あなたが、和木町を知り合いに紹介するときにPRしたいことは何ですか。……………	6 6

Q 1 0	あなたは、地域の活動や行事に参加していますか。またはしたい ですか。……………	6 8
Q 1 1	今後の10年間のまちづくりで、あなたが重要だと思うものを 教えてください。……………	7 1
Q 1 2	SDGsの17の開発目標のうち、和木町が「しっかり取り組め ている」と思うものを順番に3つ教えてください。……………	7 3
Q 1 3	SDGsの17の開発目標のうち、和木町が「あまり取り組めて いない」と思うものを順番に3つ教えてください。……………	7 5
Q 1 4	SDGsの17の開発目標のうち、これから、和木町はどの目標 に力を入れていくべきだと思いますか。……………	7 7
Q 1 5	和木町は“町ぐるみ「和木学園」”に取り組んでいます。これまで に、あなたが参加して良かった、楽しかったと思った教室、講座 などがあれば教えてください。……………	7 9
Q 1 6	“町ぐるみ「和木学園」”の取組として、参加してみたい、自分が 先生になって教えてみたいことなどがあれば自由に記入して ください。……………	8 0
Q 1 7	あなたが考える、和木町のキャッチフレーズや将来像として ふさわしいキーワードなどを自由に記入してください。……………	8 1
Q 1 8	住みたいまち「和木町」の10年後の姿として、あなたが思い 描くもの、望むことがあったら自由に書いてください。……………	8 4

IV 一般町民と中学生の結果比較

一般Q 8・中学生Q 5	あなたは、和木町が住みやすいまちだと思いますか。……………	8 8
一般Q 9－1・中学生Q 6	あなたが思う和木町の「住みやすいところ」を 教えてください。……………	8 9
一般Q 9－2・中学生Q 7	あなたが思う和木町の「住みにくいところ」を 教えてください。……………	9 0
一般Q 1 1・中学生Q 8	あなたは今後も和木町に住み続けたいと思 いますか。……………	9 1
一般Q 1 2・中学生Q 9	あなたが、和木町を知り合いに紹介するときに PRしたいことは何ですか。……………	9 2
一般Q 1 3・中学生Q 1 0	あなたは、地域の活動や行事に参加していますか。 またはしたいですか。……………	9 5
一般Q 1 7・中学生Q 1 1	今後の10年間のまちづくりで、あなたが重要だ と思うものを教えてください。……………	9 6
一般Q 2 6・中学生Q 1 4	SDGsの17の開発目標のうち、これから、 和木町はどの目標に力を入れていくべきだ と思いますか。……………	9 7

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、本町にお住まいのかたと和木中学校全生徒を対象に、現在の生活環境や将来のまちづくりの方向性についての意見等を把握し、「和木町第6次総合計画」策定の基礎資料とするために実施しました。

2 調査の方法

(1) 一般町民

- ①調査対象地域 : 和木町全域
- ②調査対象者 : 和木町に住民基本台帳に登録のある18歳以上の町民
- ③調査対象者数 : 1,500人
- ④抽出方法 : 住民基本台帳より無作為抽出
- ⑤調査方法 : 郵送による配布・回収
- ⑥調査実施期間 : 令和6年11月下旬～12月20日

(2) 中学生

- ①調査対象者 : 和木中学校の全生徒
- ②調査対象者数 : 191人
- ③調査方法 : ウェブ回答方式による
- ④調査実施期間 : 令和6年11月下旬～12月20日

3 回答状況

	対象者数	有効回答者数	有効回答率
一般町民	1,500人	600人	40.0%
中学生	191人	155人	81.2%

4 報告書を見る際の注意点

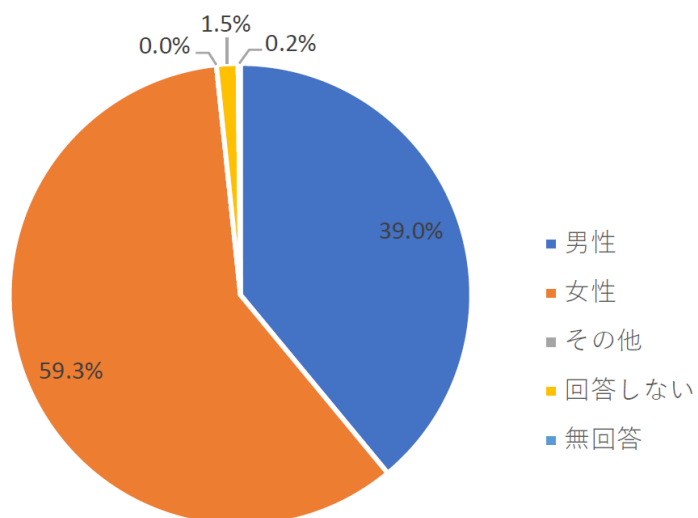
- 回答結果は小数点第2桁目を四捨五入しています。この関係で、単回答（複数の選択肢からひとつだけを選ぶ形式）の合計値がちょうど「100.0」にならない場合があります。
- 複数回答（2つ以上の回答を選ぶ形式）における割合についての単位はパーセントとしています。この場合、回答は有効標本数全体に対して各々の割合を示すものであり、各選択肢の回答を合計しても「100.0」とはなりません。

Ⅱ 一般町民対象調査の結果

あなたご自身のことについてお尋ねします

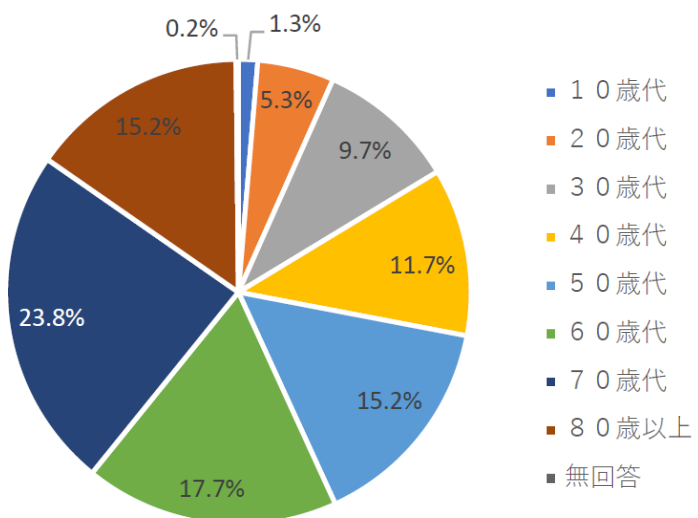
Q 1 あなたの性別をお答えください。

選択肢	回答数(人)	回答率(%)
男性	234	39.0
女性	356	59.3
その他	0	0.0
回答しない	9	1.5
無回答	1	0.2
合 計	600	100.0



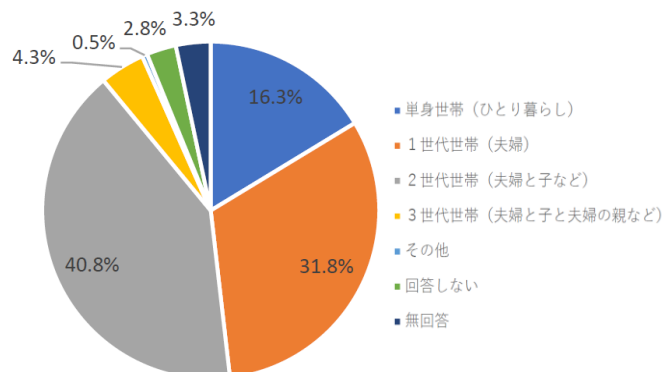
Q 2 あなたの年齢をお答えください。

選択肢	回答数(人)	回答率(%)
10歳代	8	1.3
20歳代	32	5.3
30歳代	58	9.7
40歳代	70	11.7
50歳代	91	15.2
60歳代	106	17.7
70歳代	143	23.8
80歳以上	91	15.2
無回答	1	0.2
合 計	600	100.1



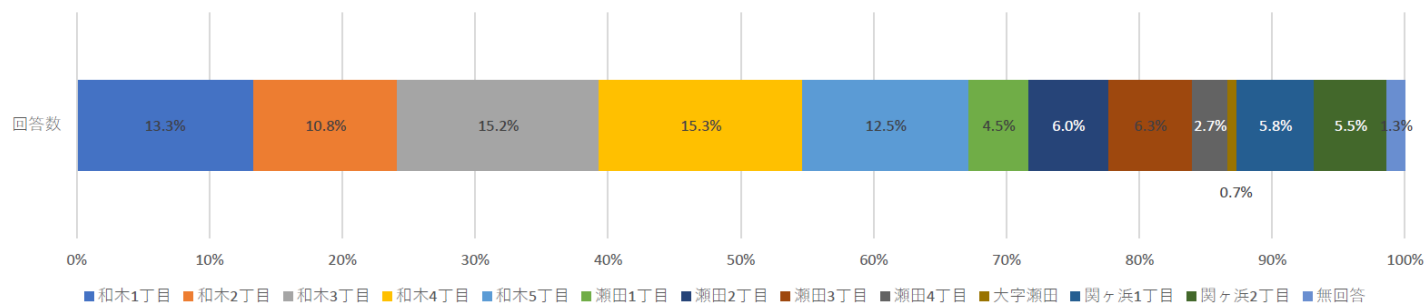
Q3 あなたの家族構成をお答えください。

選択肢	回答数(人)	回答率(%)
単身世帯（ひとり暮らし）	98	16.3
1世代世帯（夫婦）	191	31.8
2世代世帯（夫婦と子など）	245	40.8
3世代世帯（夫婦と子と夫婦の親など）	26	4.3
その他（兄弟など）	3	0.5
回答しない	17	2.8
無回答	20	3.3
合 計	600	99.8



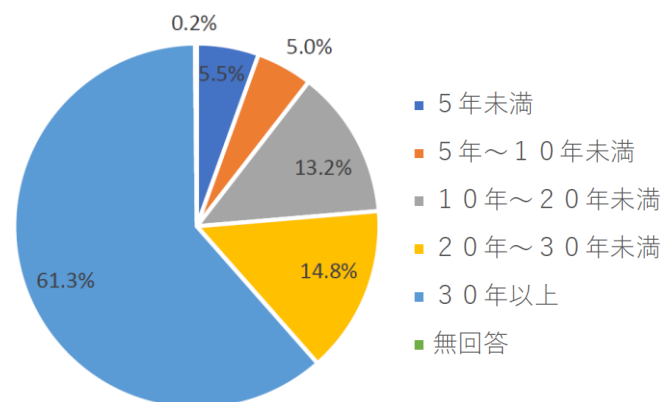
Q4 あなたが住んでいる地区をお答えください。

選択肢	回答数(人)	回答率(%)
和木1丁目	80	13.3
和木2丁目	65	10.8
和木3丁目	91	15.2
和木4丁目	92	15.3
和木5丁目	75	12.5
瀬田1丁目	27	4.5
瀬田2丁目	36	6.0
瀬田3丁目	38	6.3
瀬田4丁目	16	2.7
大字瀬田	4	0.7
関ヶ浜1丁目	35	5.8
関ヶ浜2丁目	33	5.5
大字関ヶ浜	0	0.0
無回答	8	1.3
合 計	600	99.9



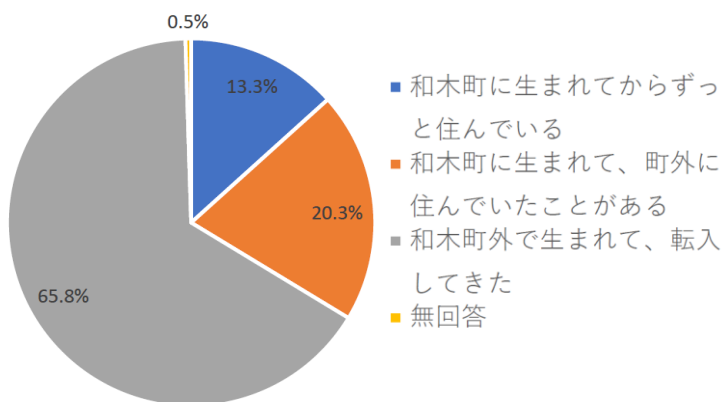
Q 5 あなたは和木町に通算で何年住んでいますか。

選択肢	回答数(人)	回答率(%)
5 年未満	33	5.5
5 年～10 年未満	30	5.0
10 年～20 年未満	79	13.2
20 年～30 年未満	89	14.8
30 年以上	368	61.3
無回答	1	0.2
合 計	600	100.0



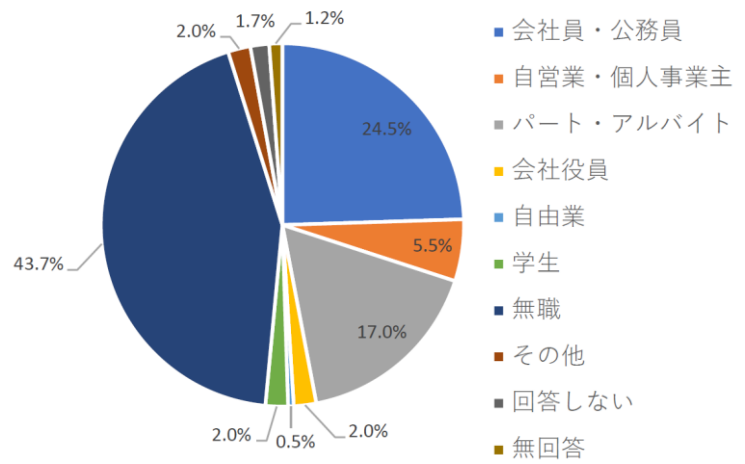
Q 6 あなたが生まれてから現在までの状況をお答えください。

選択肢	回答数(人)	回答率(%)
和木町に生まれてからずっと住んでいる	80	13.3
和木町に生まれて、町外に住んでいたことがある	122	20.3
和木町外で生まれて、転入してきた	395	65.8
無回答	3	0.5
合 計	600	99.9



Q7 あなたの職業をお答えください。

選択肢	回答数(人)	回答率(%)
会社員・公務員	147	24.5
自営業・個人事業主	33	5.5
パート・アルバイト	102	17.0
会社役員	12	2.0
自由業	3	0.5
学生	12	2.0
無職	262	43.7
その他	12	2.0
回答しない	10	1.7
無回答	7	1.2
合 計	600	100.1

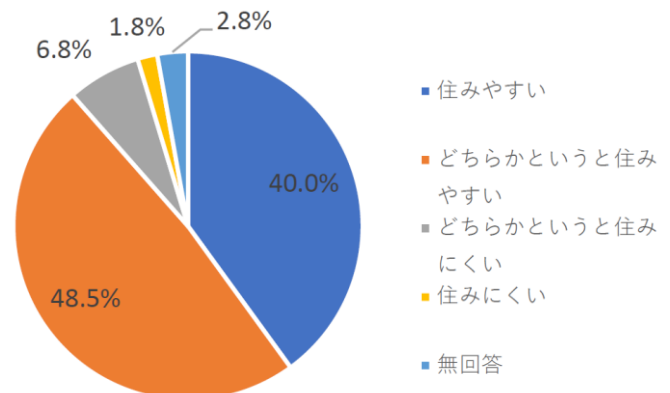


※その他・・・主婦（5人）、契約社員（1人）、就労支援施設（1人）、シルバー（1人）、介護福祉士（1人）、アパート賃貸業（1人）、農林業（1人）、農業（1人）

和木町の住みやすさ・魅力についてお尋ねします

Q8 あなたは、和木町が住みやすいまちだと思いますか。

選択肢	回答数(人)	回答率(%)
住みやすい	240	40.0
どちらかという住みやすい	291	48.5
どちらかという住みにくい	41	6.8
住みにくい	11	1.8
無回答	17	2.8
合 計	600	99.9

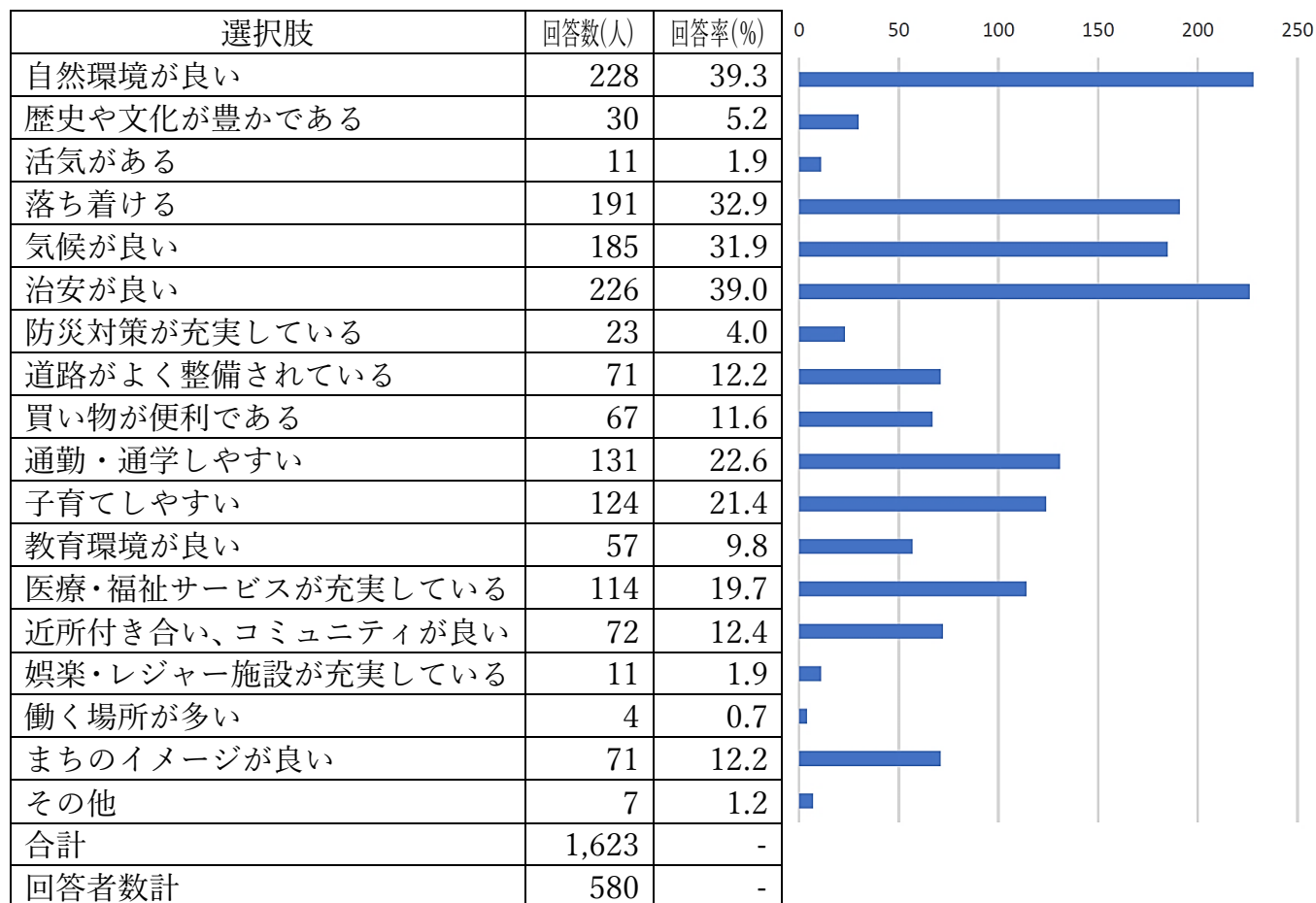


【分析】

「住みやすい」と「どちらかという住みやすい」の合計は88.5%であり、前回の89.0%と比べて0.5%減となったものの、「住みやすい」と回答した人の割合は前回より3.7%増となり、高い評価を保っている。

評価がやや低かったのは、年齢別集計の「20歳代のグループ（75.0%）」、地区別集計の「瀬田3丁目（78.9%）」、居住年数別の「5年未満（75.8%）」であった。

Q9-1 あなたが思う和木町の「住みやすいところ」を教えてください。



※回答率は、「各選択肢の回答数」÷「回答者数計 580 人」×100 で計算しています。

※その他 … 蜂ヶ峯総合公園がある (1 人)、アクセスがよいところ (1 人)、役場手続等がスムーズ (1 人)、町内の清掃がゆきとどいている (1 人)、町営バスの利用で助かる (1 人)、町がミニマムで日常生活がしやすい (1 人)、行政サービスが良い (1 人)

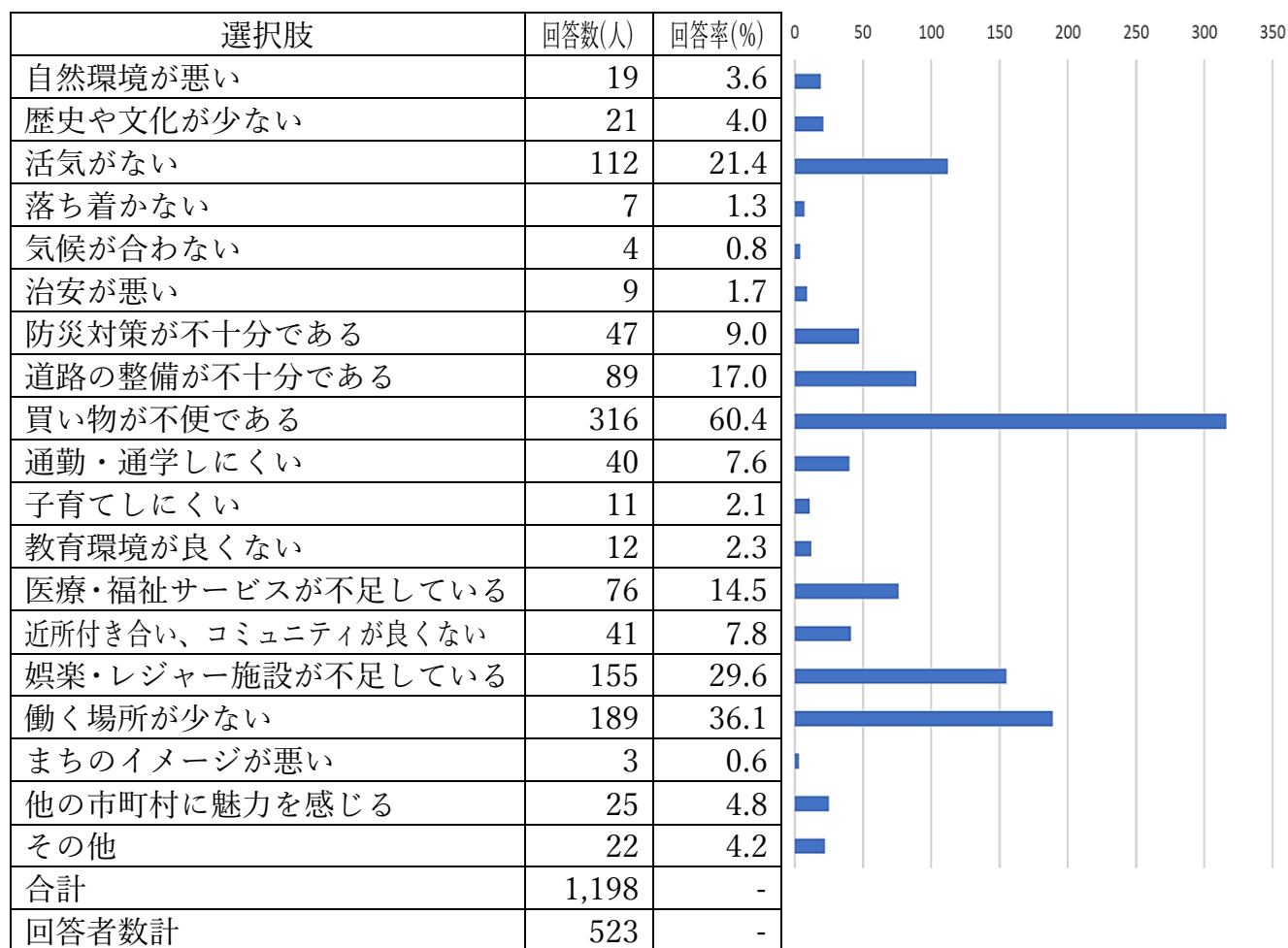
【分析】

回答の多かった順に「自然環境が良い」、「治安が良い」、「落ち着ける」となった。

年齢別にいくぶんか傾向があり、「10 歳代」では「教育環境が良い」や「医療・福祉サービスが充実している」、「20 歳代」では「通勤・通学しやすい」、「30 歳代」や「40 歳代」では「子育てしやすい」が選択肢として多く選ばれた。

また、「瀬田地区」や「関ヶ浜地区」においては「買い物が便利である」、「通勤・通学しやすい」の回答が少なく、地域的・地理的な要因が関連していると考えられる。職業別では、回答者数の多い「会社員」や「学生」において「通勤・通学しやすい」とした人が多かった。

Q9-2 あなたが思う和木町の「住みにくいところ」を教えてください。



※回答率は、「各選択肢の回答数」÷「回答者数計 523 人」×100 で計算しています。

※他の市町村に魅力を感じる（複数市町を記載した回答あり）

岩国市（9 人）、広島市（4 人）、大竹市（2 人）、周南市（1 人）、阿武町（1 人）
記載なし（8 人）

※その他

街灯が少ない（2 人）、飛行機の音が大きすぎる（2 人）、下水の整備が不十分（2 人）、
公園が狭い・少ない（2 人）、ほか

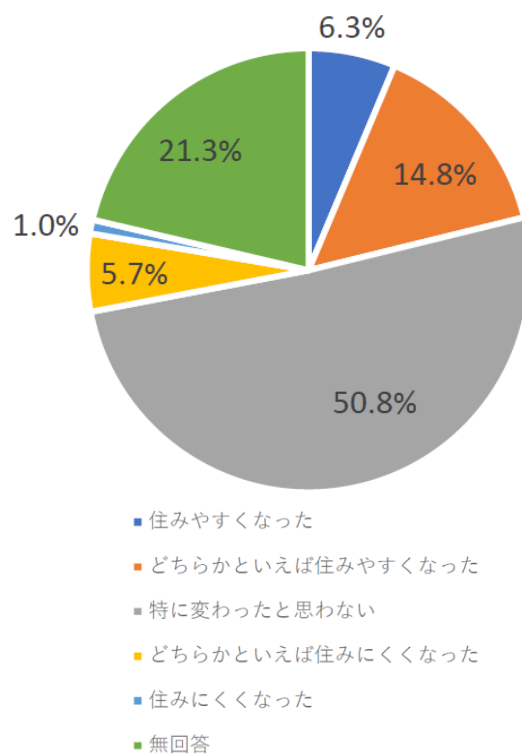
【分析】

回答が多かった順に「買い物が不便である」、「働く場所が少ない」、「娯楽・レジャー施設が不足している」となった。

和木地区に比べ、瀬田地区や関ヶ浜地区において「買い物が不便である」と「通勤・通学しにくい」とした回答が多く、地域性が大きく出る結果となった。また、居住年数の短い層において「道路の整備が不十分である」とした回答が多かった。

Q10 10年前（和木町に住み始めて10年未満の方は、住み始めた時期）と比較して、あなたは和木町が住みやすくなったと思いますか。

選択肢	回答数(人)	回答率(%)
住みやすくなった	38	6.3
どちらかといえば住みやすくなった	89	14.8
特に変わったと思わない	305	50.8
どちらかといえば住みにくくなった	34	5.7
住みにくくなった	6	1.0
無回答	128	21.3
合 計	600	99.9



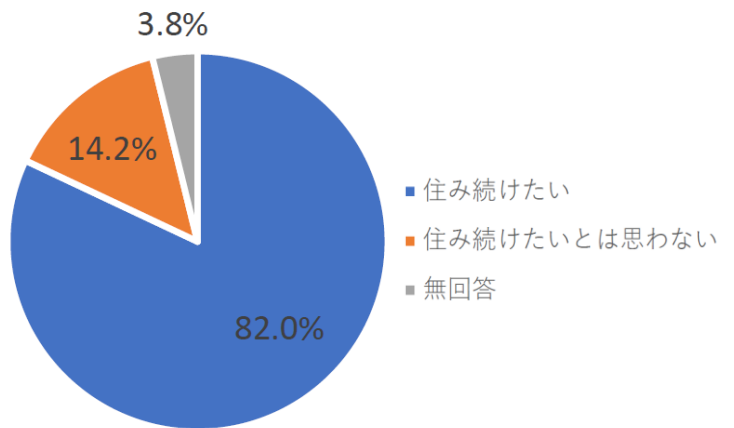
【分析】

回答としては「特に変わったと思わない」が最も多く、それ以外では「どちらかといえば住みやすくなった」や「住みやすくなった」とするものが多かった。また、60歳代以上で「無回答」が多く、これは設問が見落とされてしまったのではないかと推測する（アンケートのデザイン上の問題で、大きな設問の次に小さく掲載）。

瀬田地区や関ヶ浜地区の一部、また、居住年数が長いほど「住みやすくなった」と「どちらかといえば住みやすくなった」の回答が多くなる傾向にあった。

Q11 あなたは今後も和木町に住み続けたいと思いますか。

選択肢	回答数(人)	回答率(%)
住み続けたい	492	82.0
住み続けたいとは思わない	85	14.2
無回答	23	3.8
合 計	600	100.0



【分析】

回答として「住み続けたい」が最も多くなった。

ただ、年齢層が低くなるほど「住み続けたい」とする人が減り、「10歳代」が最も低くなった。また、瀬田の一部においても「住み続けたい」とする人が減少する傾向にあった。一方で、居住年数が長いほど「住み続けたい」という回答が多くなる傾向が見られた。

Q12 あなたが、和木町を知り合いに紹介するときにPRしたいことは何ですか。ご自由にお書きください。

内容	具体的に	人数
蜂ヶ峯総合公園	○バラ園、観覧車、アスレチック、子どもが遊べる遊具、ポニー、ゴルフ場などがあり、四季を通じて楽しめる。 ○新しくなり、カフェ、レストラン、イベントが充実した。 ○小さな子どもを連れて遊びに行ける。	68
子育て支援の充実	○経済面の支援が充実している（出産祝金など）。 ○保健相談センターで育児の悩みを聞いてもらえる。 ○妊婦や子どもの検診が充実している。 ○保育関係のコミュニティが充実している。 ○第2子から保育料が無料。	59
住みやすさ	○気候が良い。 ○生活環境が良い。 ○静かで落ち着ける。 ○のんびり暮らせる。 ○まちがきれい。 ○ほどよい距離感のご近所付き合いがある。	53
和木駅	○近隣市町に出かけやすい。 ○駅がきれい。 ○電車の本数が多い。 ○駅が近い。	34
教育環境の良さ	○幼・少・中が新しくきれいで、立地も良い。 ○コミュニティが充実している。 ○和木学園が行われている。 ○スクールガードの見守りがある。	34
交通の便の良さ	○近隣市町が近い。 ○通勤・通学に便利。 ○高速のICが近く、車で出かけやすい。 ○観光地へのアクセスが良い。 ○空港、新幹線の駅が近い。	29
自然の豊かさ	○海、山、川が身近にある。 ○緑が多く落ち着ける。 ○川辺でウォーキングやジョギングができる。	29
給食費が無料	○先進して給食費無料を始め、今も続いている。	27
まちがコンパクト	○山口県で一番小さな町 ○様々な活動がしやすい。 ○目が行き届く。 ○行政サービスが届きやすい。	21

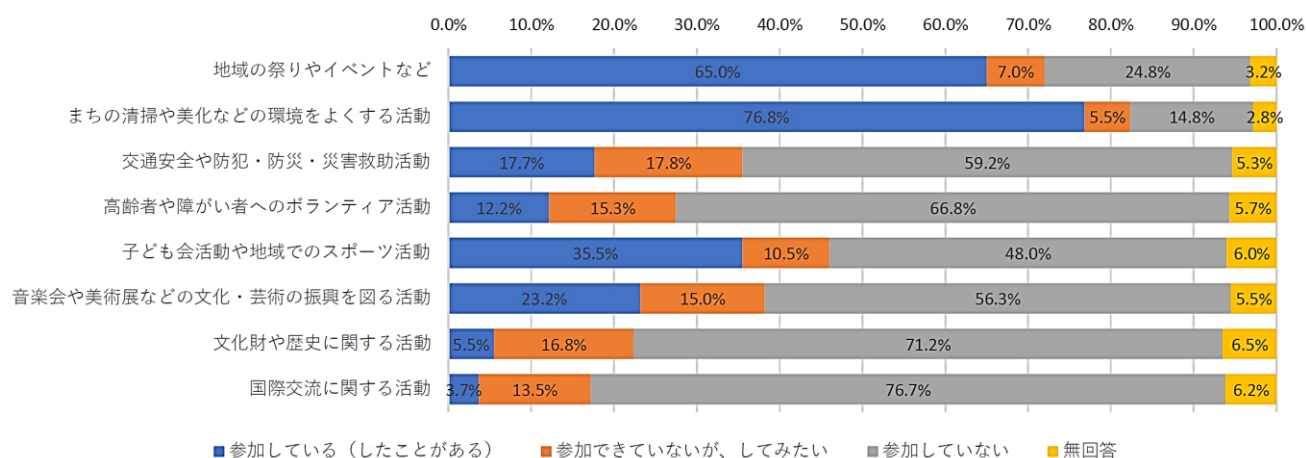
	☐ ひととおり生活に必要な施設が揃っている。 ☐ 地域の方とつながりやすい。 ☐ ほどよくこじんまりしている。	
行政サービスが良い	☐ 役場の受付窓口の対応が早い。 ☐ 補助金が多い（住宅建設奨励金）。 ☐ 自治会、民生委員、町職員の対応態度が非常に良い。 ☐ 道路が整備されている。	21
医療、福祉が充実	☐ 内科が2件、歯医者が2件、薬局も2件ある。 ☐ 敬老会や敬老金が充実している。	20
イベントが充実	☐ 親子で楽しめるなど内容が良い。 ☐ 大竹・和木川まつり花火大会がある。 ☐ わき愛あいフェスティバルが楽しい（出店が豊かで、くじの商品が良い）。 ☐ 文化会館でのイベントが楽しい。 ☐ イベントがいっぱいある。 ☐ 芸能祭、キッズ・コンサート、写真展、美術絵画展、公民館活動と、その発表会が行われている。	18
住民気質	☐ 優しい人、子どもが多い。 ☐ 親切で思いやりがある。 ☐ 人柄が良く、穏やか。 ☐ 小学生があいさつをしてくれる。 ☐ 子どもたちが元気いっぱい。 ☐ 子どもたちもいろいろな行事や世代を超えたコミュニケーションがあってよい。	17
子どもの医療費無料	☐ 18歳まで医療費が無料。	16
治安の良さ	☐ 犯罪がほとんどない。	12
あいあいバス	☐ 移動に便利 ☐ 運転手の人柄が良く、優しくて丁寧である。 ☐ 高齢者や障害者手帳を持っている人は無料で利用できる。	10
自然災害が少ない	☐ 台風などの被害が少ない。 ☐ 冬は雪が少ない。	8
その他	☐ 北海道恵庭市と姉妹都市を結んでいる。 ☐ 町単独行政である。 ☐ ソフトボール（小学生）が強い。 ☐ 図書館の本やCDが充実している。	など

※自由記載のため、一人が複数項目に渡って記載しているケースがあります。

Q13 あなたは、地域の活動や行事に参加していますか。またはしたいですか。

(人)

選択肢	参加している (したことがある)	参加できていないが、 してみたい	参加していない	無回答
地域の祭りやイベント など	390	42	149	19
まちの清掃や美化などの 環境をよくする活動	461	33	89	17
交通安全や防犯・防災・ 災害救助活動	106	107	355	32
高齢者や障がい者への ボランティア活動	73	92	401	34
子ども会活動や地域での スポーツ活動	213	63	288	36
音楽会や美術展などの 文化・芸術の振興を図る 活動	139	90	338	33
文化財や歴史に関する 活動	33	101	427	39
国際交流に関する活動	22	81	460	37



【分析】

「参加している（したことがある）」の回答が多かった順に、「まちの清掃や美化などの環境をよくする活動」、「地域の祭りやイベントなど」、「子ども会活動や地域でのスポーツ活動」となった。

「参加できていないが、してみたい」の回答が多かった順は、「交通安全や防犯・防災・災害救助活動」、「文化財や歴史に関する活動」、「高齢者や障害者へのボランティア活動」となった。

1. 地域の祭りやイベントなど

「参加している（したことがある）」の回答割合が最も高く、「男性」に比べて「女性」の参加率が高かった。

2. まちの清掃や美化などの環境をよくする活動

「参加している（したことがある）」の回答割合が最も高く、「参加している（したことがある）」と回答した人数も最も高かった。町内一斉清掃が地域に浸透しているためだと思われるが、「20歳代」や「30歳代」の参加率が低く、居住年数が短いと同様に参加率が低くなる傾向にあった。

3. 交通安全や防犯・防災・災害救助活動

「参加していない」の回答割合が最も高く、「参加している（したことがある）」の回答割合は低かったものの、「参加できていないが、してみたい」と回答した割合は他の項目に比べて高く、関心の高さが伺える。また、居住年数が短いほど「参加している（したことがある）」の回答率が低くなる傾向にあった。

4. 高齢者や障がい者へのボランティア活動

「参加していない」の回答割合が最も高く、「参加している（したことがある）」の回答割合は低かった。「参加している（したことがある）」の回答割合は低年齢層と高年齢層で高くなる傾向にあった。

5. 子ども会活動や地域でのスポーツ活動

「参加していない」の回答割合がおおよそ半数で、次いで「参加している（したことがある）」の回答割合が高かった。「20歳代」、「単身世帯」、「居住年数5年未満」などで参加率が低かった。

6. 音楽会や美術展などの文化・芸術の振興を図る活動

「参加していない」の回答割合がおおよそ半数で、次いで「参加している（したことがある）」の回答割合が高かった。また、「男性」に比べて「女性」の参加率が高かった。

7. 文化財や歴史に関する活動

「参加していない」の回答割合が最も高く、「参加している（したことがある）」の回答割合は低かったものの、「参加できていないが、してみたい」と回答した割合は他の項目に比べて高く、関心は高めである。居住年数が長いと「参加している（したことがある）」や「参加できていないが、してみたい」の回答割合が高い傾向にあった。

8. 国際交流に関する活動

項目中で「参加していない」の回答割合が最も高かった。「参加している（したことがある）」の回答割合が高かったのは「10歳代」である。また、「30歳代」や「40歳代」で「参加できていないが、してみたい」と回答した割合が高かった。

まちづくりの取組に対する満足度・重要度についてお尋ねします

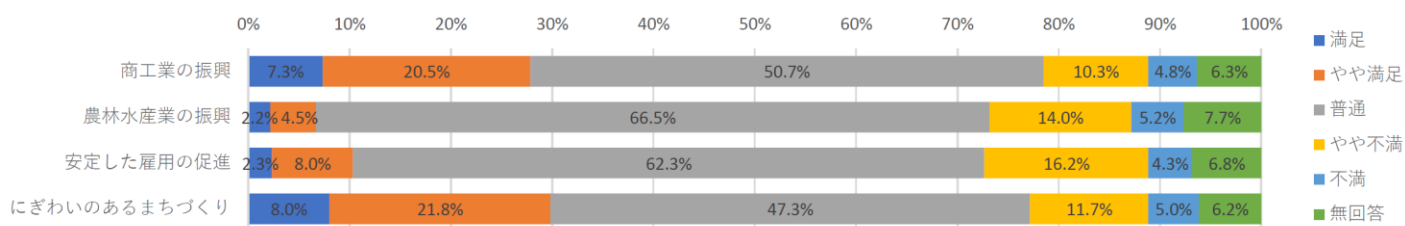
Q14 これまでの各種取組について、「現在の満足度」と、「今後の重要度」について、どのように感じていますか。

1. にぎわいのあるまちづくり

(1) 満足度

(人)

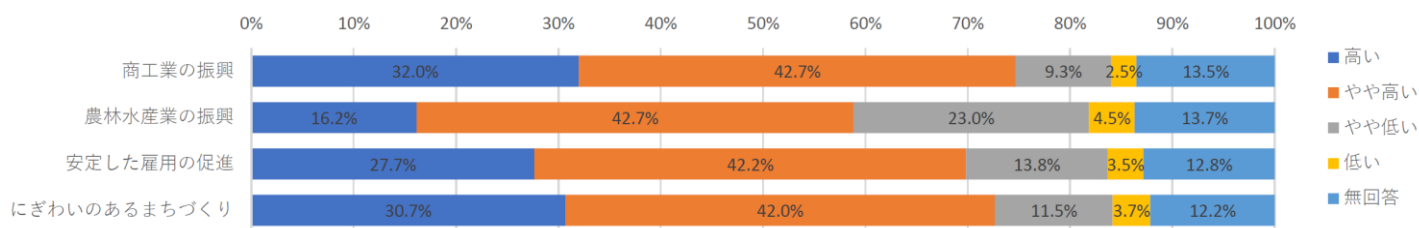
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答
商工業の振興	44	123	304	62	29	38
農林水産業の振興	13	27	399	84	31	46
安定した雇用の促進	14	48	374	97	26	41
にぎわいのあるまちづくり	48	131	284	70	30	37



(2) 重要度

(人)

	高い	やや高い	やや低い	低い	無回答
商工業の振興	192	256	56	15	81
農林水産業の振興	97	256	138	27	82
安定した雇用の促進	166	253	83	21	77
にぎわいのあるまちづくり	184	252	69	22	73



【分析】

①商工業の振興

ア. 満足度

「普通」が最も多く、他は「満足」寄りの結果となった。年齢が低いほど満足度が高かった。

イ. 重要度

「やや高い」が最も多く、傾向としては重要度が「高い」寄りの回答が多かった。クロス集計においては、一部で回答に特徴が見られた。特に「40歳代」で重要度が高いとする回答が多かった。

②農林水産業の振興

ア. 満足度

「普通」が最も多く、他は「不満足」寄りの傾向となった。

「60歳代」以上の高齢者層や、瀬田地区や関ヶ浜地区で満足度が低い傾向が見られた。

イ. 重要度

「やや高い」が最も多く、傾向としては重要度が「高い」寄りの回答が多かった。「10歳代」や「20歳代」といった若い年齢層や、「学生」において重要度が高いとする回答が多かった。

③安定した雇用の促進

ア. 満足度

「普通」が最も多く、傾向としては「不満足」寄りの結果となった。

イ. 重要度

「やや高い」が最も多く、傾向としては重要度が「高い」寄りの回答が多かった。

④にぎわいのあるまちづくり

ア. 満足度

「普通」が最も多く、傾向としては「満足」寄りの結果となった。

「10歳代」や「学生」の満足度が高かった。

イ. 重要度

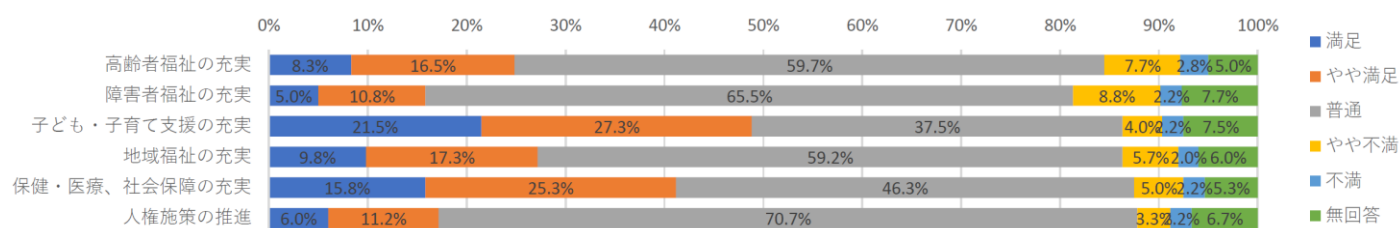
「やや高い」が最も多く、傾向としては重要度が「高い」寄りの結果となった。

2. 健やかに暮らせるまちづくり

(1) 満足度

(人)

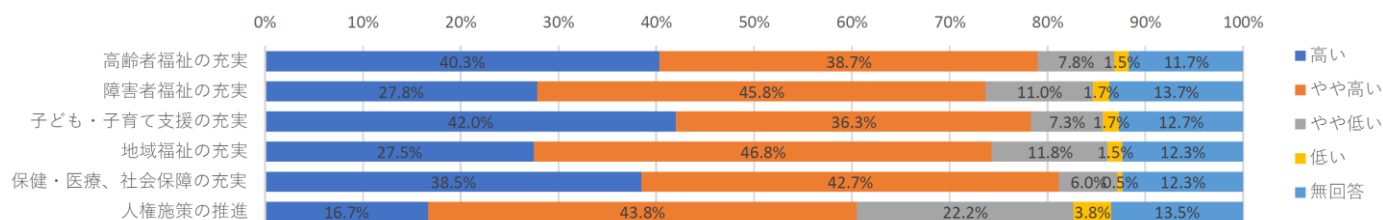
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答
高齢者福祉の充実	50	99	358	46	17	30
障害者福祉の充実	30	65	393	53	13	46
子ども・子育て支援の充実	129	164	225	24	13	45
地域福祉の充実	59	104	355	34	12	36
保健・医療、社会保障の充実	95	152	278	30	13	32
人権施策の推進	36	67	424	20	13	40



(2) 重要度

(人)

	高い	やや高い	やや低い	低い	無回答
高齢者福祉の充実	242	232	47	9	70
障害者福祉の充実	167	275	66	10	82
子ども・子育て支援の充実	252	218	44	10	76
地域福祉の充実	165	281	71	9	74
保健・医療、社会保障の充実	231	256	36	3	74
人権施策の推進	100	263	133	23	81



【分析】

①高齢者福祉の充実

ア. 満足度

「普通」が最も多く、他は「満足」寄りの結果となった。「70歳代」と「80歳代以上」で満足度が高かった。

イ. 重要度

「高い」寄りの結果となった。居住年数の少ない「5年未満」と「5年～10年未満」において、満足度が「高い」とする回答が少なかった。

②障害者福祉の充実

ア. 満足度

「普通」が最も多く、他は「満足」寄りの結果となった。

イ. 重要度

「高い」寄りの結果となった。

③子ども・子育て支援の充実

ア. 満足度

「満足」寄りの結果となり、さらに他の項目と比べて満足度が高く、特に「30歳代」において満足度が高い結果となった。

イ. 重要度

「高い」寄りの結果となった。「30歳代」から「40歳代」で重要性が高いとする回答が多く、一方で年齢が上がると重要度が高いとする回答は減少した。また「単身世帯」よりも「2世代世帯」や「3世代世帯」で重要度が高いとする回答が目立った。また、居住年数が少ない場合も、重要度が高いとする回答が多かった。

④地域福祉の充実

ア. 満足度

「普通」が最も多く、他は「満足」寄りの結果となった。「70歳代」以上の高齢者において、満足度が高い回答が多かった。

イ. 重要度

「高い」寄りの結果となったが、「70歳代」以上の高齢者において、重要度が高いとする回答は減少した。

⑤保健・医療、社会保障の充実

ア. 満足度

「普通」が最も多く、他は「満足」寄りの結果となった。

イ. 重要度

「高い」寄りの結果となった。

⑥人権施策の推進

ア. 満足度

「普通」が最も多く、他は「満足」寄りの結果となった。また「10歳代」において満足度が高かった。

イ. 重要度

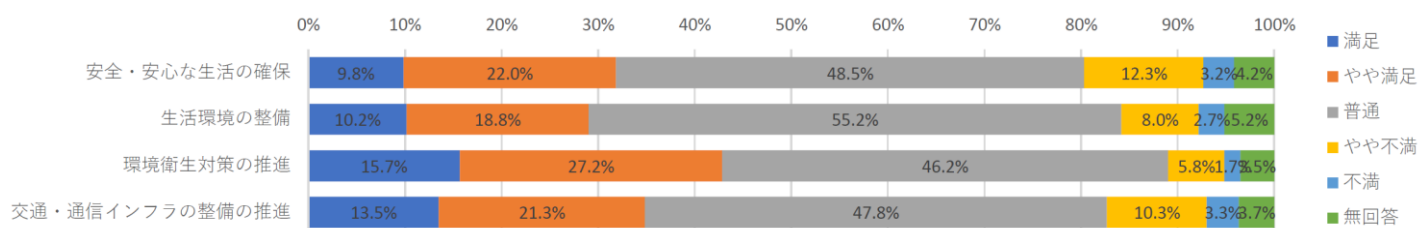
「高い」寄りの結果となった。中でも「10歳代」において重要とする回答が高かった。

3. 安全・安心で快適なまちづくり

(1) 満足度

(人)

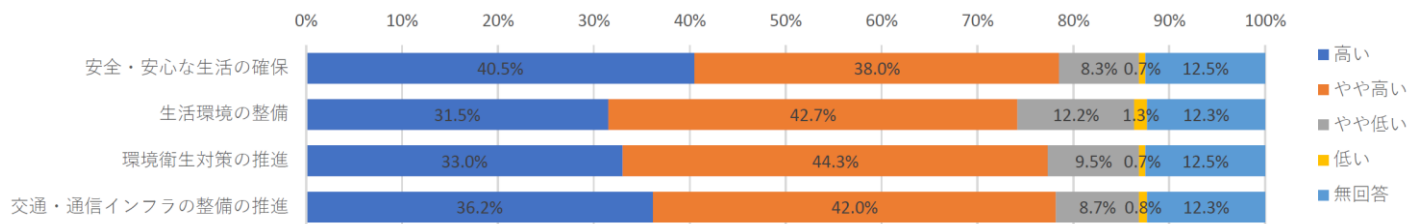
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答
安全・安心な生活の確保	59	132	291	74	19	25
生活環境の整備	61	113	331	48	16	31
環境衛生対策の推進	94	163	277	35	10	21
交通・通信インフラの整備の推進	81	128	287	62	20	22



(2) 重要度

(人)

	高い	やや高い	やや低い	低い	無回答
安全・安心な生活の確保	243	228	50	4	75
生活環境の整備	189	256	73	8	74
環境衛生対策の推進	198	266	57	4	75
交通・通信インフラの整備の推進	217	252	52	5	74



【分析】

①安全・安心な生活の確保

ア. 満足度

「普通」が最も多く、他は「満足」寄りの結果となった。また、「10歳代」や「学生」で満足度が高めの結果となった。

イ. 重要度

「高い」寄りの結果となった。

②生活環境の整備

ア. 満足度

「普通」が最も多く、他は「満足」寄りの結果となった。一方で、「20歳代」や「関ヶ浜1丁目」においてやや満足度が低かった。

イ. 重要度

「高い」寄りの結果となった。一方で高齢者層では重要度が低くなる傾向があった。

③環境衛生対策の推進

ア. 満足度

「普通」が最も多く、他は「満足」寄りの結果となった。

イ. 重要度

「高い」寄りの結果となった。

④交通・通信インフラの整備の推進

ア. 満足度

「普通」が最も多く、他は「満足」寄りの結果となった。

イ. 重要度

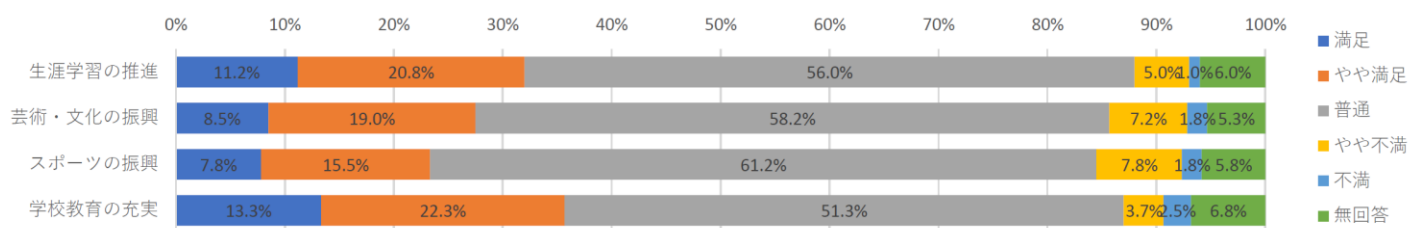
「高い」寄りの結果となった。中でも「関ヶ浜1丁目」で重要度が高いとする回答が多かった。

4. 豊かな心をはぐくむ教育・文化のまちづくり

(1) 満足度

(人)

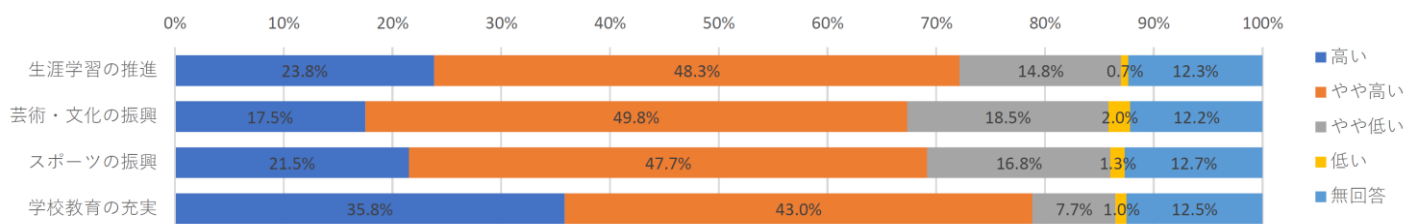
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答
生涯学習の推進	67	125	336	30	6	36
芸術・文化の振興	51	114	349	43	11	32
スポーツの振興	47	93	367	47	11	35
学校教育の充実	80	134	308	22	15	41



(2) 重要度

(人)

	高い	やや高い	やや低い	低い	無回答
生涯学習の推進	143	290	89	4	74
芸術・文化の振興	105	299	111	12	73
スポーツの振興	129	286	101	8	76
学校教育の充実	215	258	46	6	75



【分析】

①生涯学習の推進

ア. 満足度

「普通」が最も多く、他は「満足」寄りの結果となったが、「20歳代」で満足度が低かった。

イ. 重要度

「高い」寄りの結果となった。

②芸術・文化の振興

ア. 満足度

「普通」が最も多く、他は「満足」寄りの結果となった。

イ. 重要度

「高い」寄りの結果となった。一方で「瀬田1丁目」では他の地区と比べて重要度が低いという回答であった。

③スポーツの振興

ア. 満足度

「普通」が最も多く、他は「満足」寄りの結果となった。

イ. 重要度

「高い」寄りの結果となった。

④学校教育の充実

ア. 満足度

「普通」が最も多く、他は「満足」寄りの結果となったが、一方で居住年数「5年未満」において「不満」とする回答が多かった。

イ. 重要度

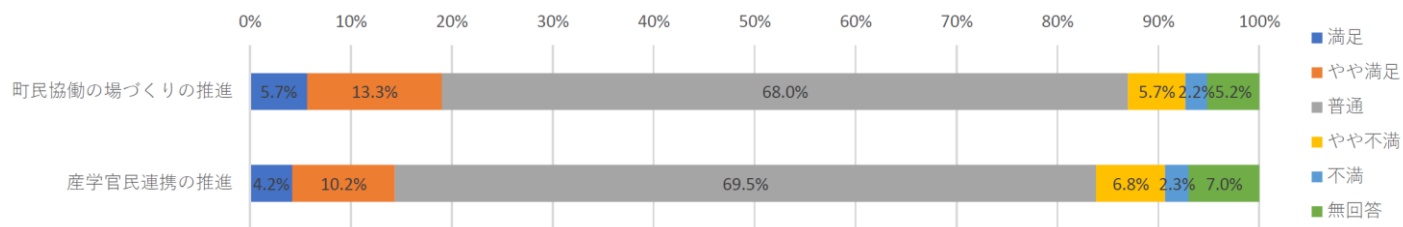
「高い」寄りの結果となった。

5. 協働のまちづくり

(1) 満足度

(人)

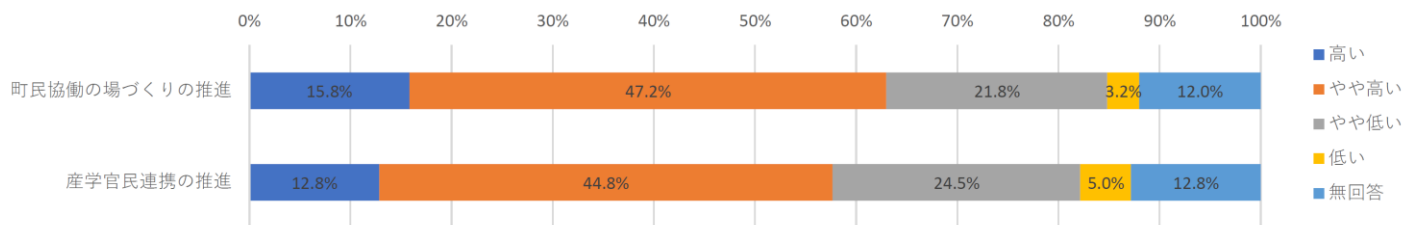
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答
町民協働の場づくりの推進	34	80	408	34	13	31
産学官民連携の推進	25	61	417	41	14	42



(2) 重要度

(人)

	高い	やや高い	やや低い	低い	無回答
町民協働の場づくりの推進	95	283	131	19	72
産学官民連携の推進	77	269	147	30	77



【分析】

①町民協働の場づくりの推進

ア. 満足度

「普通」が最も多く、他は「満足」寄りの結果となった。

イ. 重要度

「高い」寄りの結果となった。一方で「瀬田3丁目」では他の地区と比べて重要度が低いという回答であった。

②産学官民連携の推進

ア. 満足度

「普通」が最も多く、他は「満足」寄りの結果となった。

イ. 重要度

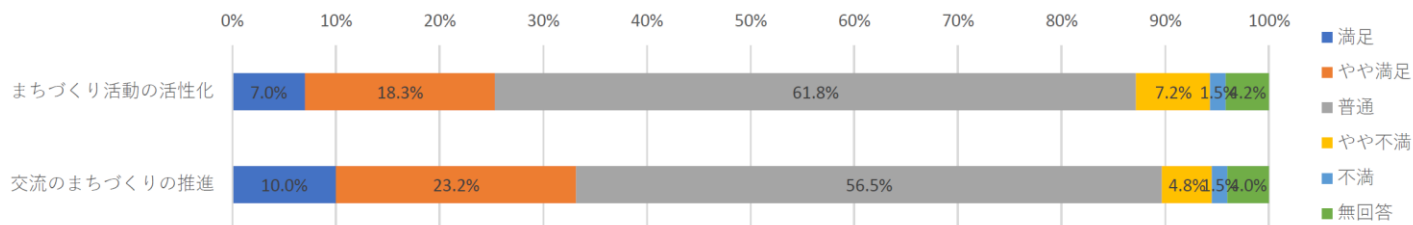
「高い」寄りの結果となった。中でも「10歳代」で重要度が高いとする回答が突出していた。一方で「瀬田3丁目」では他の地区と比べて重要度が低いという回答であった。

6. ふれあいのあるまちづくり

(1) 満足度

(人)

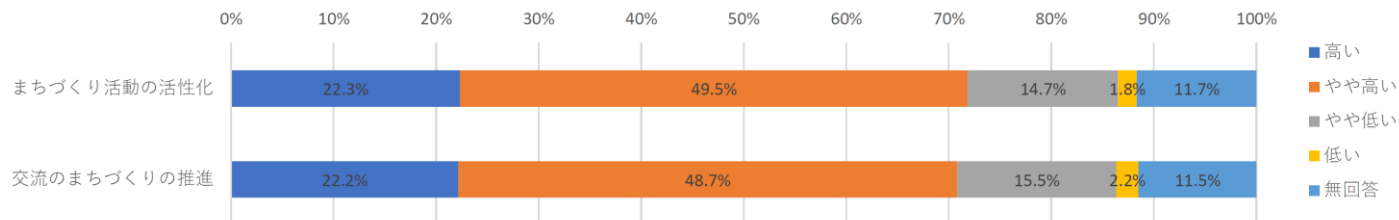
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答
まちづくり活動の活性化	42	110	371	43	9	25
交流のまちづくりの推進	60	139	339	29	9	24



(2) 重要度

(人)

	高い	やや高い	やや低い	低い	無回答
まちづくり活動の活性化	134	297	88	11	70
交流のまちづくりの推進	133	292	93	13	69



【分析】

①まちづくり活動の活性化

ア. 満足度

「普通」が最も多く、他は「満足」寄りの結果となった。

イ. 重要度

「高い」寄りの結果となった。一方で、居住年数が短い「5年未満」や「5年～10年未満」において、重要度が低いとする回答が多かった。

②交流のまちづくりの推進

ア. 満足度

「普通」が最も多く、他は「満足」寄りの結果となった。一方で、地区別集計の「和木3丁目」、居住年数別集計の「5年未満」において満足度が低い結果となった。

イ. 重要度

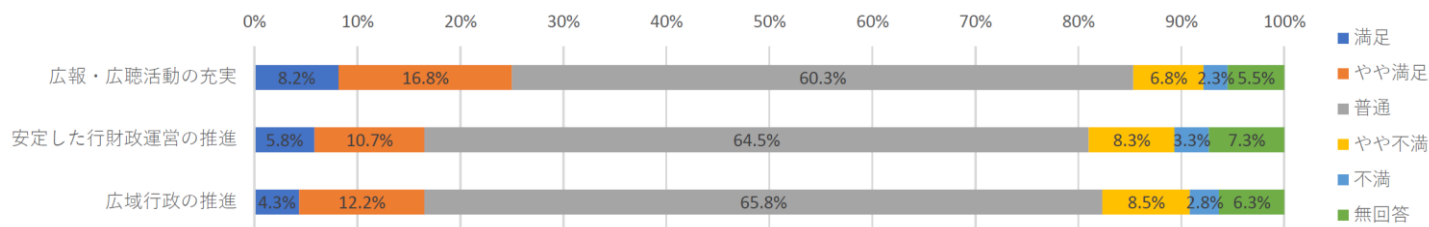
「高い」寄りの結果となった。

7. 計画の実現に向けた取組の推進

(1) 満足度

(人)

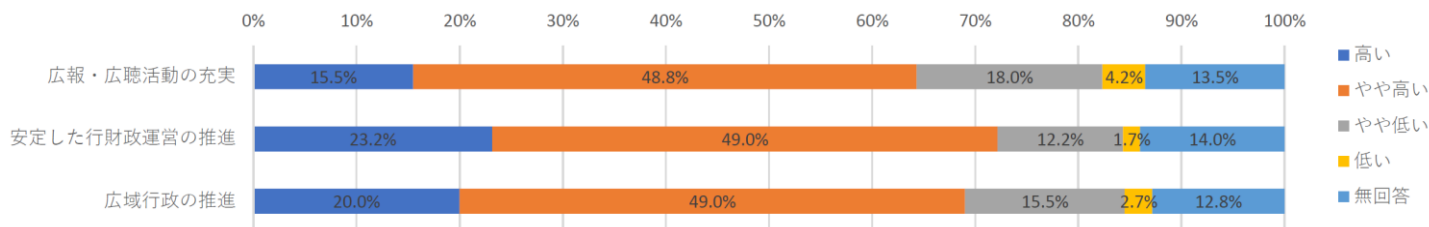
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答
広報・広聴活動の充実	49	101	362	41	14	33
安定した行財政運営の推進	35	64	387	50	20	44
広域行政の推進	26	73	395	51	17	38



(2) 重要度

(人)

	高い	やや高い	やや低い	低い	無回答
広報・広聴活動の充実	93	293	108	25	81
安定した行財政運営の推進	139	294	73	10	84
広域行政の推進	120	294	93	16	77



【分析】

①広報・広聴活動の充実

ア. 満足度

「普通」が最も多く、他は「満足」寄りの結果となった。

イ. 重要度

「高い」寄りの結果となった。一方で、居住年数が短い「5年未満」において、重要度が低いとする回答が多かった。

②安定した行財政運営の推進

ア. 満足度

「普通」が最も多く、他は「満足」寄りの結果となった。

イ. 重要度

「高い」寄りの結果となった。

③広域行政の推進

ア. 満足度

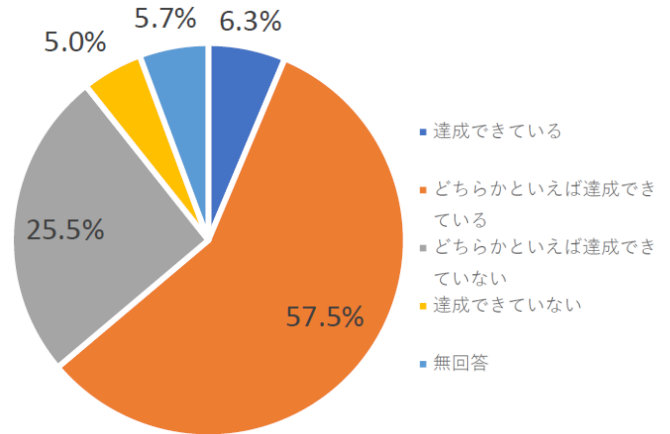
「普通」が最も多く、他は「満足」寄りの結果となった。

イ. 重要度

「高い」寄りの結果となった。また、「10歳代」や「60歳代」で重要度が高いとする回答が多かった。一方で「瀬田4丁目」において重要度が低いとする回答が多かった。

Q15 前回策定した第5次和木町総合計画（平成28年3月策定）では「緑の風薫る文化のまち和木町 ～あいさつと笑顔あふれるまち～」を目標とし、その実現に向けて取組を推進してきました。目標を達成できていると思いますか。

選択肢	回答数(人)	回答率(%)
達成できている	38	6.3
どちらかといえば達成できている	345	57.5
どちらかといえば達成できていない	153	25.5
達成できていない	30	5.0
無回答	34	5.7
合計	600	100.0

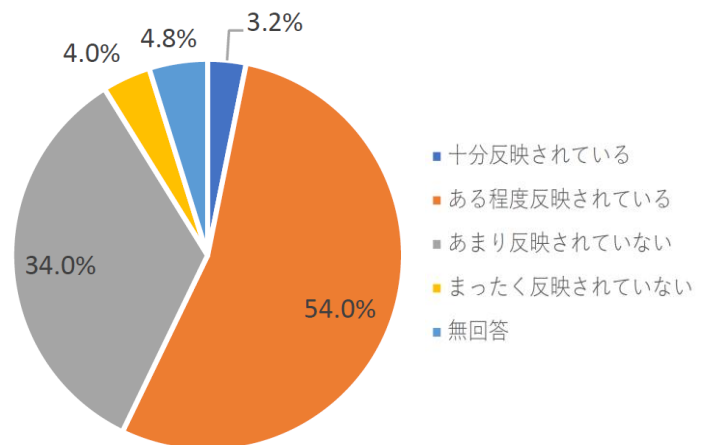


【分析】

回答として最も多かったのが「どちらかといえば達成できている（57.5%）」で、「達成できている（6.3%）」を合わせると 63.8% となった。

Q16 あなたは、現在の町政に町民の意向がどの程度反映されていると考えていますか。

選択肢	回答数	回答率(%)
十分反映されている	19	3.2
ある程度反映されている	324	54.0
あまり反映されていない	204	34.0
まったく反映されていない	24	4.0
無回答	29	4.8
合計	600	100.0



【分析】

回答として最も多かったのが「ある程度反映されている（54.0%）」で、「十分反映されている（3.2%）」と合わせると 57.2% であった。

「30歳代」や「瀬田2丁目」、「居住年数5年未満」で反映されていないとする回答が多かった。

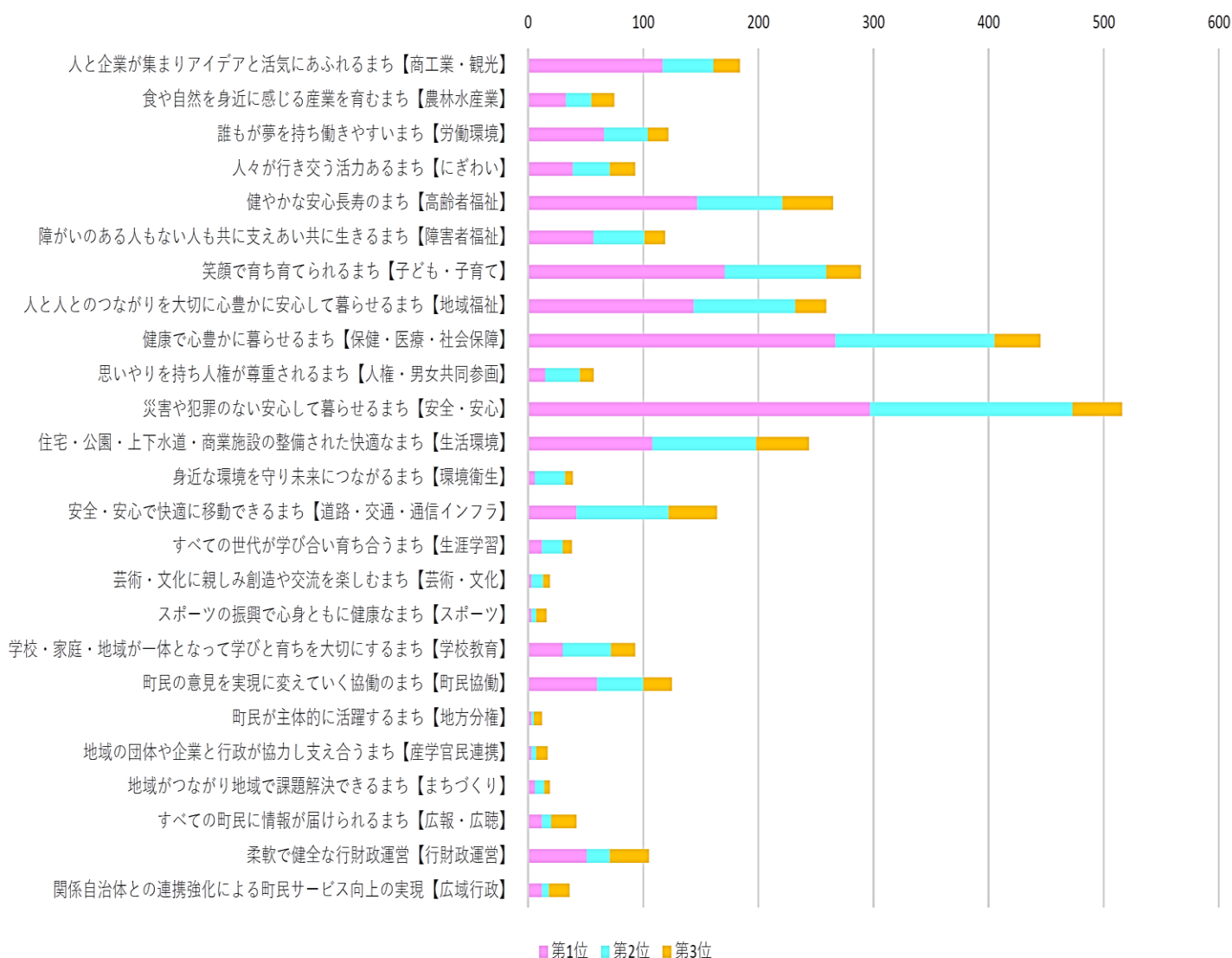
めざすべきまちの姿についてお尋ねします

Q17 今後の10年間のまちづくりで、あなたが重要だと思うものを教えてください。

項 目	第1位(人)	第2位(人)	第3位(人)	ポイント
人と企業が集まりアイデアと活気にあふれるまち【商工業・観光】	39	22	23	184
食や自然を身近に感じる産業を育むまち【農林水産業】	11	11	20	75
誰もが夢を持ち働きやすいまち【労働環境】	22	19	18	122
人々が行き交う活力あるまち【にぎわい】	13	16	22	93
健やかな安心長寿のまち【高齢者福祉】	49	37	44	265
障がいのある人もない人も共に支えあい共に生きるまち【障害者福祉】	19	22	18	119
笑顔で育ち育てられるまち【子ども・子育て】	57	44	30	289
人と人とのつながりを大切に心豊かに安心して暮らせるまち【地域福祉】	48	44	27	259
健康で心豊かに暮らせるまち【保健・医療・社会保障】	89	69	40	445
思いやりを持ち人権が尊重されるまち【人権・男女共同参画】	5	15	12	57
災害や犯罪のない安心して暮らせるまち【安全・安心】	99	88	43	516
住宅・公園・上下水道・商業施設の整備された快適なまち【生活環境】	36	45	46	244
身近な環境を守り未来につながるまち【環境衛生】	2	13	7	39
安全・安心で快適に移動できるまち【道路・交通・通信インフラ】	14	40	42	164
すべての世代が学び合い育ち合うまち【生涯学習】	4	9	8	38
芸術・文化に親しみ創造や交流を楽しむまち【芸術・文化】	1	5	6	19
スポーツの振興で心身ともに健康なまち【スポーツ】	1	2	9	16
学校・家庭・地域が一体となって学びと育ちを大切にするまち【学校教育】	10	21	21	93
町民の意見を実現に変えていく協働のまち【町民協働】	20	20	25	125
町民が主体的に活躍するまち【地方分権】	1	1	7	12
地域の団体や企業と行政が協力し支え合うまち【産学官民連携】	1	2	10	17
地域がつながり地域で課題解決できるまち【まちづくり】	2	4	5	19
すべての町民に情報が届けられるまち【広報・広聴】	4	4	22	42
柔軟で健全な行財政運営【行財政運営】	17	10	34	105
関係自治体との連携強化による町民サービス向上の実現【広域行政】	4	3	18	36
その他	2	1	0	

※ポイントは、第1位(3ポイント)、第2位(2ポイント)、第3位(1ポイント)として計算している。

※その他 … 人口減少対策、ほか



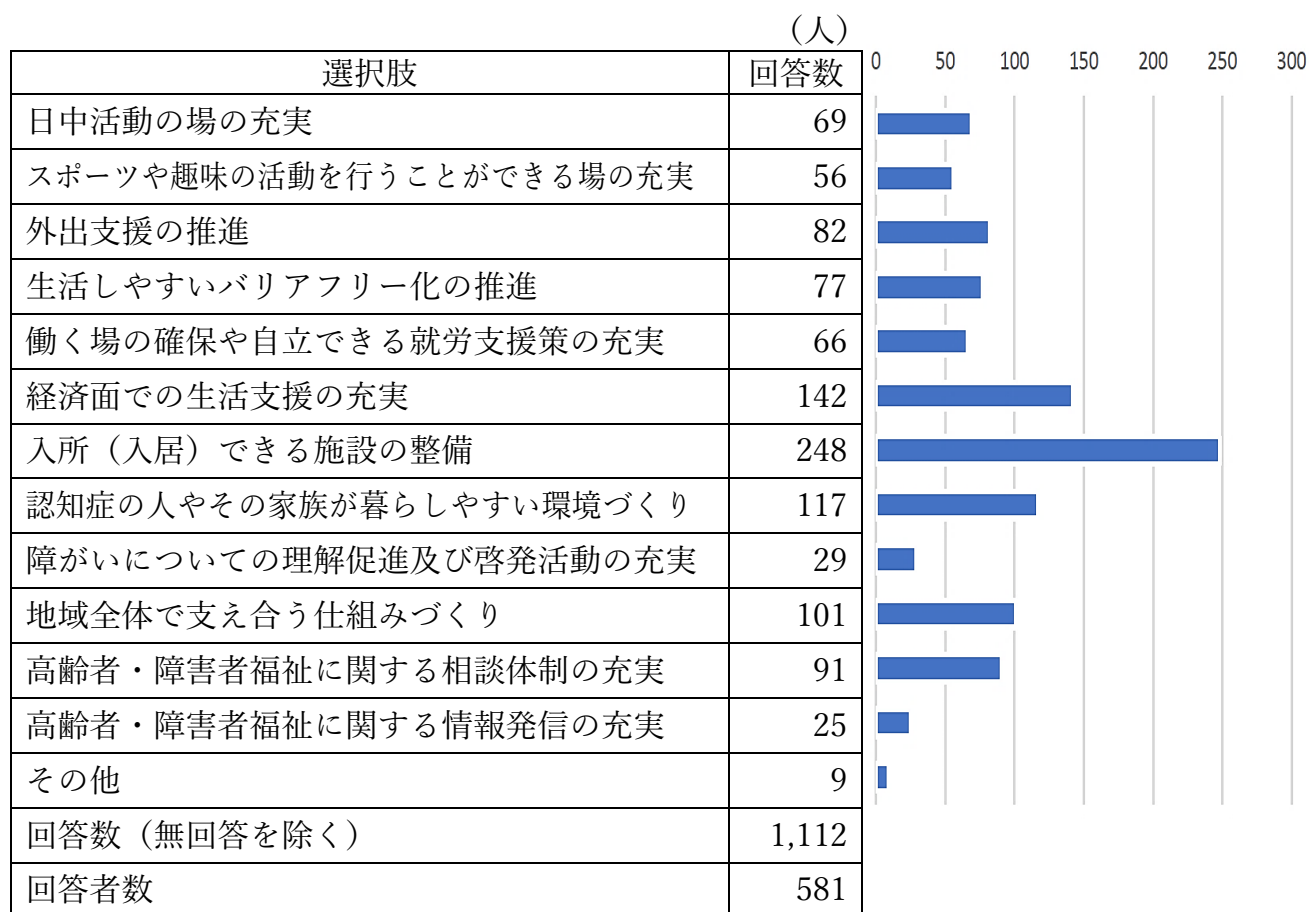
【分析】

ポイントの多い順に次のとおりとなった。

- ・第1位 災害や犯罪のない安心して暮らせるまち【安全・安心】
- ・第2位 健康で心豊かに暮らせるまち【保健・医療・社会保障】
- ・第3位 笑顔で育ち育てられるまち【子ども・子育て】

「40歳代」以下は【子ども・子育て】や【生活環境】、「50歳代」以上は【保健・医療・社会保障】のポイントが高かった。また、地区別の「大字瀬田」や「関ヶ浜地区」、居住年数別の「30年以上」において【高齢者福祉】のポイントが高かった。

Q18 あなたは、高齢者福祉・障害者福祉を充実させるためには、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。



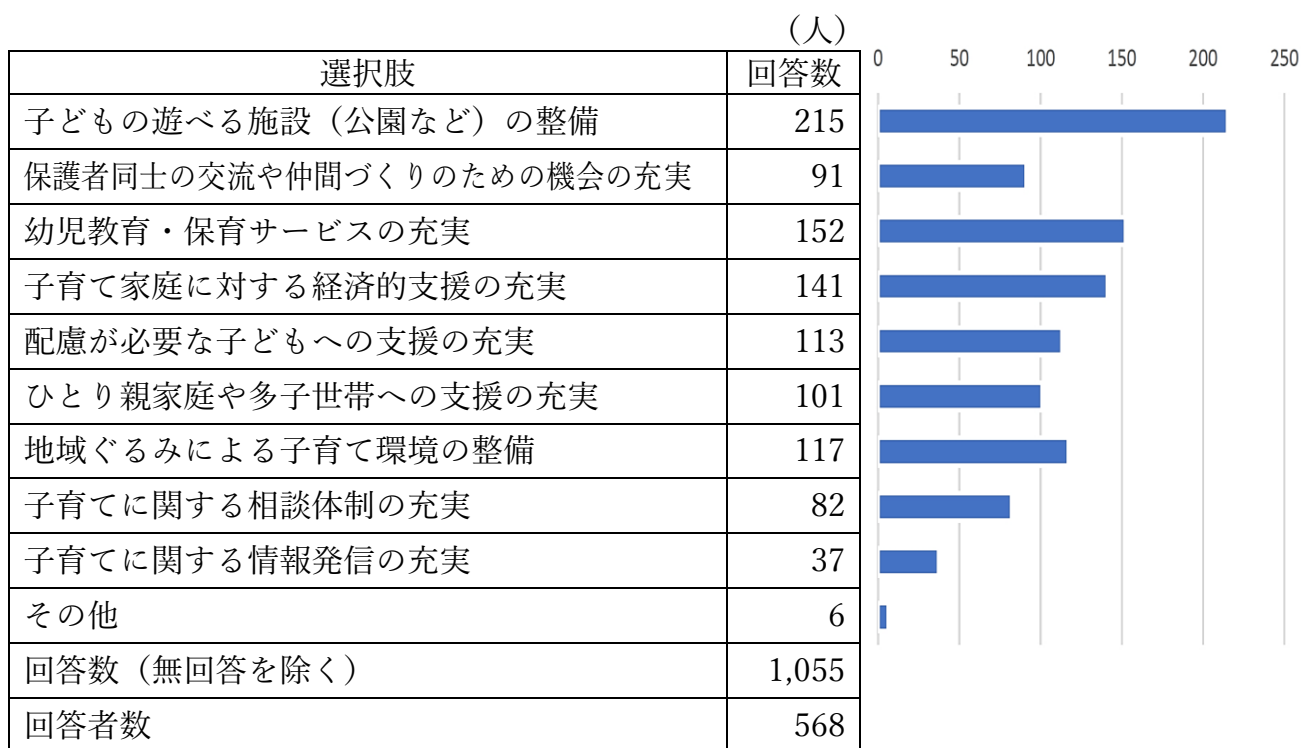
※その他

- ・施設職員の処遇改善
- ・障害認定の迅速化
- ・町民運動会の復活
- ・タクシーチケットの拡充（全額補助へ）
- ・運転免許証返納後のサービス充実
- ・宅配サービスへの補助金
- ・民生委員や福祉委員の充実

【分析】

回答の多い順に「入所（入居）できる施設の整備」、「経済面での生活支援の充実」、「認知症の人やその家族が暮らしやすい環境づくり」の結果となった。「10歳代」では、「地域で支え合う仕組みづくり」や「日中活動の場の充実」など、地域の取組強化に力を入れるべきとの回答が多かった。

Q19 あなたは、子ども・子育て支援を充実させるためには、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。



※その他

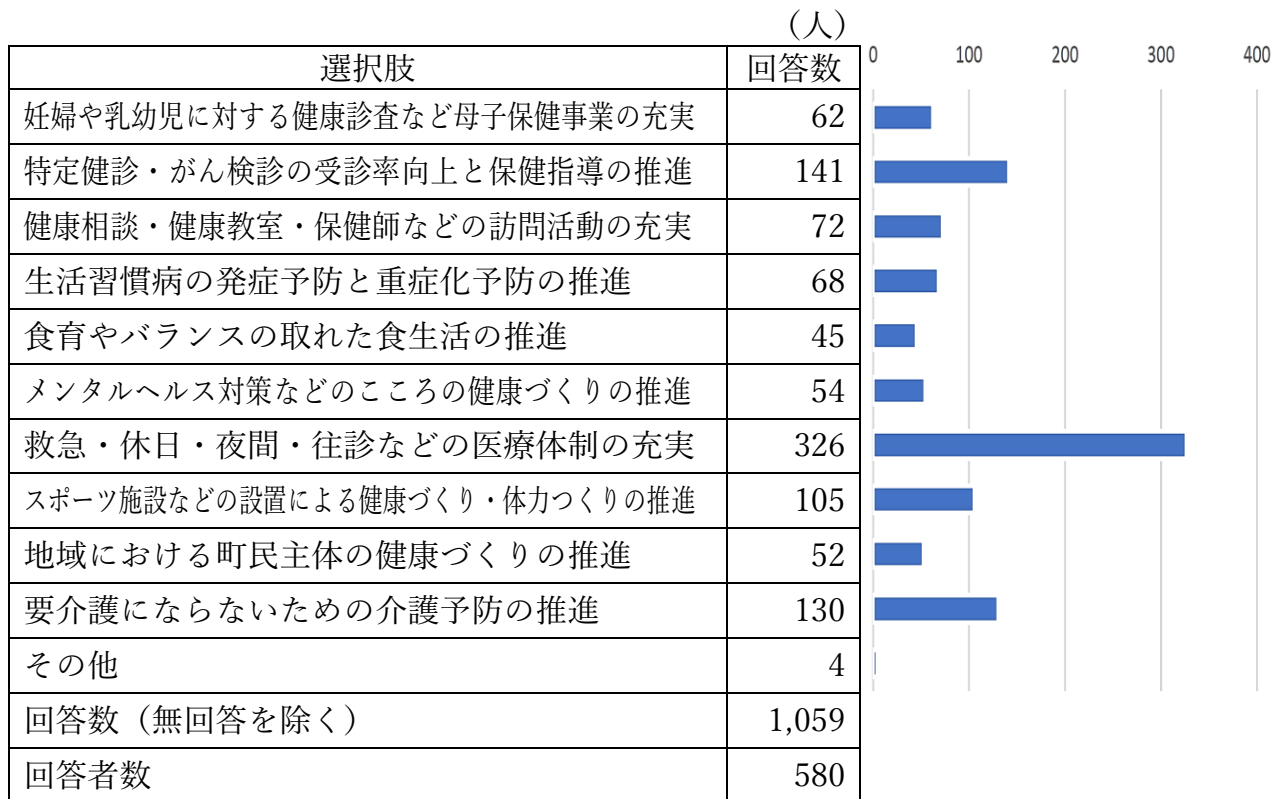
- ・ 3世代同居の促進など、家族間のサポート強化になる公的負担
- ・ 老人ホームの隣に子供ホームを
- ・ 町外との交流の場を持つ（子ども）

【分析】

回答の多い順に「子どもの遊べる施設（公園など）の整備」、「幼児教育・保育サービスの充実」、「子育て家庭に対する経済的支援の充実」の結果となった。

「10歳代」と「20歳代」では「ひとり親家庭や多子世帯への支援の充実」を望む声が多く、続いて「30歳代」と「40歳代」では「子育て家庭に対する経済的支援の充実」を望む声が非常に多かった。「40歳代」あたりから「配慮が必要な子どもへの支援の充実」や「地域ぐるみによる子育て環境の整備」を望む声が増え始めており、子育てのフェーズごとのニーズが異なることがよくわかる結果となった。

Q20 あなたは、保健・医療、社会保障を充実させるためには、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。



※その他

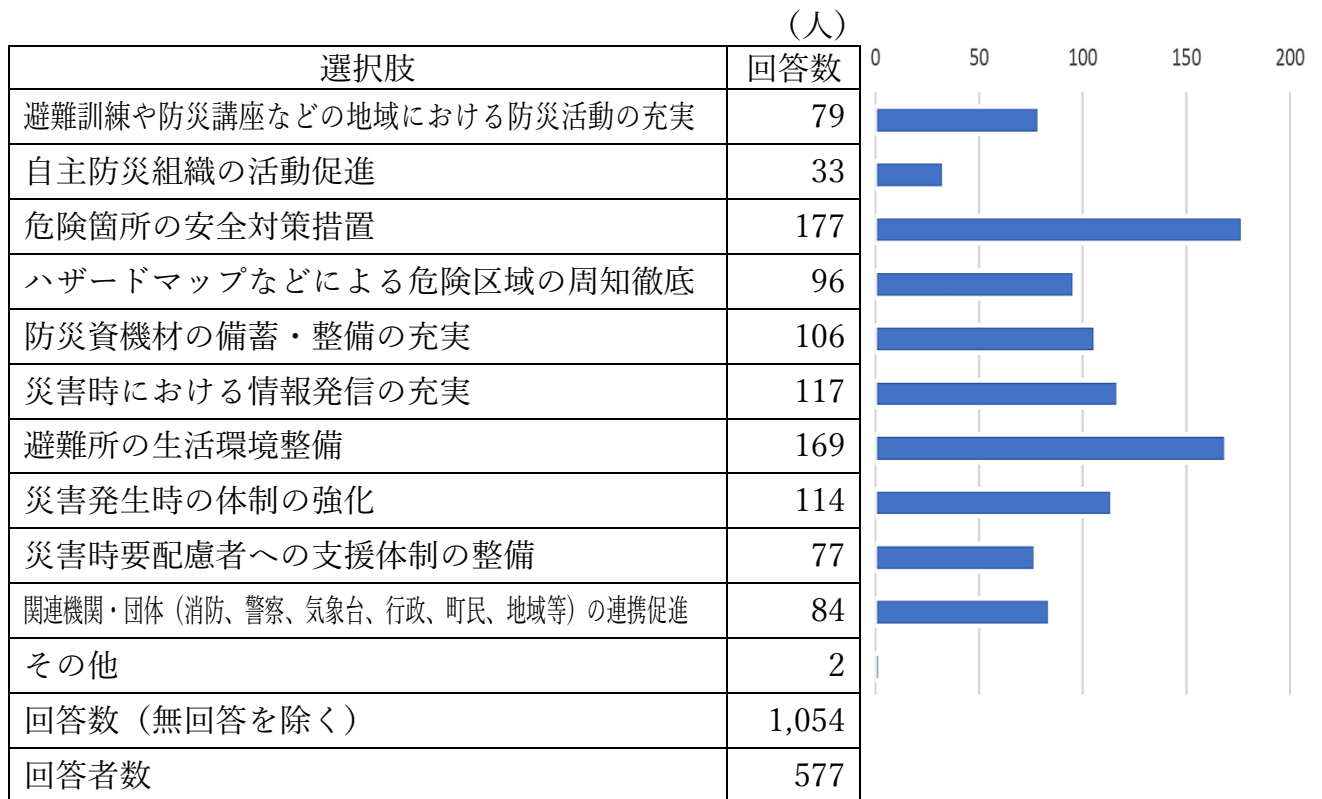
- ・人口増加のための経済的支援
- ・総合病院との連携
- ・他市と同等の保障を受けられるように
- ・和木町内でできることを増やしてほしい

【分析】

回答の多い順に「救急・休日・夜間・往診などの医療体制の充実」、「特定健診・がん検診の受診率向上と保健指導の推進」、「要介護にならないための介護予防の推進」の結果となった。また、4位ではあるが、「スポーツ施設などの設置による健康づくり・体力づくりの推進」の回答も多かった。

年齢別集計では「20歳代」と「30歳代」で「妊婦や乳幼児に対する健康診査など母子保健事業の充実」を上位とする回答が多く、また、居住年数別集計の「5年未満」や「5年～10年未満」でも同様であった。

Q 2 1 あなたは、防災に対する取組として、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。



※その他

- ・消防団を募集する
- ・避難場所（垂直避難等）の拡充

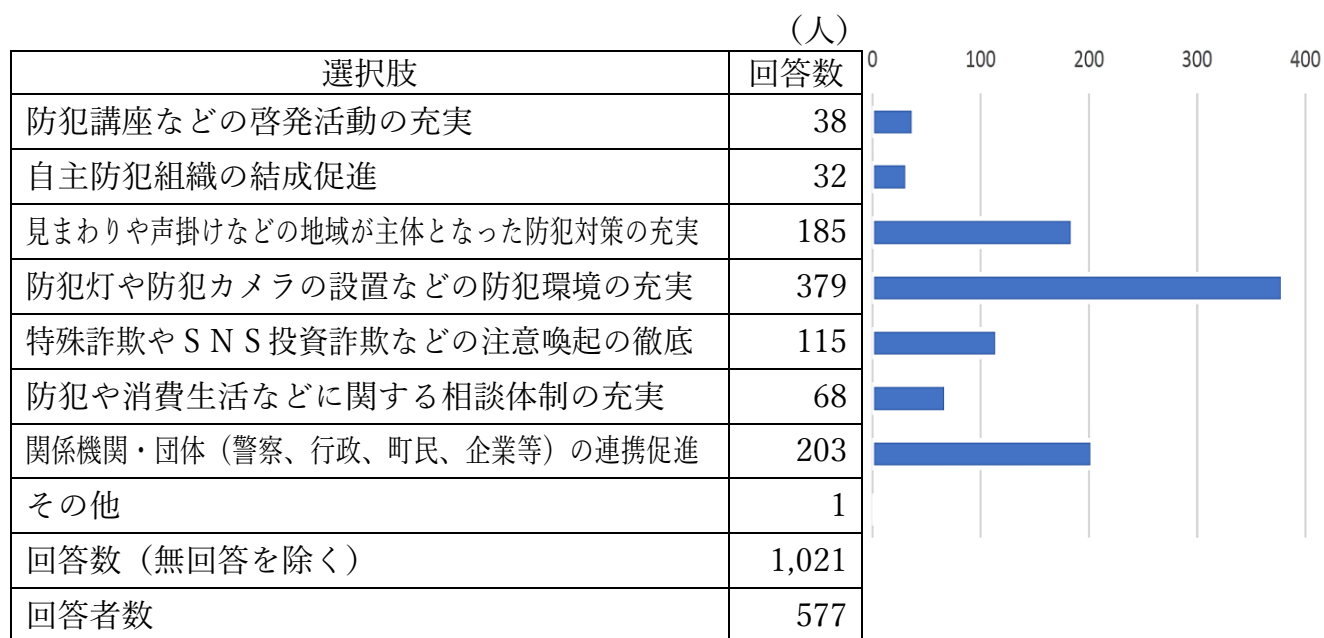
【分析】

回答の多い順に「危険箇所の安全対策措置」、「避難所の生活環境整備」、「災害時における情報発信の充実」の結果となった。順位は上記のようになったものの、多くの選択肢で回答率が拮抗している。

「10歳代」から「40歳代」にかけては「防災資機材の備蓄・整備の充実」が、「50歳代」以上では「災害時における情報発信の充実」や「災害時要配慮者への支援体制の整備」を重要視する傾向にあった。また、地区別に見ると「瀬田1丁目」、「瀬田4丁目」、「大字瀬田」で「避難訓練や防災講座などの地域における防災活動の充実」を回答に選んだ人が多かった。

居住年数別では、居住年数の少ない「5年未満」や「5年～10年未満」において「ハザードマップなどによる危険区域の周知徹底」を、居住年数の長い「20年～30年未満」や「30年以上」は「災害時における情報発信の充実」を回答に選んだ人が多かった。

Q 2 2 あなたは、防犯に対する取組として、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。



※その他

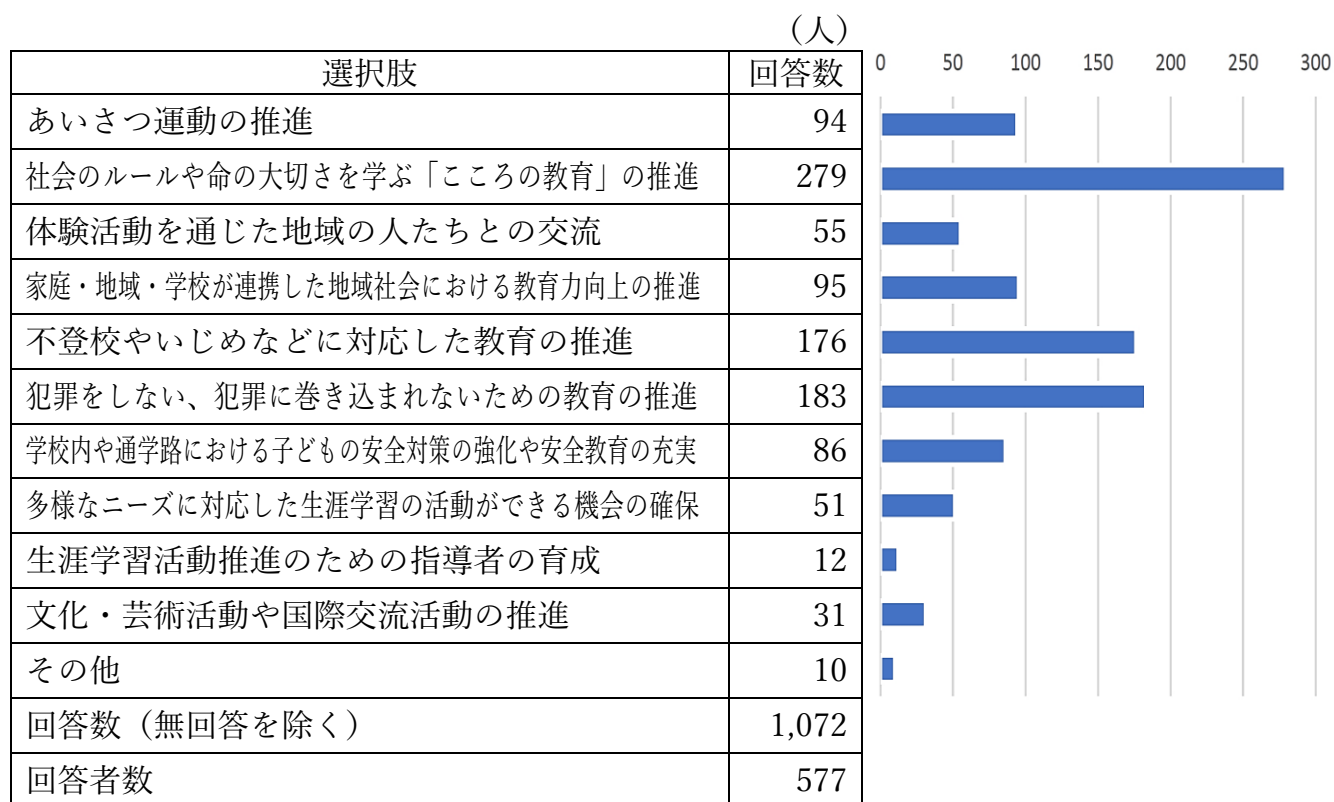
- ・特殊詐欺やＳＮＳ投資詐欺などに対する具体的な対応

【分析】

回答の多い順に「防犯灯や防犯カメラの設置などの防犯環境の充実」、「関係機関・団体（警察、行政、町民、企業等）の連携促進」、「見まわりや声掛けなどの地域が主体となった防犯対策の充実」の結果となった。

年齢別の「１０歳代」、居住年数別の「１０年～２０年未満」、職業別の「学生」において、「特殊詐欺やＳＮＳ投資詐欺などの注意喚起の徹底」を回答に選んだ人が多かった。

Q 2 3 あなたは、学校教育を充実させるためには、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。



※その他

- ・金融教育 ・道徳教育 ・保護者の教育 ・SNSの使い方
- ・理解していない子どもに対する個別指導
- ・性被害・犯罪に巻き込まれない、加害者にさせないための具体的・詳細な性教育
- ・部活動や放課後の取組
- ・社会経験のある教員の確保
- ・先進的な学校運営を行っている教育機関の取組研究
- ・学祭やイベントを企画運営し、地域との交流を図る

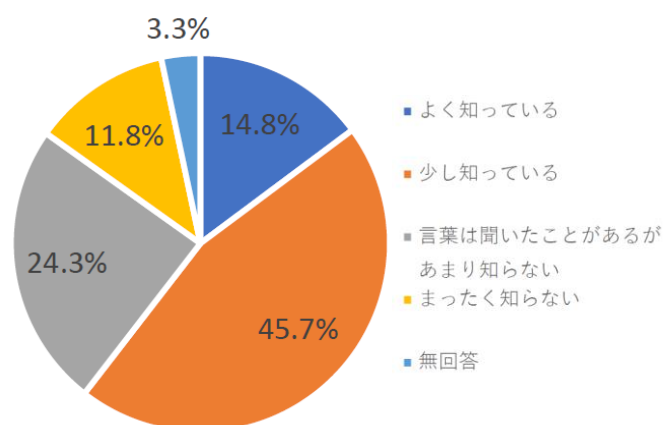
【分析】

回答の多い順に「社会のルールや命の大切さを学ぶ「こころの教育」の推進」、「犯罪をしない、犯罪に巻き込まれないための教育の推進」、「不登校やいじめなどに対応した教育の推進」の結果となった。

「40歳代」以上では「あいさつ運動の推進」を回答に選んだ人が多かった。

Q 2 4 あなたは「SDGs」について知っていますか。

選択肢	回答数(人)	回答率(%)
よく知っている	89	14.8
少し知っている	274	45.7
言葉は聞いたことがあるが あまり知らない	146	24.3
まったく知らない	71	11.8
無回答	20	3.3
合計	600	99.9



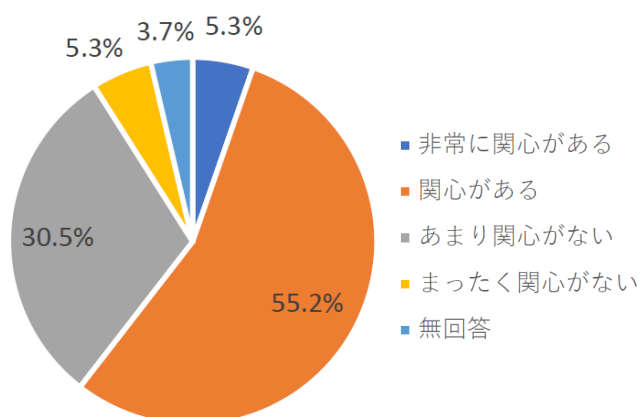
【分析】

回答として最も多かったのが「少しは知っている(45.7%)」で、「よく知っている(14.8%)」と合計すると 60.5%となる。

「70歳代」以上の年代ではあまり知られておらず、「まったく知らない」と回答した方も多い。一方で「10歳代」では「まったく知らない」と答えた方はおらず、認知度が高かった。

Q 2 5 SDGsについて、どの程度関心がありますか。

選択肢	回答数(人)	回答率(%)
非常に興味がある	32	5.3
興味がある	331	55.2
あまり興味がない	183	30.5
まったく興味がない	32	5.3
無回答	22	3.7
合計	600	100.0



【分析】

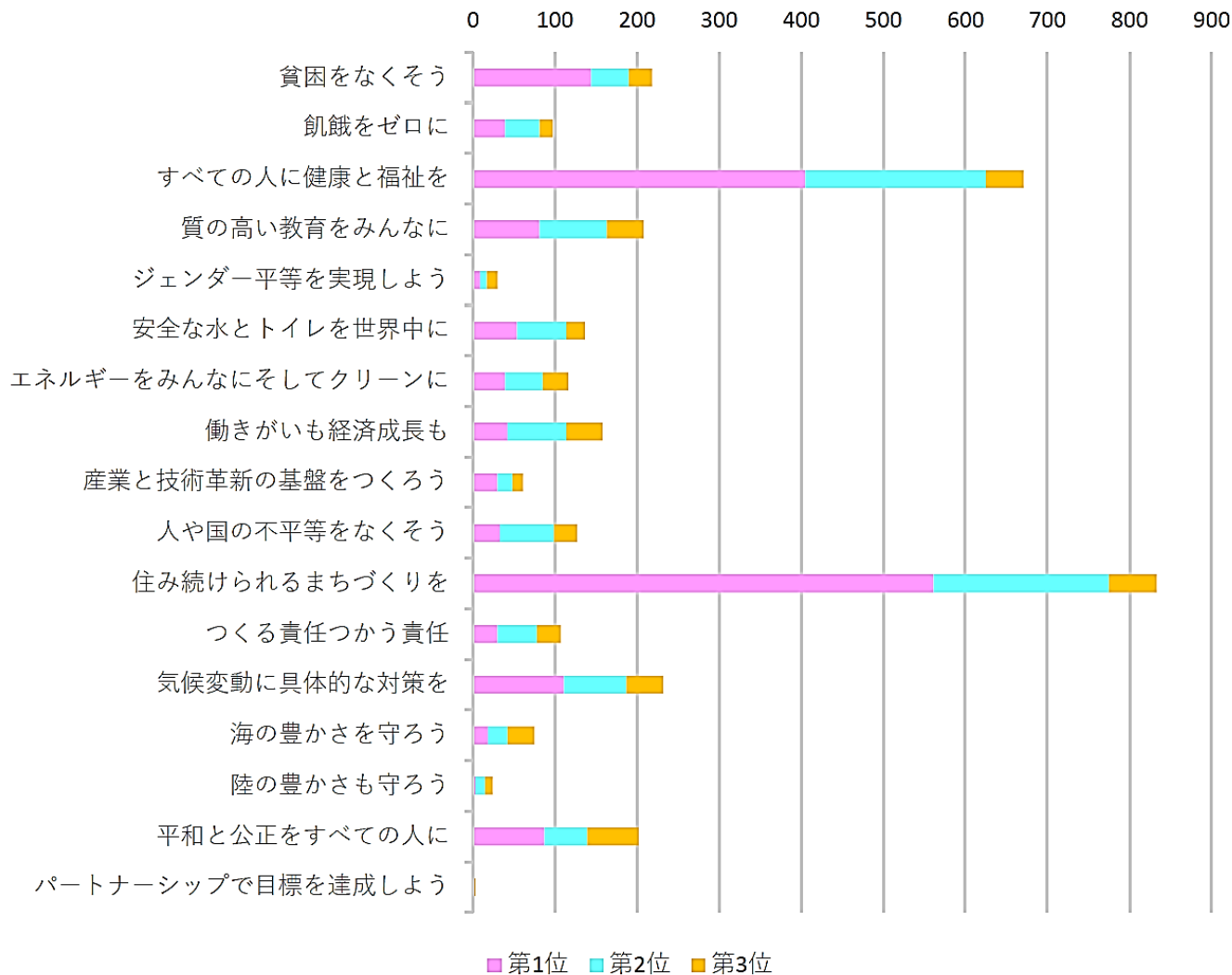
回答として最も多かったのが「興味がある(55.2%)」で、「非常に興味がある(5.3%)」と合計すると 60.5%となる。

居住年数の長い「20年～30年未満」、「30年以上」において「非常に興味がある」と答えた方が多かった。

Q26 SDGsの17の開発目標のうち、これから、和木町はどの目標に力を入れていくべきだと思いますか。

項 目	第1位(人)	第2位(人)	第3位(人)	ポイント
貧困をなくそう	48	23	28	218
飢餓をゼロに	13	21	16	97
すべての人に健康と福祉を	135	110	46	671
質の高い教育をみんなに	27	41	45	208
ジェンダー平等を実現しよう	3	4	13	30
安全な水とトイレを世界中に	18	30	22	136
エネルギーをみんなにそしてクリーンに	13	23	31	116
働きがいも経済成長も	14	36	44	158
産業と技術革新の基盤をつくろう	10	9	13	61
人や国の不平等をなくそう	11	33	28	127
住み続けられるまちづくりを	187	107	58	833
つくる責任つかう責任	10	24	29	107
気候変動に具体的な対策を	37	38	45	232
海の豊かさを守ろう	6	12	33	75
陸の豊かさも守ろう	1	6	9	24
平和と公正をすべての人に	29	26	63	202
パートナーシップで目標を達成しよう	0	1	1	3

※ポイントは、第1位（3ポイント）、第2位（2ポイント）、第3位（1ポイント）として計算している。



【分析】

全体集計ではポイントの多い順に次のとおりとなった。

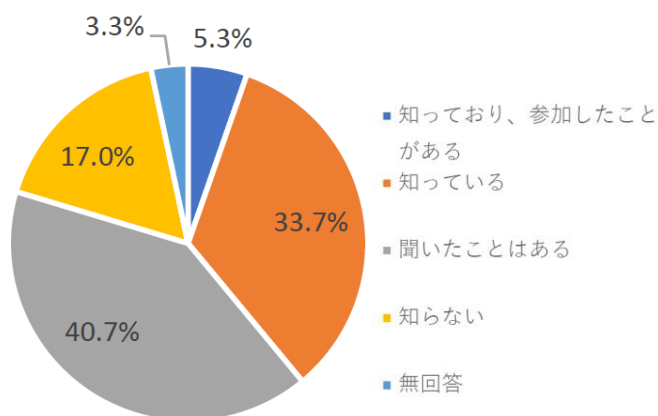
- ・第1位 住み続けられるまちづくりを
- ・第2位 すべての人に健康と福祉を
- ・第3位 気候変動に具体的な対策を

第3位以下は、他に「貧困をなくそう」、「質の高い教育をみんなに」、「公平と公正をすべての人に」が僅差となった。

年齢別では「30歳代」と「40歳代」で「質の高い教育をみんなに」を選択した人が多く、「60歳代」と「70歳代」では「気候変動に具体的な対策を」を選択した人が多かった。また、家族構成別集計では「2世代世帯」で特に「質の高い教育をみんなに」を選択した人が多かった。

Q 2 7 和木町は“町ぐるみ「和木学園」”に取り組んでいます。あなたは“町ぐるみ「和木学園」”について知っていますか。

選択肢	回答数(人)	回答率(%)
知っており、参加したことがある	32	5.3
知っている	202	33.7
聞いたことはある	244	40.7
知らない	102	17.0
無回答	20	3.3
合計	600	100.0



【分析】

回答として最も多かったのが「聞いたことはある（40.7%）」で、次いで「知っている（33.7%）」となった。

クロス集計においては、年齢別集計で「20歳代」が「知らない」と回答した方が多く、地区別集計では「瀬田3丁目」、「大字瀬田」、「関ヶ浜2丁目」では「知っており、参加したことがある」と回答した方がゼロだった。また、居住年数の少ない「5年未満」では「知っており、参加したことがある」と回答した方はゼロで、さらに「知らない」が4割を超えた。

Q28 “町ぐるみ「和木学園」”の取組として、参加してみたい、自分が先生になって教えてみたいことなどがあれば自由に記入してください。

1. 参加してみたいこと

ジャンル	記載内容
スポーツ	「体力づくり」、「ウォーキング」、「ランニング」、「体操」、「スキー教室」、「スケート教室」、「ニュースポーツ」
農林水産・自然	「和木学農園」、「農作業」、「キジハタ・幼鮎等」、「魚が増える海作り」、「里山体験教室」
食に関すること	「料理教室（岩国ずし、やまももアイス）」、「世界のお茶時間～Tea time を通じた歴史と文化」、「食べられる野草」、「食の大切さ」
ビジネス	「社会人としてのマナー」、「お仕事体験」、「必要最低限の一般常識」
芸術	「音楽系の講座」、「サックス」、「芝生で聞く音楽会」、「どのような姿勢でも良いので音楽を楽しむ会」、「ボイス・トレーニング」
趣味・生活	「カメラの取扱い方法～上手に撮るためのコツ」、「読書関係の行事」、「読書会」、「初心者から学べる故書講座」、「盆栽」、「サボテン類のミニ鉢植えの楽しみかた」、「掃除の仕方」、「あたりまえの生活をする大切さ」、「アウトドア体験（蜂ヶ峯 Bee+や学校等）」、「認知症防止」、「転倒防止」、「家庭菜園」、「しめ縄づくりや草履づくり」、「物づくり」、「お金について（子どもたち対象）」、「いまさら聞けない税や株式に対する入門講座（ふるさと納税、iDeCo、NISA 等）」、「高齢者の確定申告書の作り方」
地域	「四鏡戦争」、「町内に残る古文書から歴史を学ぶ」、「和木のしらうお石鯨」、「小瀬川での生き物調査」、「近隣企業と連携したイベント」、「地域協働作業」、「ボランティア活動」、「地域文化への参加率向上対策意識改革」、「他国の人の考え方など学び共存するための MT(ミーティング) 交流」、「国際交流」、「多文化共生」、「異世代との交流」
社会	「社会見学ツアー（広島平和公園・広島平和記念資料館、宮島、錦帯橋、図書館の裏側、文化会館の裏側、和木の事業所、コンビナート大企業、下瀬美術館、役場見学、他市町村の催し）」、「平和教育（広島市が行なっている被爆証言のようなものを想定）」、「ハラスメント」、「躰と体罰の違い」、「人間性」
コンピューター	「タブレット端末を使った ICT 関連の授業（SE 育成）」、「プログラミング教室や動画実況の体験」、「さまざまな手続きのオンライン化・ワンストップ化に対応するための勉強会や講座」、「小中学生が先生の ICT 教室」
語学	「英会話」、「漢検受験（親子で）」
その他	「ケーブルテレビやオンラインでの受講」、「会社でのノウハウが活かせること」、「和木町の事、何でも」、「子供と大人の勉強会“なぜなぜ教室”どうしてこうなるの教えて？（科学、心、病気、コンピューター、AI、等々）」

2. 自分が先生になって教えてみたいこと

ジャンル	記載内容
語学	「外国人を対象とした日本語教室」
農林水産・自然	「野生動物観察」、「水生生物観察等の環境教育」
食に関すること	「栄養が身体に与える影響、食事バランスがもたらす将来の身体づくり」

Q29 あなたが考える、和木町のキャッチフレーズや将来像としてふさわしいキーワードなどを自由に記入してください

【キャッチフレーズ】

- 未来を担う子供たちに安全・安心に暮らせるまち
- 町民への高い福祉充実と健康作りの充実した町
- 人と人の和をつなぎ、大きな夢が育つ街に!!
- 安心、安全、コンパクトタウン
- キラキラかがやくひととまち
- 住みやすくみんなに愛されるまち
- 安全でくらしやすい和木町～誰もが住みやすい町
- 安心して暮らせる・働ける多文化共生タウン
- お年寄りから赤ちゃんまで住みやすいまち和木町
- 誰もが住みたい和木町!!
- 子供から大人まで住みたくなる町 和木町
- ひとりひとりが大切にされるまち
- 山と海と川に囲まれたちょっと小さな町で快適で最高なくらしを。
- 子どもが健やかに育ち、お年寄りが安心してすごせる街
- 工業、商業、未来への町
- 活力、活き活き、「世代で繋ぐ笑顔の輪、みんなが住みよい素敵な和木町」
- 緑の風薫る文化のまち和木町～だれもおきざりにならない幸せな街へ～
- 緑ゆたかな 文化とふくしの町
- 子供から 100才まで 元気に笑ってすめる Smile Town
- 幸せな街和木町～家族の笑顔あふれるまち～
- 愛するわが町和木町!!楽しいわが町和木町!!もっともっと楽しく暮らしましょう
- 人生100年時代運動食事で健康維持
- 世代を超えてつながるまち和木町 ～柔しく、思いやりやりにあふれるまち～
- ぼくの未来につづく和木町♪やっほー 帰りたいふるさと和木町♪いえ～い♡ 太陽がまぶしい山と川と海のまち和木町～♪
- 皆が友達助け合いの町
- 大人も子供も笑顔で話せる和木町
- 住みよい町温かい町福祉の町
- 学び合い喜び合う和木町
- 文化のまち・笑顔でつながる和木町
- 助け合いのできるまち和木町～思いやりをもって行動できるひとづくり
- 誰もが幸せと思える町
- 住んで良かったと思える町
- 和木町に住んでみたいと思える町
- みんな笑顔であいさつができる～豊かなまち
- 小さな町に活気にあふれる和木町

- わが町きらり！！和木町
- 子供からお年寄りまで住みたい和木町
- 町民全員が家族 みんなで育てる子育て
- ♡嬉しいね、楽しいね、有難う和木町♡
- 有難う和木町、今日も元気😊
- 未来の世界、未来の和木町“愛”
- 「おかえり」和木町「ただいま」和木町
- 和木町ヨイトコ一度はおいで一度住んだらやめられない（ハーヨイショ！）
- 新しい時代を共に生きる町～愛&笑い&喜び
- 住みたい町和木町
- 住み続けられるまち和木町
- 安全と安心のまち和木町 ～幸福感 感じられるまち～
- スモールタウンから発する大きな夢！（ビッグドリーム） 実現可能な夢を町民皆でかなえます
- 幸福（しあわせ）を感じるまち
- 安全で快適なまち
- 希望あふれるまち
- 三位一体（自助・共助・公助）なまち
- ずっと住みつづけたいまち
- 見しらぬ人とのあいさつで今日一日が開けてくる町和木町
- "思いやり"笑顔あふれる和木の町
- 住んでいる人が住んでる事を誇りと自信が持てる町
- 愛されている町 しあわせ度 100%以上
- ゆりかごから墓場まで、寄り添いの町。
- 心と体が喜ぶまち和木町
- みんなで元気にみんなで楽しく
- 皆があこがれる町和木町
- 誰もが住み続けたい町
- ここで始めるここで暮らすここで未来を
- 思いやりあるまち和木
- 緑の風薫る文化のまち和木町～誰もが安心して住めるまち～
- 緑の風薫る文化のまち和木町～笑顔の輪ひろがるまち～
- 緑の風薫る文化のまち和木町～あなたの思いによりそうまち～
- みんなが帰りたくなる故郷…和木町～ツンデレが多い魅力あるまち
- 人にやさしい町、笑顔あふれる町、町民幸福度日本一（を目指す）
- 誰もが笑顔で暮らせる町
- 弱者にやさしい町
- Small & Smile Waki Town スモール&スマイル 和木町
- このままでよい
- 今のキーワードが1番好きです

- 今のものがピッタリです
- 今のキャッチフレーズはとても素敵だと思います。
- 今のままで良いかと。

【キーワード】

- 自然豊か
- 住みやすいまち
- クリーン和木町
- クリーン小瀬川
- 調和
- 助け合い
- 平和
- 安心・安全
- 落ち着ける
- あいさつ
- コミュニケーション
- 子育てしやすいまち
- 笑顔あふれるまち
- ひとりひとりが大切にされるまち主役のまち
- 夢
- 暮らす
- 交流
- 活力
- 豊かな心
- ふるさと
- 子ども
- 経済成長
- アイデア
- ユニーク
- 柔軟
- 健康
- みんな幸せ
- 小さな町だからこそ、できることがある
- 住み続けたい町へ!!
- コンパクト
- 充実
- 快適

【要望的なもの】

- スクールガードの促進

- ゴミ不法投棄をやめる
- 人口減の無い様いろいろ工夫して欲しい（医療・商店・交通等）
- 地区の催物に多くの人の参加が望ましい
- 教育で将来を豊かに
- 何歳からでも勉強ができる環境
- 気軽に参加できる無料の施設・公園等に誰でも使用できる健康用具の設置
- 町民参画の街づくり。話し合いの場をたくさん作って共通理解による町づくりを進めます
- 和木町の行事も程度の高いもの（金が必要ですが）レベルを上げてください
- 子供らが増えて活気のある和木町を
- 風土、教育、次世代を育てる
- 空き家が増していくので寂しく思います。転入している人がいて、その人たちと仲良く暮らせる町にしたいです。
- 信頼できる町制

【その他】

- 自然豊かなこと、住みやすい町をアピールすることが良いと思います。
- みんなでルールとマナーを守りましょう～
- すべての世代の人が幸せに過ごせる
- 役場の職員の対応が大変よろしい。満点である
- 現在の都市像にある「笑顔があふれる町」というのは今後も和木町の将来像として重要
- あいあいバス乗って用事済ませる町
- 敬老会毎年楽しみ和木町は
- 移住して和木の豊かさ月日が薬
- この将来都市像は今ありたい姿を言ってるだけで将来的に目指す方向性がわかりません。
また挨拶は手段であり目的ではありません。何のために挨拶をするのか近所の子供が理解しているか疑問です（やらされてる感が垣間見える）
- 「緑の風薫る文化のまち和木町」は本当に生きた町づくりのスローガンになっているのだろうか？大和橋から役場のメイン道路の街路樹のやまもも（町木）はほとんど枯れて切り倒されている。福社会館前の庭のやまももの大木も切り捨てられている（役場前の電話ボックスの両側のやまももも同じ）。「やまもも」をもっと大切にして「町木」として生かしていきたい。「やまもも」の特性は2年に1度発芽する。発芽した年に主幹主枝を切り落とすと枯れてしまう。樹木医の指導を受けて町木として立派に育てたいと思う。
- 山をあんなに切り開いて蜂ヶ峯、ゴルフ場、住宅地を作っておいて、いまさら将来都市像に「緑の風薫る文化のまち和木町…」などとは言ってほしくない。将来像としてふさわしいキーワードはわかりませんが…悲しいです。
- こじんまりした町です。その気になれば何でもできる。

Q30 まちの発展やみなさんの暮らしを豊かにするために取り組むべきこと、暮らしの中で困っていること、町政に望むことなど、ご意見・ご提案をお聞かせください。

項目	記載内容
人と企業が集まりアイデアと活気にあふれるまち【商工業・観光】	○半導体工場など、企業の誘致。 ○空き家を使った企業誘致。 ○サテライトオフィスの整備。 ○スーパー銭湯のような施設を建ててほしい。 ○瀬田の工場跡地を活用してほしい。 ○駅周辺に活気がない。
食や自然を身近に感じる産業を育むまち【農林水産業】	○農林水産業を発展させ、ふるさと納税の返礼品の充実へ。 ○熊の被害防止。 ○里山森林を整備して、里山文化を発信する。
誰もが夢を持ち働きやすいまち【労働環境】	○定年後の働きがいのある仕事がほしい。 ○町内企業への就職斡旋。
人々が行き交う活力あるまち【にぎわい】	○街コン（街全体で開催される婚活パーティー）を開催してはどうか。 ○若者の定住促進を図る。 ○空き家を人口増加につなげる。 ○イベント開催による交流人口の増加。 ○春夏秋冬でイベントを開催してほしい。 ○住民参加型の企画はどうだろうか（清掃ではなく、レジャーやスポーツ）。 ○国道2号沿いなどで高層住宅の建設を可能にする用途地域の見直し。
健やかな安心長寿のまち【高齢者福祉】	○老人が通所・入所できる施設が少ない。 ○公共施設のバリアフリー化。 ○タクシー券の利用条件を緩和して、すべての高齢者にタクシー券を配布してほしい。 ○高齢者サービスの充実。 ○認知症予防につながりそうなイベントを開催する。 ○孤立しないための声掛け支援。 ○町バスを使ってお年寄りを大型商業施設へ連れて行ってはどうか。 ○在宅で一生を終えられる環境づくり。 ○福祉サービスや見守りの充実、困りごとの発掘。 ○健康寿命を延ばす取組。 ○介護保険の申請がわかりにくい。
障がいのある人もない人も共に支えあい共に生きるまち【障害者福祉】	○障がい者や指定難病者への支援。 ○夜間、災害時、体調不良等ボタン1つでつながるシステムがあると安心。 ○福祉サービスや見守りの充実、困りごとの発掘。
笑顔で育ち育てられ	○子育てに関する金銭的な支援を増やしてほしい。

るまち【子ども・子育て】	○出産祝金の金額を上げてほしい。 ○多子世帯の経済的支援。 ○支援センターやこども館のような場所がほしい。 ○子どもが安全に遊べる公園を増やしてほしい。 ○公園の遊具（高学年が遊べるものも）を増やしたり・更新してほしい。 ○ボールで遊べる公園が限られている。 ○こども園のお昼寝の廃止。 ○「お弁当の日」をなくしてほしい。 ○長期休み前の給食終了が早すぎる。 ○教育費を無料にする。 ○小学校とこども園の連携をもっととってほしい。 ○ひとり親家庭の支援。 ○わきっこの長期休暇中の開所時間を拡大してほしい（特に朝）。 ○ワーキングマザーの支援。 ○高校卒業～大学生の経済的支援。 ○医療費の無料を大学卒業までしてもらいたい。 ○高校生の居場所が少ない。 ○子どもの貧困の解消。 ○高校生を対象にした通学費の助成。
人と人とのつながりを大切に心豊かに安心して暮らせるまち【地域福祉】	○気軽にあいさつのできる暮らしをしたい。
健康で心豊かに暮らせるまち【保健・医療・社会保障】	○病院の種類（科）を増やしてほしい。 ○給付金は低所得者だけではなく全ての人へ行ってもらいたい。 ○子育て世帯、ひとり親、高齢者以外の家庭にも支援を。 ○近年の値上がりラッシュで、かなりの我慢をしている。 ○プレミアム付き商品券の実施。 ○骨髄バンク登録の推進。
思いやりを持ち人権が尊重されるまち【人権・男女共同参画】	○パートナーシップ制度の検討。
災害や犯罪のない安心して暮らせるまち【安全・安心】	○防災行政無線をわかりやすく・聞き取りやすく。 ○防災行政無線をやめてほしい。 ○小瀬川の堤防の高さは十分か。 ○防犯カメラを増やしてほしい。 ○外灯を増やしてほしい。 ○外灯をLEDにしてほしい。 ○危険個所の安全対策。 ○備蓄品の種類、数の充実。 ○避難体制の強化（高齢者、ペットなど） ○海、川、山が近いこと水害が心配。

	○南海トラフ大地震発生時の避難計画や避難所の整備。 ○避難所として町営住宅を利用してはどうか。 ○草や茂みの深いところなど、防犯的に危険を感じる場所を定期的に見回ったり、対応してほしい。 ○豪雨や台風による山崩れを防ぐため、山林の整備を持ち主に促す。 ○防犯カメラの設置を義務化し、設置費用を全額補助にしてほしい。 ○防犯サッシ補助等もしてほしい。 ○火災警報器の交換用の電池を配布してほしい。 ○夜の行政相談場所。 ○困っていることを気楽に相談できるところを作してほしい。
住宅・公園・上下水道・商業施設の整備された快適なまち【生活環境】	○町営緑ヶ丘団地の空き家撤去や跡地利用を新しい人の移住につながるよう開発してほしい。 ○買い物が難しい人のための移動販売の整備。 ○飲食店を増やしてほしい。 ○商業施設の誘致。 ○麻雀クラブを作してほしい。 ○蜂ヶ峯総合公園の整備・発展。 ○ドッグランを作してほしい。 ○サイクリングコースの整備。 ○スポーツ器具の設置。 ○グラウンド照明の設置。 ○公園のトイレを新しくしてほしい。 ○老朽化した水道管・下水道管の整備。
身近な環境を守り未来につながるまち【環境衛生】	○ゴミ袋の販売場所を増やしてほしい。 ○ゴミ袋を安くしてほしい。 ○ゴミ収集所のカラスに困っている。 ○リサイクルごみを収集日以外でも出せる場がほしい。 ○小瀬川遊歩道のゴミや犬のフン、落書きをきれいにしてほしい。 ○猫のフンが多く、捨て猫が多いので、野良猫対策をしてほしい。 ○用水路の清掃をもっと頻度を上げて行ってほしい。 ○瀬田分館の近くにゴミが散乱している。 ○近所に住む外国人の常識の違いに困っている（夜間の騒音、路上駐車、家の周りに廃品を置く、など）。 ○食品ロスをなくしてゴミを減らす心構えを。 ○ごみ出しのマナー徹底 ○町内一斉清掃に毎回出てくれない人がいて困っている。 ○ごみのポイ捨て防止 ○毎月1回“ゴミを拾いながらウォーキングデー”を設けてはどうか。
安全・安心で快適に移動できるまち【道路・交通・通信インフラ】	○自動車を持たない人・免許証を返還した人の交通手段の整備。 ○岩国・大竹道路の早期開通。 ○2号線の渋滞解消。 ○歩道を広くしてほしい。 ○歩道が少ない。

	○街路樹や花壇の整備（桜、ツツジ、イチョウ、紅葉） ○道路標示等の整備。 ○道路幅が狭い町道の拡幅。 ○危険な横断歩道への信号設置。 ○カーブミラーが少ない。 ○小中学生の通学路における危険個所の点検と修繕。 ○自転車のマナーが悪い。 ○小中高生に道を塞いで歩かないよう交通指導してほしい。 ○あいあいバスの増便、運行スケジュールの改善。 ○あいあいバスの運行ルートを近隣市町まで伸ばしてほしい。 ○低床バスを導入してほしい。 ○車いすで乗れるバスを導入してほしい。 ○タクシーが少ない。 ○J R踏切の待ち時間が長い。 ○J Rの快速電車を増便してほしい。 ○和木駅の駐車場拡大。 ○安心して移動できるまちづくり。 ○スマホの通信が遅い。
すべての世代が学び合い育ち合うまち【生涯学習】	○有名人等の講演会を多く開いてほしい。 ○無料で参加できる勉強会、講座、講演会を企画してほしい。 ○和木学園の講座等の案内に力を入れてほしい。
芸術・文化に親しみ創造や交流を楽しむまち【芸術・文化】	○小中学生が知っている作家を講演に招く。 ○図書館の蔵書がさらに増えるとよい。
スポーツの振興で心身ともに健康なまち【スポーツ】	○健康づくりのための施設（フィットネスジム、スポーツクラブ、温水プール、バッチィングセンター）を作してほしい。 ○体育センター、町民プールの改修。 ○テニスコートの人工芝化。
学校・家庭・地域が一体となって学びと育ちを大切にするまち【学校教育】	○昔のように1日がかりの体育祭を実施してほしい。 ○小中学校で国語を重視し、日本語をより大事にしてほしい。 ○犯罪加害者にさせないための教育。 ○小学校の服装をもっと柔軟にしてほしい。 ○和木高等学校の新設。 ○教師の質と量の向上と改善（待遇、教育機会を増やす）。 ○教育委員会の質の向上を図る。
町民の意見を実現に変えていく協働のまち【町民協働】	○町民の意見や提案について、議会での検討、その結果報告、その後の対応等を説明してほしい。 ○トップダウンではなく、町民や町の職員からの提案、ボトムアップの充実。 ○若者との話の場をもってほしい。 ○意見を言う場の確保。 ○出前公聴会の開催。

町民が主体的に活躍するまち【地方分権】	○SDG s について、できることから取り組む。 ○マイナンバー等の利用促進。
地域の団体や企業と行政が協力し支え合うまち【産学官民連携】	○脱炭素の流れがあるので、石油コンビナートの将来計画をしっかりと把握する。
地域がつながり地域で課題解決できるまち【まちづくり】	○イエローチョークなど、マナーのあるまちに。 ○自治会の必要性がわからない。 ○自治会員の確保が問題。 ○旧・和木幼稚園の跡地利用。 ○近所付き合いがなくなっている（名前や顔がわからない）ことに将来の不安を感じる。 ○自治会活動は、誰かがするだろうではなく、協働する意識を向上させる方策、意識改革が大切。 ○隣・近所と仲良く助け合い暮らす。 ○後世に誇れるものづくり、まちづくり。
すべての町民に情報が届けられるまち【広報・広聴】	○福祉についての情報発信。 ○「広報わき」にいろんな大切なことが書かれているので、読んでもらえるような取り組みをしてほしい。 ○広報の表紙が白黒になり残念。 ○町民へ町政に興味を持ってもらうように、もっとPRする。
柔軟で健全な行財政運営【行財政運営】	○公共施設の定期的なメンテナンスをしてほしい。 ○単独町制を継続してほしい。 ○そろそろ合併してはどうか。 ○これまで“まちづくり”として行った施策の成功・失敗の確認 ○経営コンサルタントによる町の財政診断を行い、適正な人員配置と利潤追求を行う。 ○役場庁舎の建替え。 ○予算の使い方の透明性の確保。 ○地方債の削減
その他	○人口の若返り。 ○周辺都市、市町との連携強化。 ○和木町の暮らしやすさをPRして移住者を増やす。 ○転入者への情報提供や経済的支援を実施する。 ○町職員の資質向上を図る。 ○役場の手続きや問い合わせを時間外でもできるようにしてほしい。 ○住民票等のコンビニ発行。 ○税金を安くしてほしい。 ○上下水道料金を安くしてほしい。 ○健康保険や介護保険など、保険料を安くしてほしい。 ○光熱費が高い。 ○町営住宅の家賃が高い。

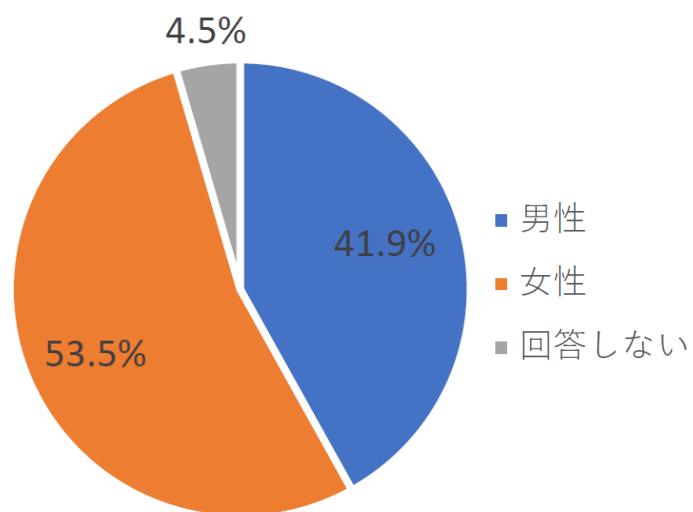
	○こども園の継続利用申請の紙がわかりづらい。 ○図書館に自習スペースを作ってほしい。 ○墓地の給水設備等の整備。 ○町議会議員の手当てが少ない。 ○町議会議員が多すぎる。 ○デジタル格差の解消。
--	--

Ⅲ 中学生対象調査の結果

あなたご自身のことについてお尋ねします

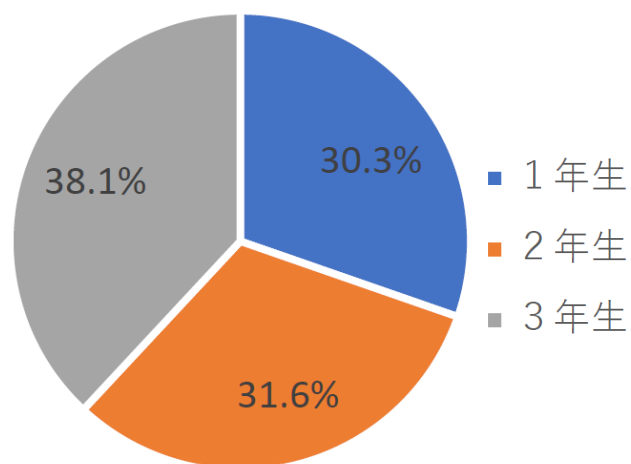
Q 1 あなたの性別をお答えください。

選択肢	回答数(人)	回答率(%)
男性	65	41.9
女性	83	53.5
回答しない	7	4.5
合 計	155	99.9



Q 2 あなたの学年をお答えください。

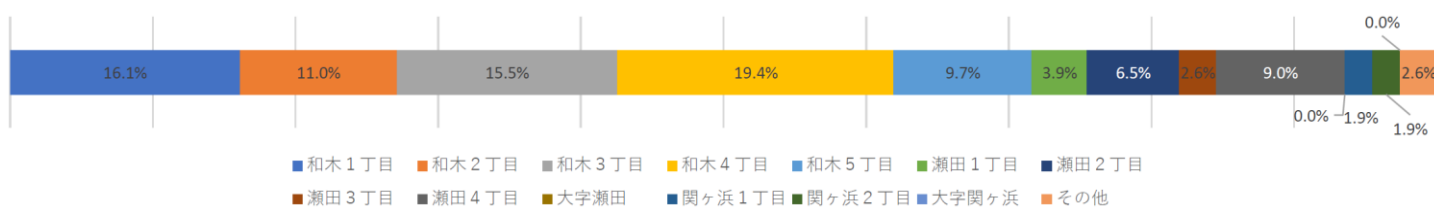
選択肢	回答数(人)	回答率(%)
1 年生	47	30.3
2 年生	49	31.6
3 年生	59	38.1
合 計	155	100.0



Q3 あなたが住んでいる地区をお答えください。

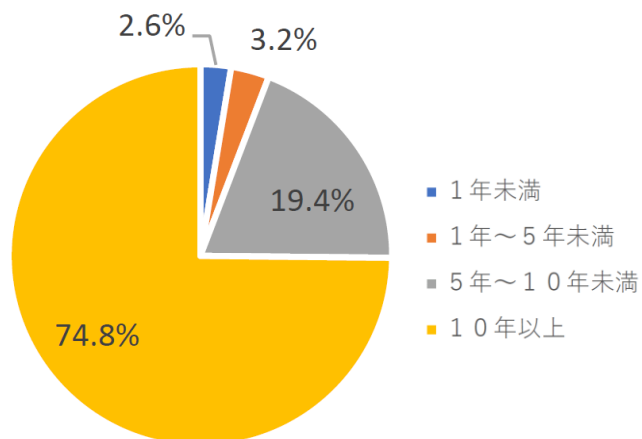
選択肢	回答数(人)	回答率(%)
和木1丁目	25	16.1
和木2丁目	17	11.0
和木3丁目	24	15.5
和木4丁目	30	19.4
和木5丁目	15	9.7
瀬田1丁目	6	3.9
瀬田2丁目	10	6.5
瀬田3丁目	4	2.6
瀬田4丁目	14	9.0
大字瀬田	0	0.0
関ヶ浜1丁目	3	1.9
関ヶ浜2丁目	3	1.9
大字関ヶ浜	0	0.0
その他	4	2.6
合 計	155	100.1

※その他 … 岩国市(2人)、未回答(2人)



Q4 あなたは和木町に通算で何年住んでいますか。

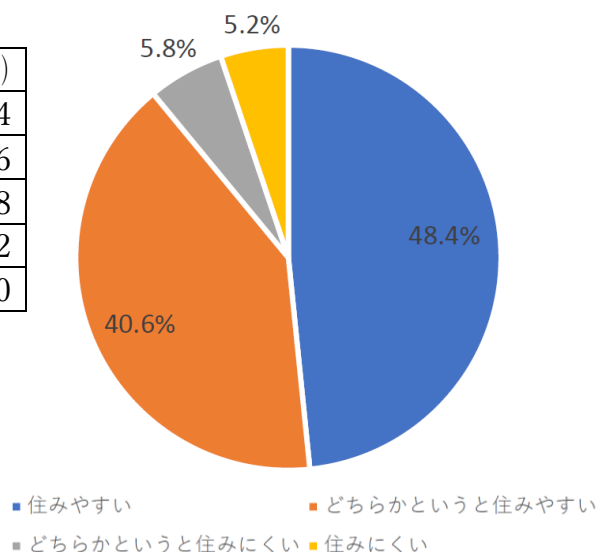
選択肢	回答数(人)	回答率(%)
1年未満	4	2.6
1年～5年未満	5	3.2
5年～10年未満	30	19.4
10年以上	116	74.8
合 計	155	100.0



和木町の住みやすさ・魅力についてお尋ねします

Q 5 あなたは、和木町が住みやすいまちだと思いますか。

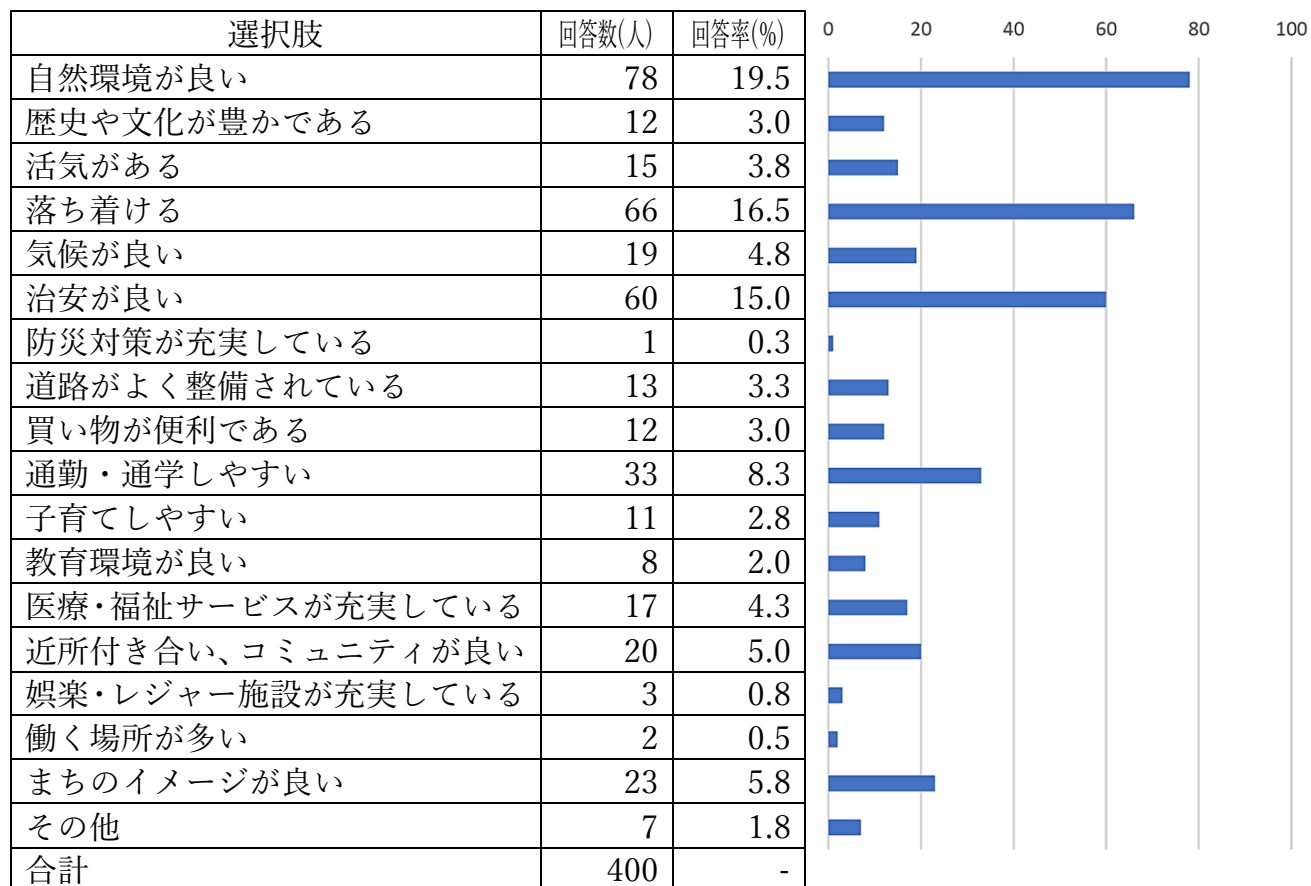
選択肢	回答数(人)	回答率(%)
住みやすい	75	48.4
どちらかというに住みやすい	63	40.6
どちらかというに住みにくい	9	5.8
住みにくい	8	5.2
合 計	155	100.0



【分析】

「住みやすい」と「どちらかというに住みやすい」の合計は 89.0%であり、前回の 91.2%と比べて 2.2%の減となったものの高い評価を保っている。また、学年が上がるほど、また、居住年数が長いほど高い評価になる傾向が見られた。

Q6 あなたが思う和木町の「住みやすいところ」を教えてください。

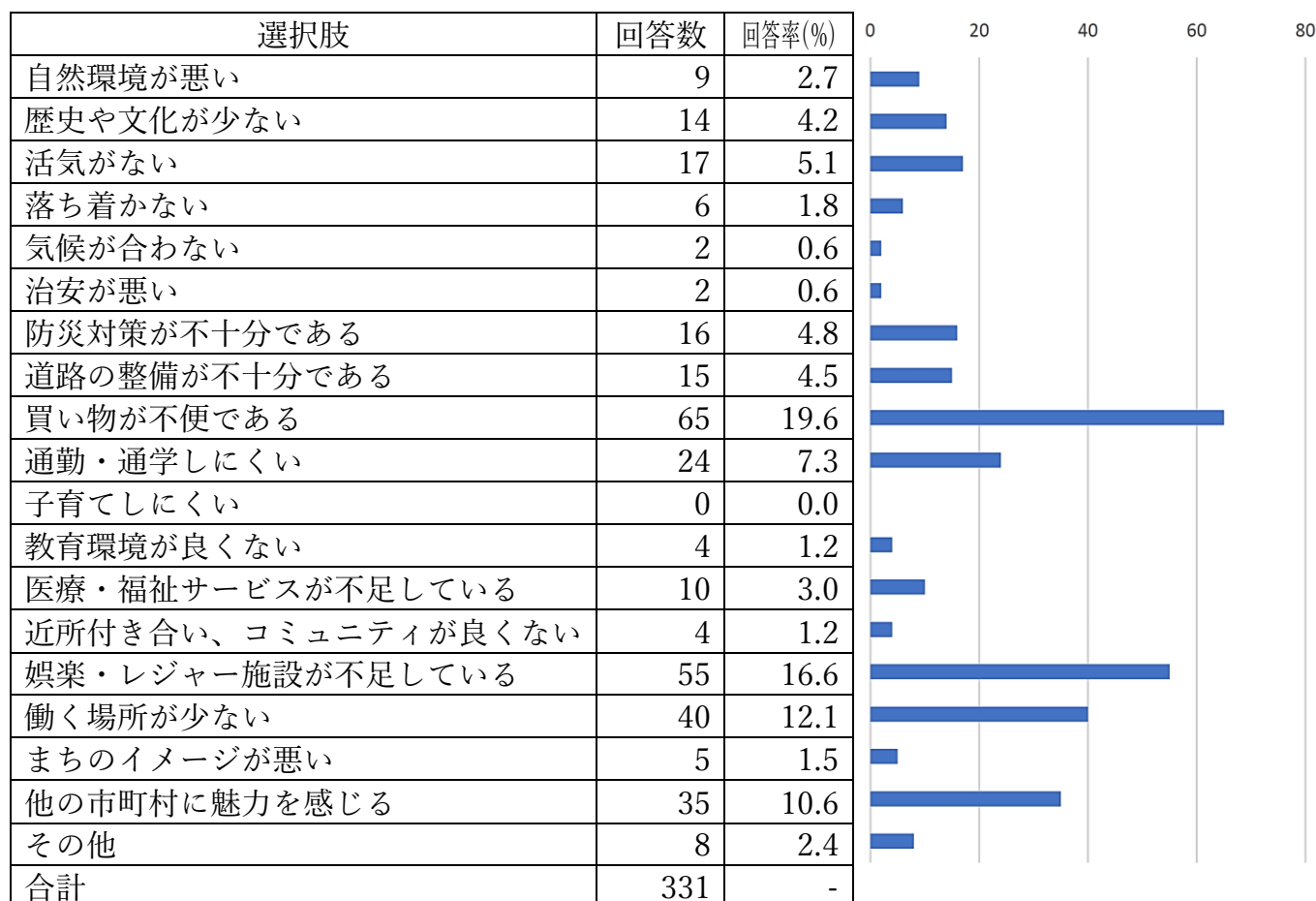


※その他 … 祭りや地域の行事が多い（1人）、駅が近い（1人）、立地（1人）、具体的な記載なし（4人）

【分析】

回答の多かった順に「自然環境が良い」、「落ち着ける」、「治安が良い」、となった。地域的な傾向として、和木地区の生徒は「通勤・通学しやすい」を、瀬田地区や関ヶ浜地区の生徒は「まちのイメージが良い」とした人が多かった。

Q7 あなたが思う和木町の「住みにくいところ」を教えてください。



※他の市町村に魅力を感じる … 広島市（11人）、岩国市（6人）、大竹市（5人）
東京（4人）、廿日市市（3人）、その他（9人）

※その他 … 遊べる場所が少ない（4人）、街灯がないため暗くて危ない（1人）、
公園が少ない（1人）、コンビニの種類が減った（1人）
具体的な記載なし（1人）

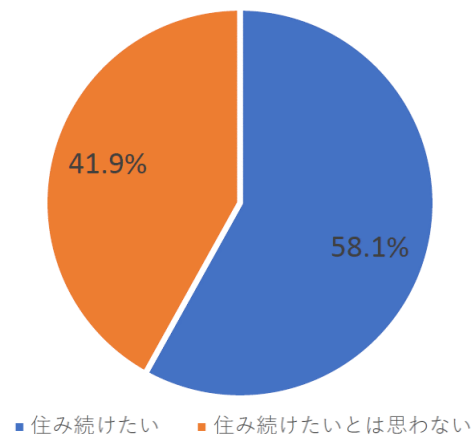
【分析】

回答が多かった順に「買い物が不便である」、「娯楽・レジャー施設が不足している」、「働く場所が少ない」となった。

「買い物が不便である」と「娯楽・レジャー施設が不足している」については、学年が上がるにつれて声が多く、生徒の行動範囲や交友関係の広がりに関係していると思われる。また、「子育てしにくい」を回答した生徒はゼロであった。

Q 8 あなたは今後も和木町に住み続けたいと思いますか。

選択肢	回答数(人)	回答率(%)
住み続けたい	90	58.1
住み続けたいとは思わない	65	41.9
合 計	155	100.0



【分析】

回答としては「住み続けたい」が多かったが、4割近くの生徒が「住み続けたいとは思わない」とした。

男性に比べ、女性のほうが「住み続けたい」とする割合が高く、地区別でも「和木4丁目」、「和木5丁目」、「瀬田3丁目」といった一部地域において「住み続けたい」とする回答が多かった。また、居住年数が長いほど「住み続けたい」という回答は多くなった。

Q9 あなたが、和木町を知り合いに紹介するときにPRしたいことは何ですか。ご自由にお書きください。

内容	具体的に	人数
蜂ヶ峯総合公園	○ゴルフ場、レストラン、広場、スポーツ場などがある	25
子育て支援の充実	○親子で遊べる一息できる場所がある。 ○子育てしやすい。 ○子育て支援が豊富。	10
住みやすさ	○コンビニがある。 ○人が少なくて落ち着く。 ○楽しい。 ○落ち着く。 ○居心地が良い。	10
和木駅	○駅が近い。 ○駅から近隣市町に出やすい。	4
教育環境の良さ	○学校施設が整っている。 ○漢字検定や英語検定の補助がある。 ○こども園、小学校、中学校が町内に揃っていて、一貫教育を行っている。 ○海外派遣・語学研修に参加できる。 ○各校舎が15年以内に建てられ、耐震化対策がばっちり。 ○面白い先生がいる。	13
交通の便の良さ	○近隣市町へアクセスしやすい。 ○交通機関が整っている。	4
自然の豊かさ	○山に囲まれていて、川もあり、自然が豊か。	39
給食費が無料	○学校の給食費が無料。	11
まちがコンパクト	○コンパクトなまち。 ○小さいまちなのに、ほとんどの施設が揃っている。 ○環境や医療設備が揃っているので不便な点が少ない。	8
行政サービスが良い	○公共施設がきれい・設備が良い・多い。 ○公共サービスが充実している。	7
医療、福祉が充実	○医療が充実している。	2
イベントが充実	○イベント、行事が多い（わき愛あいフェスティバル、花火大会、お餅つき、美術館の展示など）。 ○年齢、性別関係なくイベントに参加できる。	15
住民気質	○地域のかたと関わりやすい。 ○みんな優しい。 ○穏やかで近所付き合いが良い。 ○あいさつなど元気が良い。 ○地域の人と仲が良い。	13

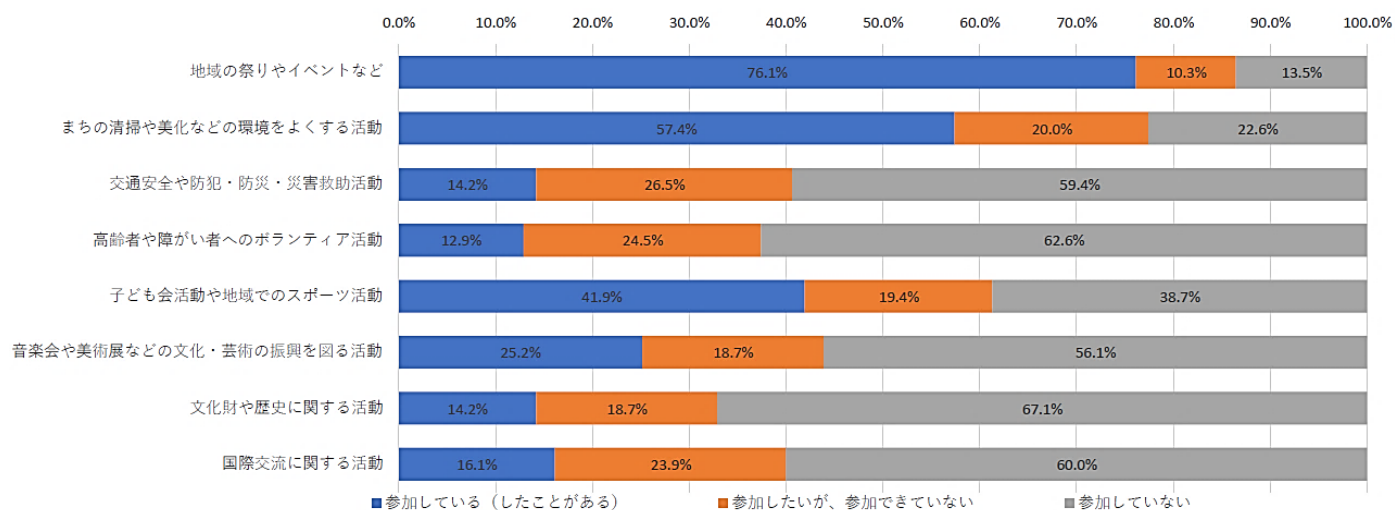
	○元気で明るく素直。	
子どもの医療費無料	○子どもの医療費が無料。	5
治安の良さ	○治安が良い。 ○犯罪が少なく安全。	5
あいあいバス	—	0
自然災害が少ない	○災害が少ない。 ○台風等が来ても被害が少ない。	3
その他	○和木町のよさ。 ○昔の歴史が残っている。 ○観光スポット ○歴史的建造物。 ○神社がある。 ○文化。 ○労作活動。 ○水道水が飲める。 ○安価な物がたくさんある。 ○元日本一金持ちなまち。 ○元日本一裕福な村。など	

※自由記載のため、一人が複数項目に渡って記載しているケースがあります。

Q10 あなたは、地域の活動や行事に参加していますか。またはしたいですか。

(人)

項 目	参加している (したことがある)	参加できていないが、 してみたい	参加していない
地域の祭りやイベント など	118	16	21
まちの清掃や美化などの 環境をよくする活動	89	31	35
交通安全や防犯・防災・ 災害救助活動	22	41	92
高齢者や障がい者への ボランティア活動	20	38	97
子ども会活動や地域での スポーツ活動	65	30	60
音楽会や美術展などの 文化・芸術の振興を図 る活動	39	29	87
文化財や歴史に関する 活動	22	29	104
国際交流に関する活動	25	37	93



【分析】

「参加している（したことがある）」の回答が多かった順に、「地域の祭りやイベントなど」、「まちの清掃や美化などの環境をよくする活動」、「子ども会活動や地域でのスポーツ活動」となった。

「参加できていないが、してみたい」の回答が多かった順は、「交通安全や防犯・防災・災害救助活動」、「高齢者や障害者へのボランティア活動」、「国際交流に関する活動」となった。

1. 地域の祭りやイベントなど

「参加している（したことがある）」の回答割合が最も高く、「男性」に比べて「女性」の参加率が高く、居住年数が長いほど参加率が高くなる傾向にあった。

2. まちの清掃や美化などの環境をよくする活動

「参加している（したことがある）」の回答割合が最も高かったが、半数弱は参加できていない状況である。

3. 交通安全や防犯・防災・災害救助活動

「参加していない」の回答割合が最も高く、「参加している（したことがある）」の回答割合は低かったものの、「参加できていないが、してみたい」と回答した割合は他の項目に比べて最も高く、関心が高い。また、学年があがるにつれて「参加している（したことがある）」の回答割合は高くなった。

4. 高齢者や障がい者へのボランティア活動

「参加していない」の回答割合が最も高く、「参加している（したことがある）」の回答割合は他の項目に比べて最も低かった。学年があがるにつれて「参加している（したことがある）」や「参加したいが、参加できていない」の回答割合が高くなる傾向にあった。

5. 子ども会活動や地域でのスポーツ活動

「参加している（したことがある）」の回答割合が最も高かった。学年があがるにつれて「参加している（したことがある）」や「参加したいが、参加できていない」の回答割合が高くなる傾向にあった。

6. 音楽会や美術展などの文化・芸術の振興を図る活動

「参加していない」の回答割合が最も高く、次いで「参加している（したことがある）」の回答割合が高かった。

7. 文化財や歴史に関する活動

「参加していない」の回答割合が最も高く、次いで「参加したいが、参加できていない」の回答割合が高かった。

8. 国際交流に関する活動

「参加していない」の回答割合が最も高く、次いで「参加したいが、参加できていない」の回答割合が高かった。

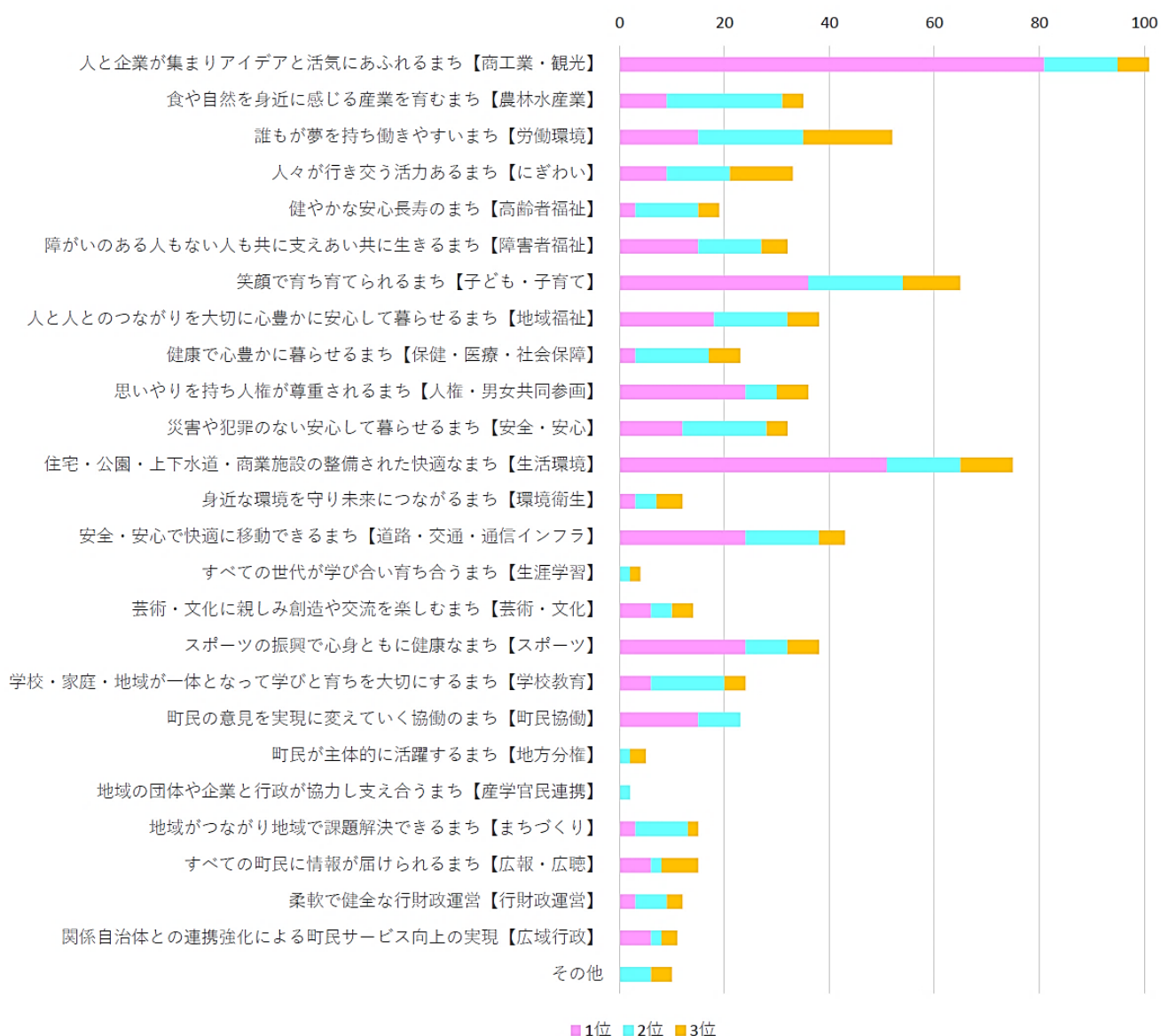
めざすべきまちの姿についてお尋ねします

Q11 今後の10年間のまちづくりで、あなたが重要だと思うものを教えてください。

項 目	第1位(人)	第2位(人)	第3位(人)	ポイント
人と企業が集まりアイデアと活気にあふれるまち【商工業・観光】	27	7	6	101
食や自然を身近に感じる産業を育むまち【農林水産業】	3	11	4	35
誰もが夢を持ち働きやすいまち【労働環境】	5	10	17	52
人々が行き交う活力あるまち【にぎわい】	3	6	12	33
健やかな安心長寿のまち【高齢者福祉】	1	6	4	19
障がいのある人もない人も共に支えあい共に生きるまち【障害者福祉】	5	6	5	32
笑顔で育ち育てられるまち【子ども・子育て】	12	9	11	65
人と人とのつながりを大切に心豊かに安心して暮らせるまち【地域福祉】	6	7	6	38
健康で心豊かに暮らせるまち【保健・医療・社会保障】	1	7	6	23
思いやりを持ち人権が尊重されるまち【人権・男女共同参画】	8	3	6	36
災害や犯罪のない安心して暮らせるまち【安全・安心】	4	8	4	32
住宅・公園・上下水道・商業施設の整備された快適なまち【生活環境】	17	7	10	75
身近な環境を守り未来につながるまち【環境衛生】	1	2	5	12
安全・安心で快適に移動できるまち【道路・交通・通信インフラ】	8	7	5	43
すべての世代が学び合い育ち合うまち【生涯学習】	0	1	2	4
芸術・文化に親しみ創造や交流を楽しむまち【芸術・文化】	2	2	4	14
スポーツの振興で心身ともに健康なまち【スポーツ】	8	4	6	38
学校・家庭・地域が一体となって学びと育ちを大切にするまち【学校教育】	2	7	4	24
町民の意見を実現に変えていく協働のまち【町民協働】	5	4	0	23
町民が主体的に活躍するまち【地方分権】	0	1	3	5
地域の団体や企業と行政が協力し支え合うまち【産学官民連携】	0	1	0	2
地域がつながり地域で課題解決できるまち【まちづくり】	1	5	2	15
すべての町民に情報が届けられるまち【広報・広聴】	2	1	7	15
柔軟で健全な行財政運営【行財政運営】	1	3	3	12
関係自治体との連携強化による町民サービス向上の実現【広域行政】	2	1	3	11
その他	0	3	4	10

※ポイントは、第1位（3ポイント）、第2位（2ポイント）、第3位（1ポイント）として計算している。

※「その他」のうち、上記の項目に分類できるものは各項目に含めて集計した。残りは「記述無し（6人）」、「学生、先生の放課後の時間が十分に保てるまち（1人）」である。



【分析】

ポイントの多い順に次のとおりとなった。

- ・第1位 人と企業が集まりアイデアと活気にあふれるまち【商工業・観光】
- ・第2位 住宅・公園・上下水道・商業施設の整備された快適なまち【生活環境】
- ・第3位 笑顔で育ち育てられるまち【子ども・子育て】

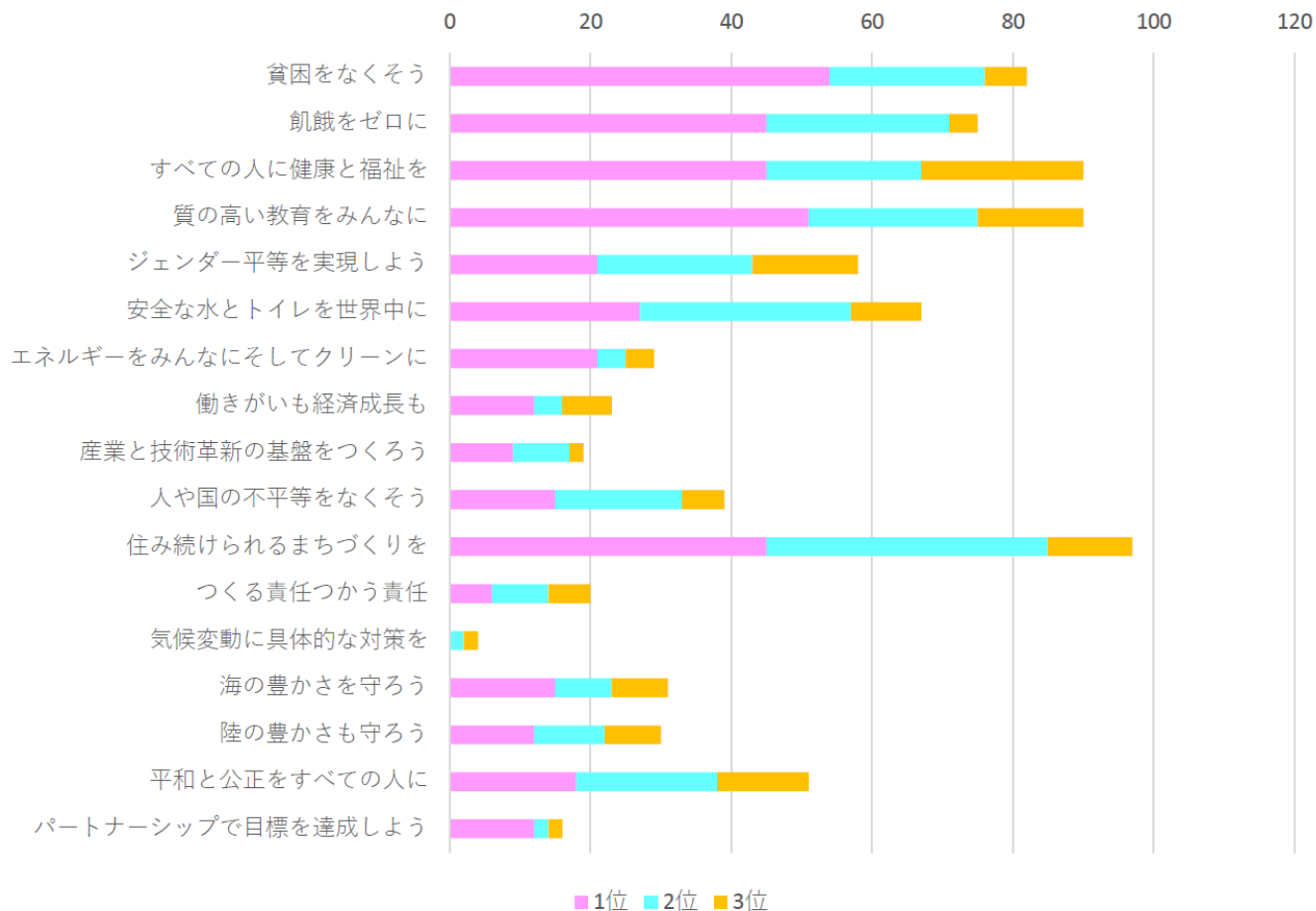
上位は上記の3つとなったが、【商工業・観光】以外に重要視するものは性別による差が出ている。男性では【スポーツ】、【労働環境】、女性では【生活環境】、【子ども・子育て】、【道路・交通・通信インフラ】が選ばれている。

また、関ヶ浜地区では他の地区に比べ【農林水産業】のポイントが高めとなった。

Q12 SDGsの17の開発目標のうち、和木町が「しっかり取り組んでいる」と思うものを順番に3つ教えてください。

項 目	第1位(人)	第2位(人)	第3位(人)	ポイント
貧困をなくそう	18	11	6	82
飢餓をゼロに	15	13	4	75
すべての人に健康と福祉を	15	11	23	90
質の高い教育をみんなに	17	12	15	90
ジェンダー平等を実現しよう	7	11	15	58
安全な水とトイレを世界中に	9	15	10	67
エネルギーをみんなにそしてクリーンに	7	2	4	29
働きがいも経済成長も	4	2	7	23
産業と技術革新の基盤をつくろう	3	4	2	19
人や国の不平等をなくそう	5	9	6	39
住み続けられるまちづくりを	15	20	12	97
つくる責任つかう責任	2	4	6	20
気候変動に具体的な対策を	0	1	2	4
海の豊かさを守ろう	5	4	8	31
陸の豊かさも守ろう	4	5	8	30
平和と公正をすべての人に	6	10	13	51
パートナーシップで目標を達成しよう	4	1	2	16

※ポイントは、第1位（3ポイント）、第2位（2ポイント）、第3位（1ポイント）として計算している。



【分析】

ポイントの多い順に「住み続けられるまちづくりを」、「すべての人に健康と福祉を（同率2位）」「質の高い教育をみんなに（同率2位）」が上位になった。

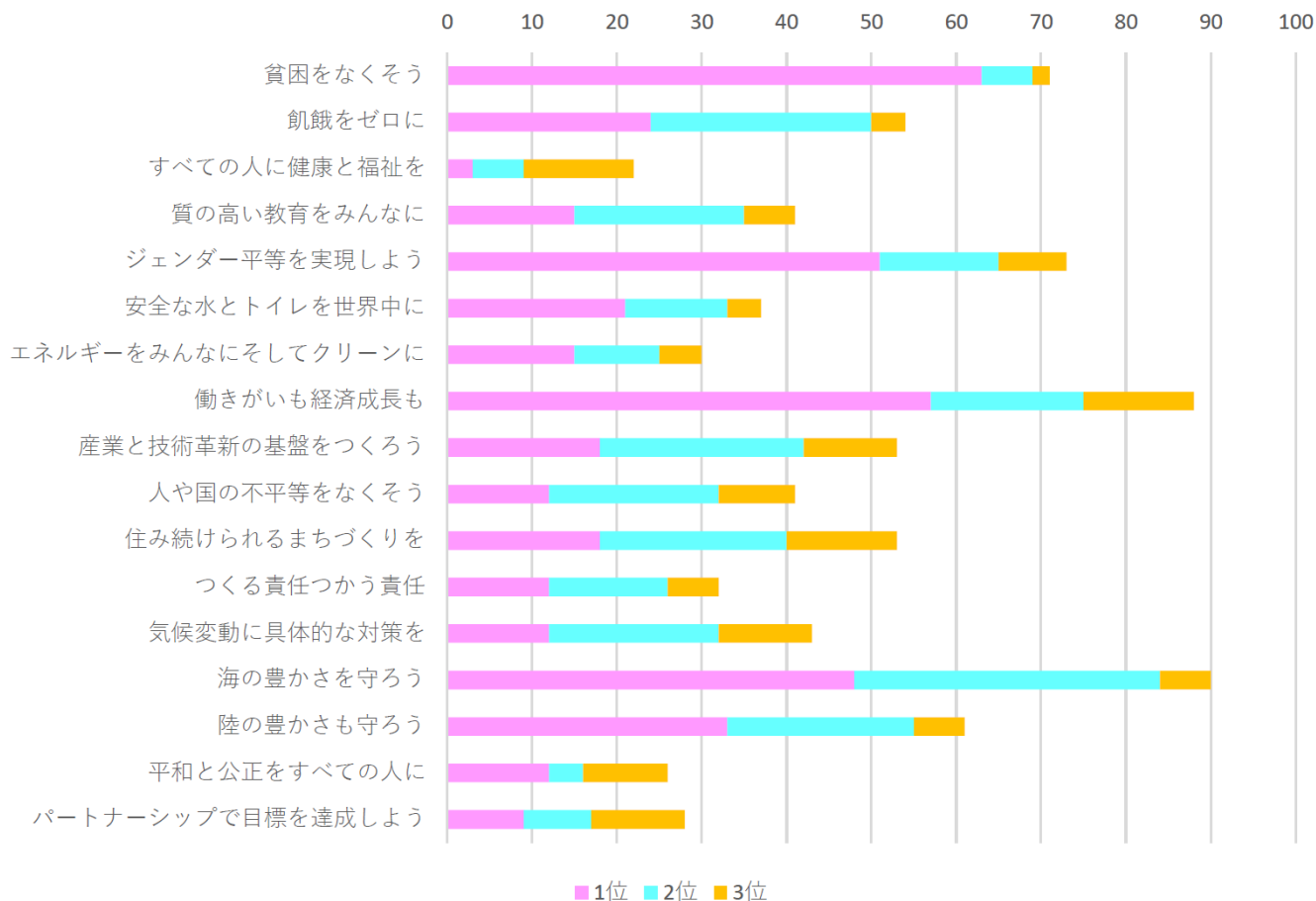
男女差もあり、男性の1位「すべての人に健康と福祉を」だが女性の上位には入っておらず、女性の1位「住み続けられるまちづくりを」は男性の上位には入っていない。

また、学年ごとの1位が全く異なり、1年生では「貧困をなくそう」、2年生では「住み続けられるまちづくりを」、3年生では「質の高い教育をみんなに」がそれぞれ1位となるなど、結果にまとまりがあまり見られなかった。

Q13 SDGsの17の開発目標のうち、和木町が「あまり取り組めていない」と思うものを順番に3つ教えてください。

項 目	1 番(人)	2 番(人)	3 番(人)	ポイント
貧困をなくそう	21	3	2	71
飢餓をゼロに	8	13	4	54
すべての人に健康と福祉を	1	3	13	22
質の高い教育をみんなに	5	10	6	41
ジェンダー平等を実現しよう	17	7	8	73
安全な水とトイレを世界中に	7	6	4	37
エネルギーをみんなにそしてクリーンに	5	5	5	30
働きがいも経済成長も	19	9	13	88
産業と技術革新の基盤をつくろう	6	12	11	53
人や国の不平等をなくそう	4	10	9	41
住み続けられるまちづくりを	6	11	13	53
つくる責任つかう責任	4	7	6	32
気候変動に具体的な対策を	4	10	11	43
海の豊かさを守ろう	16	18	6	90
陸の豊かさも守ろう	11	11	6	61
平和と公正をすべての人に	4	2	10	26
パートナーシップで目標を達成しよう	3	4	11	28

※ポイントは、第1位（3ポイント）、第2位（2ポイント）、第3位（1ポイント）として計算している。



【分析】

ポイントの多い順に「海の豊かさを守ろう」、「働きがいも経済成長も」、「ジェンダー平等を実現しよう」が上位に選ばれた。

男女別集計では、男性と女性ともに1位は「海の豊かさを守ろう」、2位は「働きがいも経済成長も」であったが、男性では次いで「貧困をなくそう」が選ばれている。

学年別集計では、上位に選ばれた項目のうち、すべての学年で上位に選ばれたものはなく、学年ごとに問題意識の高い分野は異なるようである。「ジェンダー平等を実現しよう」が上位に選ばれたのは1年生のみで、「産業と技術革新の基盤をつくろう」が上位に選ばれたのは3年生のみとなった。

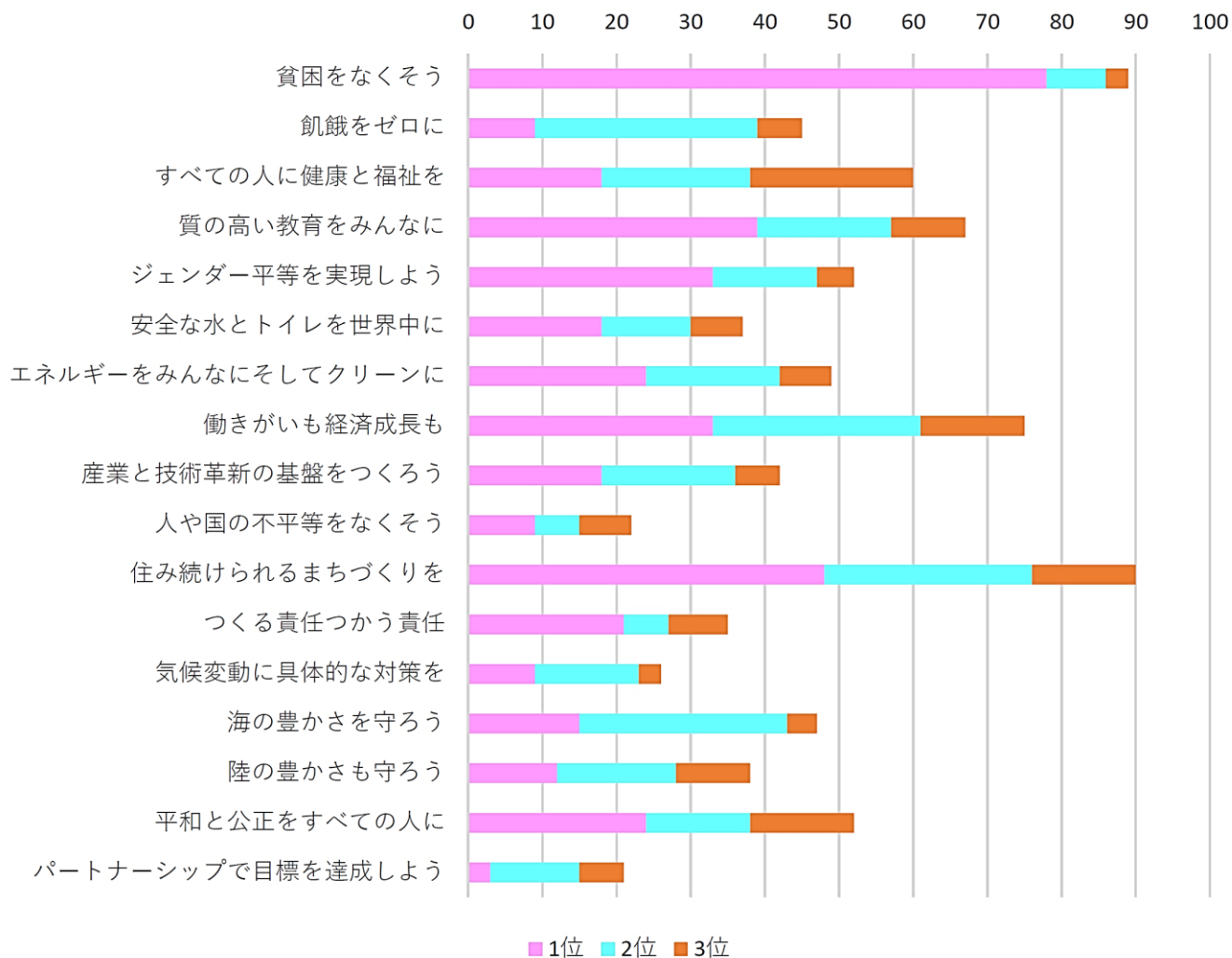
地区別集計では、「和木地区」で「ジェンダー平等を実現しよう」を選んだ割合が高く、また、単純集計で上位に選ばれなかった「貧困をなくそう」は多くの地区で上位を占める結果となった。

居住年数別集計では、各グループにおいて1位となった項目はそれぞれ異なり、各グループの1位は「1年未満」のグループが「人や国の不平等をなくそう」と「つくる責任つかう責任」(同率1位)、「1年～5年未満」のグループが「貧困をなくそう」、「5年～10年未満」のグループが「飢餓をゼロに」、「10年以上」のグループが「海の豊かさを守ろう」となった。

Q14 SDGsの17の開発目標のうち、これから、和木町がどの目標に力を入れていくべきだと思いますか。

項 目	1 番(人)	2 番(人)	3 番(人)	ポイント
貧困をなくそう	26	4	3	89
飢餓をゼロに	3	15	6	45
すべての人に健康と福祉を	6	10	22	60
質の高い教育をみんなに	13	9	10	67
ジェンダー平等を実現しよう	11	7	5	52
安全な水とトイレを世界中に	6	6	7	37
エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8	9	7	49
働きがいも経済成長も	11	14	14	75
産業と技術革新の基盤をつくろう	6	9	6	42
人や国の不平等をなくそう	3	3	7	22
住み続けられるまちづくりを	16	14	14	90
つくる責任つかう責任	7	3	8	35
気候変動に具体的な対策を	3	7	3	26
海の豊かさを守ろう	5	14	4	47
陸の豊かさも守ろう	4	8	10	38
平和と公正をすべての人に	8	7	14	52
パートナーシップで目標を達成しよう	1	6	6	21

※ポイントは、第1位（3ポイント）、第2位（2ポイント）、第3位（1ポイント）として計算している。



【分析】

全体集計ではポイントの多い順に次のとおりとなった。

- ・第1位 住み続けられるまちづくりを
- ・第2位 貧困をなくそう
- ・第3位 働きがいも経済成長も

重要視しているが、男女別でお互いを選ばなかったものがあった。男性は「質の高い教育をみんなに」、「飢餓をゼロに」が、女性では「住み続けられるまちづくりを」、「ジェンダー平等を実現しよう」が上位となった。

また、「住み続けられるまちづくりを」は地区ごとで結構なバラつきが見られた。

Q15 和木町は“町ぐるみ「和木学園」”に取り組んでいます。これまでに、あなたが参加して良かった、楽しかったと思った教室、講座などがあれば教えてください（自由記載）。

(人)

項 目	回答者数
昔あそび	22
あいさつ運動	7
スポーツ体験活動	6
自然観察	3
書初め大会	3
スポーツフェスタ	3
あいあいフェスティバル	3
オーロラ講演会	3
認知症の講座	2
陶芸教室	2
人権のつどい	2
タイピング教室	2
防災教室	1
教師の日	1
人権教室	1
ドッジボール大会	1
餅つき大会	1
全部	1
サッカー	1
掃除	1
絵葉書体験	1
卓球教室	1
和木学農園	1

※一人が複数の教室・講座を記述している場合は、次のように取り扱っています。

あいさつ運動、スポーツ体験活動⇒あいさつ運動（1人）、スポーツ体験活動（1人）

【分析】

「昔遊び」や「あいさつ運動」、「スポーツ体験活動」を答えた生徒が多い結果となった。

Q16 “町ぐるみ「和木学園」”の取組として、参加してみたい、自分が先生になって教えてみたいことなどがあれば自由に記入してください（自由記載）。

1. 参加してみたいこと

ジャンル	記載内容
スポーツ	「バレーボール」、「球技大会」、「ダンス」、「わきスポーツフェスタ」、「サッカー」、「スポーツ体験」、「運動が苦手な子でもスポーツの良さを楽しめるもの」
農林水産・自然	「生き物」、「海の自然観察」、「オーロラ講演会」、「グリーンスクール」
食に関すること	—
ビジネス	—
芸術	—
趣味・生活	「陶芸」、「本に親しみ、本の紹介をするような行事」
地域	「和木町の歴史について」、「あいさつ運動」、「お祭り」、「昔あそび」、「わき愛あいフェスティバル」、「防災教室」、「わきをしる」
社会	「国際交流」、「先生も生徒もみんな平等」、「ザビエル」
コンピューター	「タイピング教室」、「スマートフォンやICT機器などの講座」
語学	「習字教室」
その他	「数学」、「講演会」

2. 自分が先生になって教えてみたいこと

ジャンル	記載内容
スポーツ	「スポーツの手伝いをしたい」
社会	「知的障害と発達障害の仕組みをわかりやすく説明したい」

Q17 あなたが考える、和木町のキャッチフレーズや将来像としてふさわしいキーワードなどを自由に記入してください（自由記載）。

【キャッチフレーズ】

- NO1.和木町
- ゴミ 0 笑顔 100
- コンパクトな町
- つくろう明るい未来和木町
- ふるさと和木を愛し夢と志をもって
- みんなが楽しめる町 住み続けたいと思える町
- みんなが住みやすい町、和木町
- みんなが住みやすい町和木町
- みんな元気でみんな笑顔
- みんな幸せな和木町
- みんな仲良く和木あいあい
- わきの良い子、和気あいあいと
- 挨拶が飛び交う町
- 挨拶日本一の町和木町
- 安心して過ごせるまち
- 楽しい平和な町
- 活気あふれる町
- 幸せを作る街和木町
- 幸福をこの町に
- 広がる挨拶
- 子供が笑顔に過ごせる町
- 子供のための街
- 自然がいっぱいの豊かで過ごし易い街
- 自然と町を大切に
- 自然豊かで、住み良い町。
- 自然豊かな緑の町
- 自然豊かな和木のまち
- 自然豊かな和木町

- 自分の居場所が見つかる町
- 住みやすい町、綺麗な町、みーんなの町
- 住みやすい暮らしやすい和木町
- 住み良い町和木町
- 商業施設の充実した和木町
- 笑顔溢れる和木町
- 誰もが健康で楽しく暮らせる和木町
- 中国地方で一番住みやすい街、和木町
- 田舎から都会へ
- 田舎と街の両立
- 田舎と都会のいいところどり
- 賑わい溢れる町
- 非常にコンパクトな町
- 未来でも緑の町
- 夢と希望の尊重し合いの町

【キーワード】

- あいさつ
- 明るい
- 明るい 住み良い
- 明るい町
- 絆
- 自然
- 自然いっぱい
- 自然豊か
- 自然が豊か
- 豊かな自然
- 緑
- 緑の風薫る文化の町
- 和木あいあい
- 愛
- 挨拶がいい

- 活力
- 環境を豊かに
- 協力
- 互いに思いやる
- 施設がたくさん
- 交通手段がたくさんある
- 住みたい町
- 住みやすい町
- 住みやすい町づくり
- 笑顔
- 未来
- 充実したまちづくり
- 節水
- 都会より自然の中にある空気が綺麗な街です
- 優しい、明るい

Q18 住みたいまち「和木町」の10年後の姿として、あなたが思い描くもの、望むことがあったら自由に書いてください。

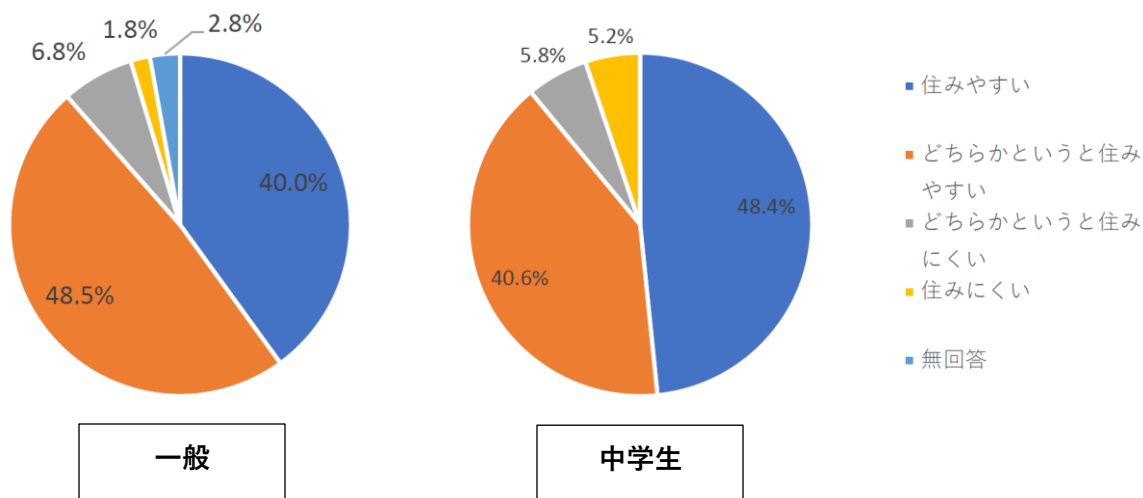
項目	記載内容
人と企業が集まりアイデアと活気にあふれるまち【商工業・観光】	○もっと店があって、経済成長している和木町。 ○活気のある町。 ○盛んで都会な町。 ○都市が発展している町。 ○ゲームやカラオケなどがある。 ○都会にしてほしい。都会じゃなくても、和木町の魅力を他の人たちにも一目でわかるような地域。 ○もっと娯楽がある町 子供でも楽しめるような町。 ○蜂ヶ峯の遊具等の発展や、蜂ヶ峯を和木町に住んでいない人は有料にする。
食や自然を身近に感じる産業を育むまち【農林水産業】	○自然を削らない。 ○自然がある所、住みやすい地域を両立できる姿。 ○自然いっぱいだけど綺麗で新しく衣食住の選択肢が豊富な地方都市。
誰もが夢を持ち働きやすいまち【労働環境】	○働き場所がある。 ○誰でも気軽に働くことができる場所が増えているといいなと思いました。 ○働いている人が報われるような仕組み。
人々が行き交う活力あるまち【にぎわい】	○ミツハニーのポケふたが蜂ヶ峯にあったらたくさんの方が来ると思う。 ○子供からお年寄りなど幅広い年齢層が和木町の魅力なのでどんな年齢でも楽しめるような施設やイベントが増えていたら良いなと思います！
健やかな安心長寿のまち【高齢者福祉】	—
障がいのある人もない人も共に支えあい共に生きるまち【障害者福祉】	—
笑顔で育ち育てられるまち【子ども・子育て】	○子供がたくさん。 ○子供が楽しんで遊べる場所があったらいい。 ○遊べる場所が多くて子供がたくさん遊べていたらいいなと思います。 ○たくさん子供が遊べる所がある。 ○もっと遊べる場所を増やして欲しい。 ○他の町からも人が移り住むような子育て環境が整った町。

人と人とのつながりを大切に心豊かに安心して暮らせるまち【地域福祉】	○住んでいる人がみんな笑顔で明るい町。 ○みんなが安心して暮らせる町。 ○子供から大人まで住んで良かったと思えるような和木町。
健康で心豊かに暮らせるまち【保健・医療・社会保障】	○病院の進歩。 ○みんなが元気に暮らせるすみよいまち。
思いやりを持ち人権が尊重されるまち【人権・男女共同参画】	○年齢関わらず平等に。 ○偏見をなくすことや人に対する敬意。 ○みんなが楽しく笑顔で過ごせる毎日。人を平等に。
災害や犯罪のない安心して暮らせるまち【安全・安心】	○夜の電灯を多くして明るくする。 ○平和、犯罪 0。 ○平和である事。
住宅・公園・上下水道・商業施設の整備された快適なまち【生活環境】	○街灯や道路整備などインフラを整える。 ○買い物などを便利に。 ○もっと買い物ができる場所をつくる！！ ○商業施設（大型商業施設、コンビニなど）を増やしてほしい。 ○フードコートを建ててほしい。 ○大きいお店があって賑やかな町。 ○公園などの子供が遊べる場所が増えると嬉しいです。瀬田では、近隣の子達が毎日集まって遊んでいた瀬田遊園地が潰れ、坂根公園も草が生い茂っていてとても遊べるような場所ではありません。また、瀬田公民館の遊具は転落するからという理由で滑り台さえ禁止になっていました。瀬田を例に挙げさせてもらいましたが、他の地区でもボールを使う事を禁止するなど子供たちが遊べる場がなくなっていっています。 ○遊べる楽しい町。 ○公園をきれいにする(新しくする)。 ○公園などの施設を綺麗にして、誰でも安全に使えるようにしてほしい。
身近な環境を守り未来につながるまち【環境衛生】	○綺麗になっている。 ○綺麗な町。 ○町内一斉清掃で学生と地域の方が一丸となって掃除に励み、和木町を住みやすい町へと発展・維持する。
安全・安心で快適に移動できるまち【道路・交通・通信インフラ】	○バスの便が多くなったら交通関係がもっと良くなると思います。
すべての世代が学び合い育ち合うまち【生涯学習】	—

芸術・文化に親しみ創造や交流を楽しむまち 【芸術・文化】	—
スポーツの振興で心身ともに健康なまち【スポーツ】	○人工芝のサッカー場が欲しい。
学校・家庭・地域が一体となって学びと育ちを大切にするまち【学校教育】	○学校を生徒主体のものにする。
町民の意見を実現に変えていく協働のまち 【町民協働】	—
町民が主体的に活躍するまち【地方分権】	—
地域の団体や企業と行政が協力し支え合うまち【産学官民連携】	—
地域がつながり地域で課題解決できるまち 【まちづくり】	—
すべての町民に情報が届けられるまち【広報・広聴】	—
柔軟で健全な行財政運営【行財政運営】	○お金がなくなるような町
その他	○かっこいい。 ○もっと住み良いまち。 ○住みやすい町。 ○このままで十分。 ○環境が良かったらそれでいいと思う。 ○人が多く買い物しやすい町。 ○もっと大きくなってほしい。 ○東京のような街。 ○建物の数や種類が豊富で住み良い街。 ○大きな行事を増やす。

IV 一般町民と中学生の結果比較

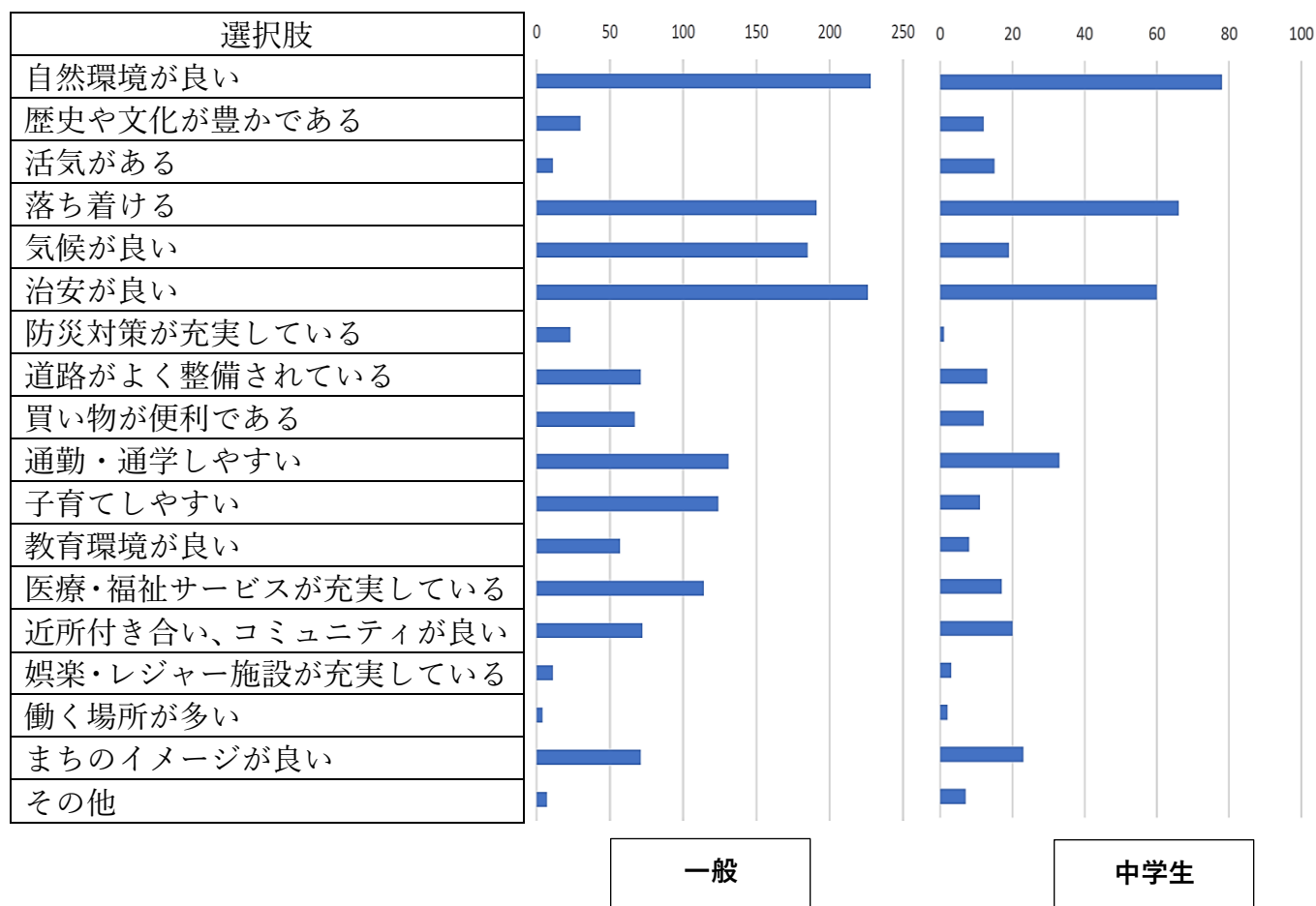
一般Q 8 ・ 中学生Q 5 あなたは、和木町が住みやすいまちだと思いますか。



【分析】

一般も中学生も「住みやすい」、「どちらかという住みやすい」と回答した人が多く、和木町が住みやすいまちだという評価が得られている。

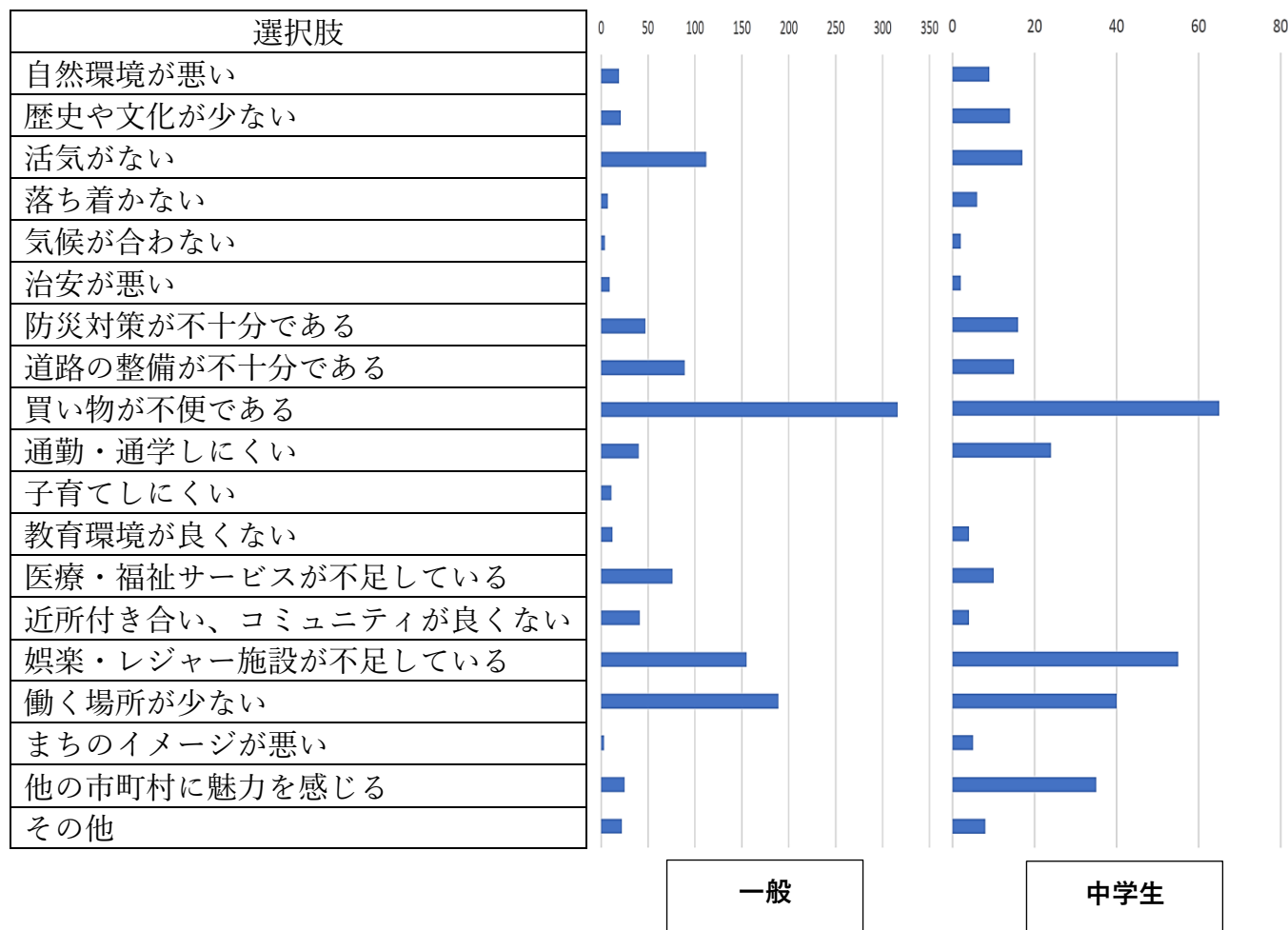
一般Q 9－1・中学生Q 6 あなたが思う和木町の「住みやすいところ」を教えてください。



【分析】

一般も中学生も、「自然環境が良い」、「落ち着ける」、「治安が良い」が上位3つとして選ばれた。特に顕著な違いが見られたのは「気候が良い」で、中学生にはあまり選ばれなかった。

一般Q9-2・中学生Q7 あなたが思う和木町の「住みにくいところ」を教えてください。

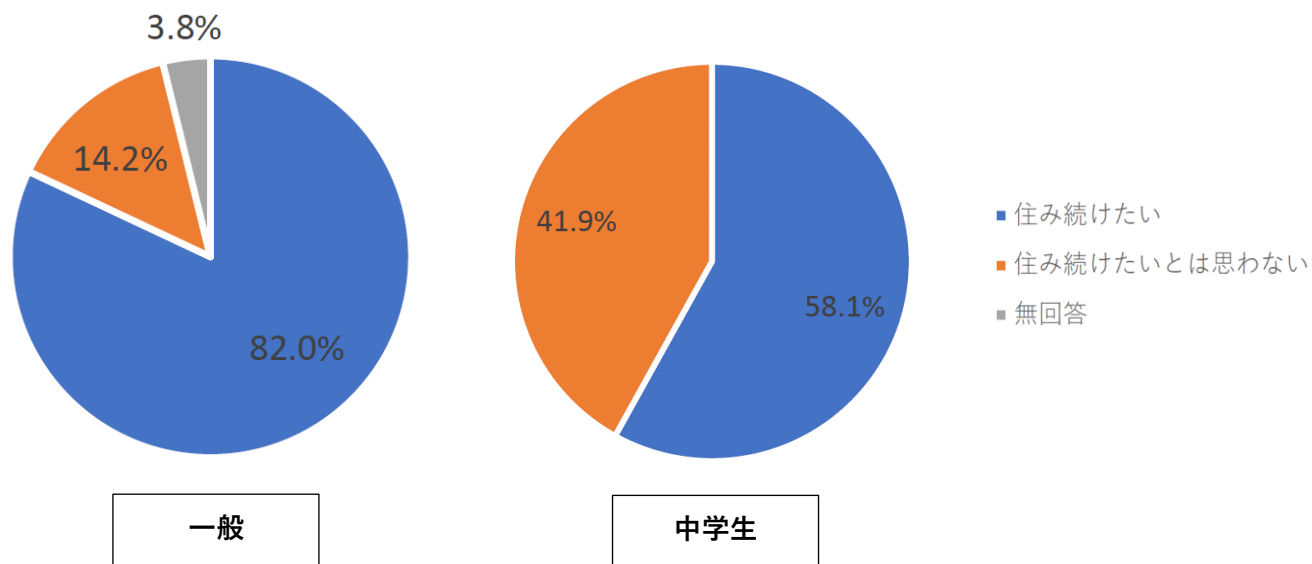


【分析】

一般も中学生も、「買い物が不便である」、「働く場所がない」、「娯楽・レジャーが不足している」、が上位3つとして選ばれた。中学生においては「他の市町村に魅力を感じる」という回答も多かったが、「東京圏」や「関西圏」、「福岡県」といった都市部ではなく「広島市」、「岩国市」、「大竹市」といった近隣市町の名前が挙がった。

一般Q 1 1・中学生Q 8

あなたは今後も和木町に住み続けたいと思いますか。



【分析】

一般も中学生も「住み続けたい」とする回答が最も多く、居住年数が長いほど「住み続けたい」の回答が増える傾向にあった。中学生では「住み続けたいとは思わない」とする割合が、一般に比べて高かった。

一般Q 1 2 ・中学生Q 9

あなたが、和木町を知り合いに紹介するときにPRしたいことは何ですか。

内容	一般		中学生	
	具体的に	人数	具体的に	人数
蜂ヶ峯総合公園	○バラ園、観覧車、アスレチック、子どもが遊べる遊具、ポニー、ゴルフ場などがあり、四季を通じて楽しめる。 ○新しくなり、カフェ、レストラン、イベントが充実した。 ○小さな子どもを連れて遊びに行ける。	68	○ゴルフ場、レストラン、広場、スポーツ場などがある	25
子育て支援の充実	○経済面の支援が充実している（出産祝金など）。 ○保健相談センターで育児の悩みを聞いてもらえる。 ○妊婦や子どもの検診が充実している。 ○保育関係のコミュニティが充実している。 ○第2子から保育料が無料。	59	○親子で遊べる一息できる場所がある。 ○子育てしやすい。 ○子育て支援が豊富。	10
住みやすさ	○気候が良い。 ○生活環境が良い。 ○静かで落ち着ける。 ○のんびり暮らせる。 ○まちがきれい。 ○ほどよい距離感のご近所付き合いがある。	53	○コンビニがある。 ○人が少なくて落ち着く。 ○楽しい。 ○落ち着く。 ○居心地が良い。	10
和木駅	○広島、岩国に出かけやすい。 ○駅がきれい。 ○電車の本数が多い。 ○駅が近い。	34	○駅が近い。 ○駅から岩国や広島に出やすい。	4
教育環境の良さ	○幼・少・中が新しくきれいで、立地も良い。 ○コミュニティが充実している。 ○和木学園が行われている。 ○スクールガードの見守りがある。	34	○学校施設が整っている。 ○漢字検定や英語検定の補助がある。 ○こども園、小学校、中学校が町内に揃っていて、一貫教育を行っている。 ○海外派遣・語学研修に参加できる。 ○各校舎が15年以内に建てられ、耐震化対策がばっちり。	13

			○面白い先生がいる。	
交通の便の良さ	○広島市、大竹市、岩国市が近い。 ○通勤・通学に便利。 ○高速のICが近く、車で出かけやすい。 ○観光地へのアクセスが良い。 ○空港、新幹線の駅が近い。	29	○近隣市町へアクセスしやすい。 ○交通機関が整っている。	4
自然の豊かさ	○海、山、川が身近にある。 ○緑が多く落ち着ける。 ○川辺でウォーキングやジョギングができる。	29	○山に囲まれていて、川もあり、自然が豊か。	39
給食費が無料	○先進して給食費無料を始め、今も続いている。	27	○学校の給食費が無料。	11
まちがコンパクト	○山口県で一番小さな町 ○様々な活動がしやすい。 ○目が行き届く。 ○行政サービスが届きやすい。 ○ひととおりの生活に必要な施設が揃っている。 ○地域の方とつながりやすい。 ○ほどよくこじんまりしている。	21	○コンパクトなまち。 ○小さいまちなのに、ほとんどの施設が揃っている。 ○環境や医療設備が揃っているので不便な点が少ない。	8
行政サービスが良い	○役場の受付窓口の対応が早い。 ○補助金が多い（住宅建設奨励金）。 ○自治会、民生委員、町職員の対応態度が非常に良い。 ○道路が整備されている。	21	○公共施設がきれい・設備が良い・多い。 ○公共サービスが充実している。	7
医療、福祉が充実	○内科が2件、歯医者2件、薬局も2件ある。 ○敬老会や敬老金が充実している。	20	○医療が充実している。	2
イベントが充実	○親子で楽しめるなど内容が良い。 ○大竹・和木川まつり花火大会がある。 ○わき愛あいフェスティバルが楽しい（出店が豊かで、くじの商品が良い）。 ○文化会館でのイベントが楽しい。 ○イベントがいっぱいある。 ○芸能祭、キッズ・コンサート、写真展、美術絵画展、公民館活動と、その発表会が行われている。	18	○イベント、行事が多い（わき愛あいフェスティバル、花火大会、お餅つき、美術館の展示など）。 ○年齢、性別関係なくイベントに参加できる。	15
住民気質	○優しい人、子どもが多い。 ○親切で思いやりがある。 ○人柄が良く、穏やか。	17	○地域のかたと関わりやすい。 ○みんな優しい。 ○穏やかで近所付き合いが良い。	13

	○小学生があいさつをしてくれる。 ○子どもたちが元気いっぱい。 ○子どもたちもいろいろな行事や世代を超えたコミュニケーションがあってよい。		○あいさつなど元気が良い。 ○地域の人と仲が良い。 ○元気で明るく素直。	
子どもの医療費無料	○18歳まで医療費が無料。	16	○子どもの医療費が無料。	5
治安の良さ	○犯罪がほとんどない。	12	○治安が良い。 ○犯罪が少なく安全。	5
あいあいバス	○移動に便利 ○運転手の人柄が良く、優しくて丁寧である。 ○高齢者や障害者手帳を持っている人は無料で利用できる。	10		0
自然災害が少ない	○台風などの被害が少ない。 ○冬は雪が少ない。	8	○災害が少ない。 ○台風等が来ても被害が少ない。	3
その他	○北海道恵庭市と姉妹都市を結んでいる。 ○町単独行政である。 ○ソフトボール（小学生）が強い。 ○図書館の本やCDが充実している。など		○和木町のよさ。 ○昔の歴史が残っている。 ○観光スポット ○歴史的建造物。 ○神社がある。 ○文化。 ○労作活動。 ○水道水が飲める。 ○安価な物がたくさんある。 ○元日本一金持ちなまち。 ○元日本一裕福な村。など	

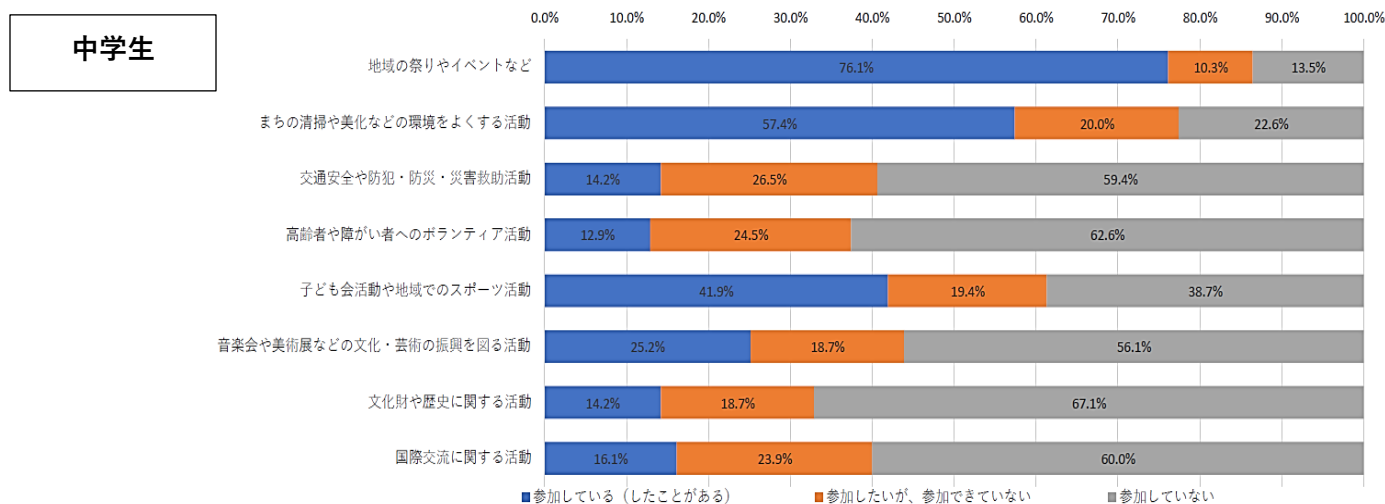
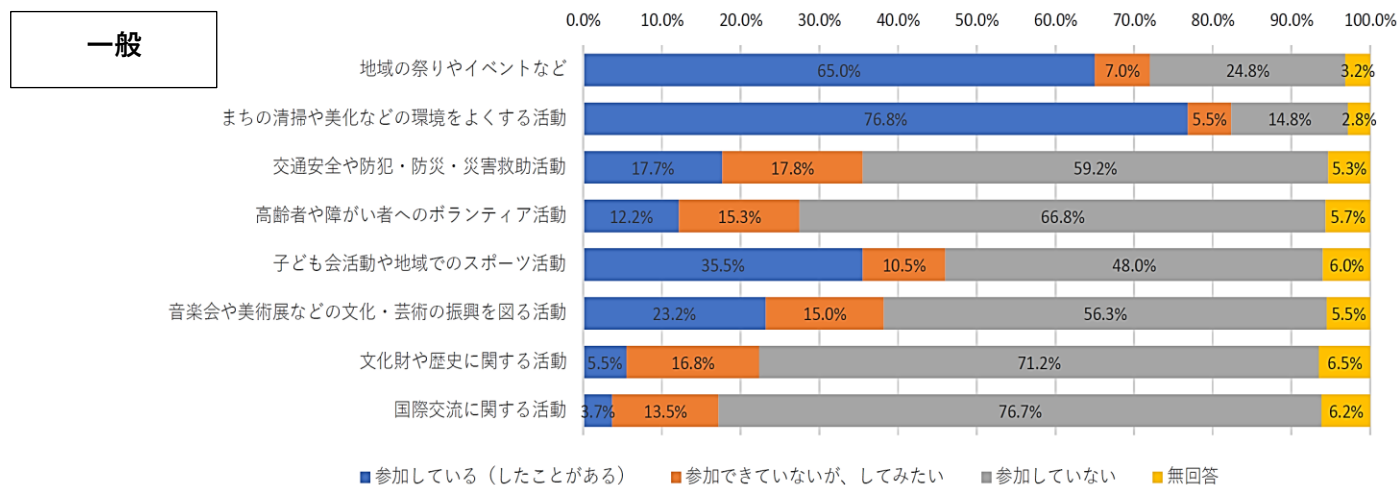
【分析】

	一 般	中学生
第1位	蜂ヶ峯総合公園	自然の豊かさ
第2位	子育て支援の充実	蜂ヶ峯総合公園
第3位	住みやすさ	イベントが充実

一般は生活の満足感に関する内容、中学生の回答は「和木町という“まち”がどういう“まち”なのか」を伝えたいとする内容が選ばれ、一般と中学生でかなり異なる結果となった。

一般Q13・中学生Q10

あなたは、地域の活動や行事に参加していますか。またはしたいですか。

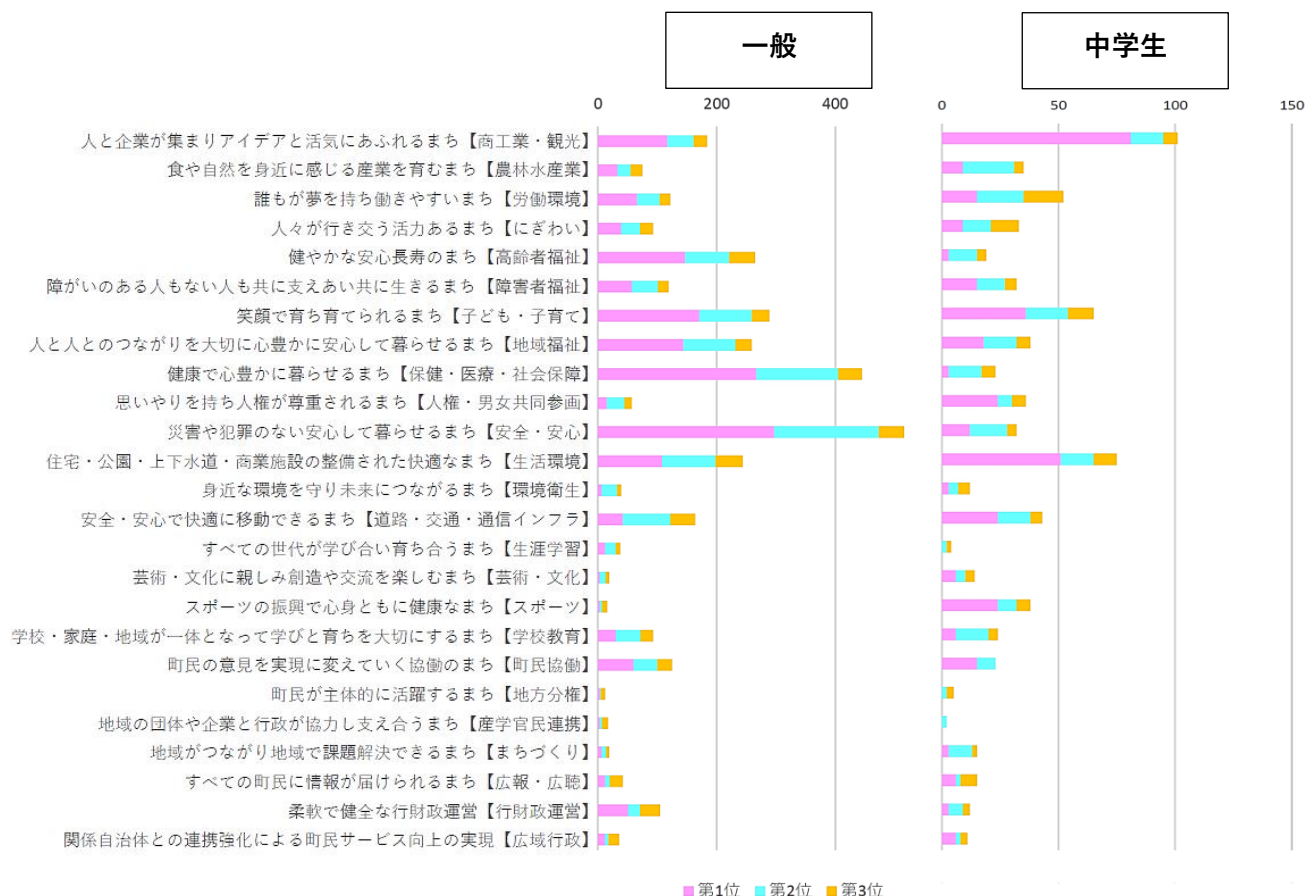


【分析】

一般も中学生も、各項目の「参加している（したことがある）」の割合は似たような傾向となった。一般に比べて、中学生のほうで「文化財や歴史に関する活動」や「国際交流に関する活動」における「参加している（したことがある）」の回答割合が高い傾向にある。

一般Q17・中学生Q11

今後の10年間のまちづくりで、あなたが重要だと思うものを教えてください。



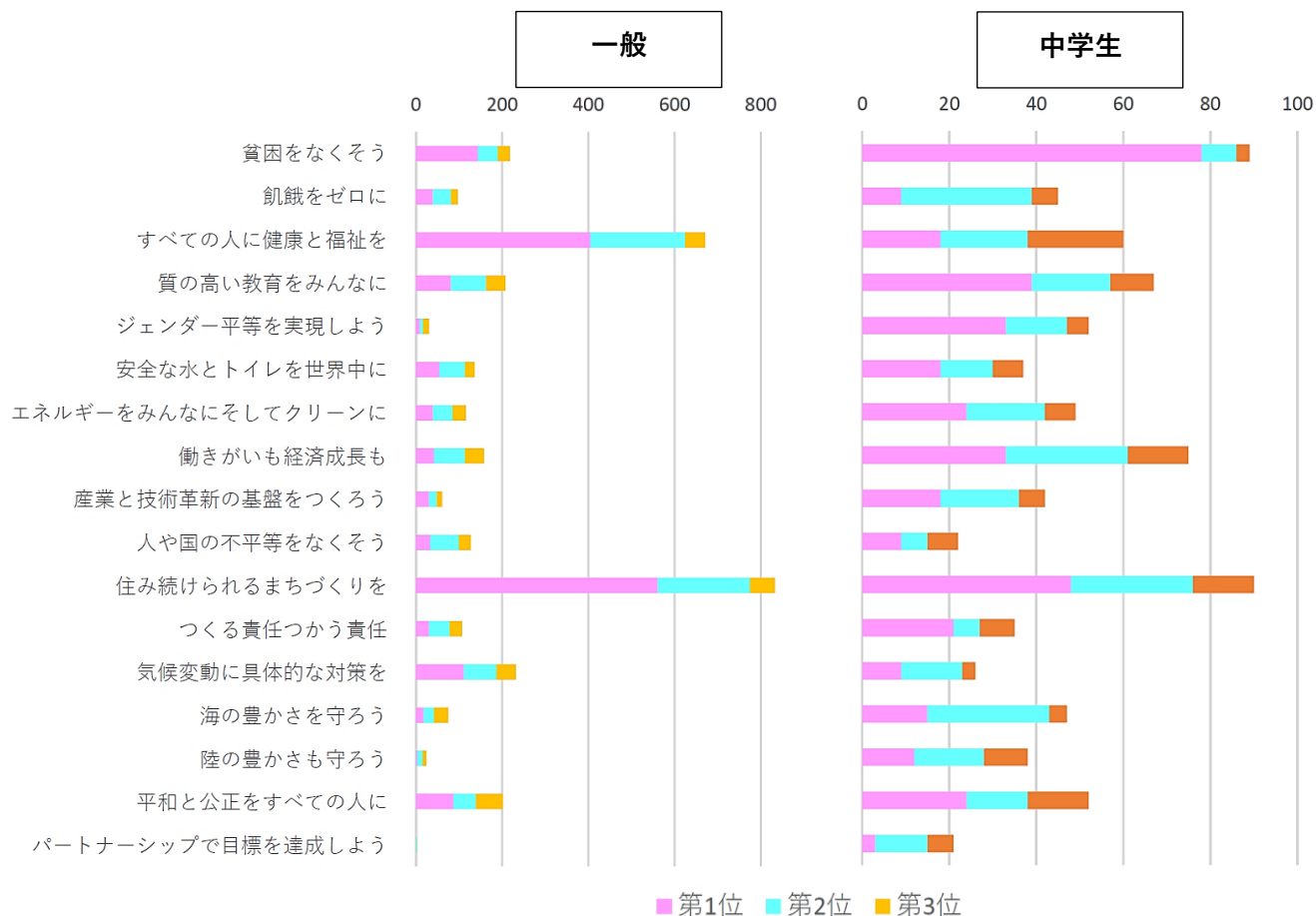
【分析】

	一 般	中学生
第 1 位	災害や犯罪のない安心して暮らせるまち 【 安 全 ・ 安 心 】	人と企業が集まりアイデアと活気にあふれるまち 【 商 工 業 ・ 観 光 】
第 2 位	健康で心豊かに暮らせるまち 【保健・医療・社会保障】	住宅・公園・上下水道・商業施設の整備された快適なまち 【 生 活 環 境 】
第 3 位	笑顔で育ち育てられるまち 【 子 ども ・ 子 育 て 】	笑顔で育ち育てられるまち 【 子 ども ・ 子 育 て 】

一般は生活の安定に関する内容、中学生はまちの活性化に関する内容が選ばれ、一般と中学生でかなり異なる結果となった。

一般Q26・中学生Q14

SDGsの17の開発目標のうち、これから、和木町はどの目標に力を入れていくべきだと思いますか。



【分析】

	一 般	中学生
第 1 位	住み続けられるまちづくりを	住み続けられるまちづくりを
第 2 位	すべての人に健康と福祉を	貧困をなくそう
第 3 位	気候変動に具体的な対策を	働きがいも経済成長も

一般も中学生も、第1位は「住み続けられるまちづくりを」となったが、第2位、第3位はそれぞれ異なる結果となった。また、一般は回答が一極集中し、中学生では回答が分散した。